

令和4年度

第2回 釜石市社会教育委員会議 資料

令和4年度 事業実施状況について

令和5年3月16日

釜 石 市

釜石市まちづくり課・釜石市文化振興課・釜石市スポーツ推進課
釜石市立公民館・釜石市立図書館

目 次

1 令和4年度 事業実施状況について

○まちづくり課【生涯学習係】	1
○文化振興課	14
芸術文化係	16
文化財係	19
郷土資料館	27
○スポーツ推進課	30
○釜石公民館	36
○平田公民館	51
○中妻公民館	68
○小佐野公民館	79
○甲子公民館	90
○鶴住居公民館	103
○栗橋公民館	119
○唐丹公民館	128
○市立図書館	140

まちづくり課【生涯学習係】

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

全ての人々が生涯にわたり、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を生かすことのできる社会の実現が生涯学習の理念です。「第六次釜石市総合計画」では、教育文化分野の基本目標として「地域と人とのつながりの中でみんなが育つまち」を掲げ、生涯学習については「学びと実践が循環しつながりを創出する生涯学習社会の形成」を主な施策として位置付けています。学びを通じた地域課題の解決に向けた取り組みや、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び生き生きと生活することを目指し、生涯学習のより一層の推進に努めます。

未来を担う子どもたちの育成については、地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく環境を整えるため、令和4年度に市内各小中学校に設置する学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と連携し、学校支援活動や放課後子ども教室など、地域学校協働活動の充実を図ります。併せて、開始から50年以上経過した教育振興運動のさらなる充実を図るため、「地域学校協働活動・教育振興運動」全県共通課題である「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組みます。

また、こどもエコクラブなどの活動を通じて、子どもたちの豊かな心身の育成を図るほか、子育てに関する学習機会を設けて、生活リズムの向上による健やかな成長に関する理解を深めてまいります。

さらに、大学と連携した生涯学習講座の開催や生涯学習まちづくり出前講座の更なる充実を図り、ライフステージに応じた自主的な学習を支援します。地域に根ざし、地域の実情に即した多様な公民館事業を展開するとともに、市民の学習ニーズにもきめ細かに応えながら、学習の成果が地域づくりに反映される持続可能な学び社会の形成に努めます。

子どもの読書活動については、「第4次釜石市子どもの読書活動推進計画」の基本目標「本との出会い 広がる世界」実現のため、子どもが豊かな心を育むための読書に親しむ環境づくりや、市立図書館とともに学校図書館、読書ボランティアなど関係団体間の連携強化など、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう計画の推進を図ります。

2. 重点目標

- (1) 市民のニーズや置かれた環境に即し、ライフステージに応じた学習機会を提供する。
- (2) 地域ぐるみで子どもたちを育てる環境を整えるとともに、明日の釜石を担うグローバルな人材を育成する。
- (3) 社会教育施設の維持管理に努め、いつでも、どこでも、誰もが学び、健康に暮らせるまちづくりに努める。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全な事業運営に努める。

Ⅱ 事業報告

○生涯学習係

1. 乳幼児期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみでの子育てへの支援	家庭教育・子育ての支援	家庭の教育力を高め、次代を担う健全な人材の育成を図る。	保護者が子育ての主たる責任者であることを認識し、主体的に子育てに関わることを推進するため、正しい知識を身につけられるよう各種子育て学習講座等を行う。 ○就学时健診を活用した子育て学習講座 テーマ：元気な命のリズムは「早寝・早起き・朝ごはん」から 〔対象〕新入学児童の保護者 〔時期／会場／人数〕 ・11月21日(月)／甲子小学校／45人 ・11月25日(金)／鶴住居小学校／26人 ・12月2日(金)／双葉小学校／22人 ・12月2日(金)／釜石小学校／10人
			【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響や各校の日程等により、小学校9校中4校の実施となったが、受講者対象のアンケートでは、講座内容の活用可能性や理解度、満足度の項目で肯定的な回答を多数いただいた。今後も就学前児童の保護者が集まる有効な機会を利用し、生活リズムの大切さを周知していきたい。 次年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しつつ、関係課の協力を得ながら食育の推進など幅広い内容の講座開催を検討していきたい。
			子どもの生活リズムの向上「RHYTHMプラン」の推進 「早寝早起き朝ごはん」の必要性について、様々な機会を通じて保護者の理解を促す。 生涯学習まちづくり出前講座「子どもの生活リズム～『早寝早起き朝ごはん』の必要性について～」を開講する。また、関係課と連携した子育て学習講座を推進する。 ○2月末日現在 実施回数 4回 受講者数 30人
			【成果と課題】 未就学児の保護者を対象として講座を開催することができた。今後もこのような

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			機会を設けることができるよう、関係課と連携しながら取り組んでいきたい。また、「RHYTHM プラン」の重要性について、教育振興運動や生涯学習情報誌「まなびい釜石」で周知・啓発をしていく。

2. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみでの子育てへの支援	地域学校協働活動体制推進事業	地域と学校の連携・協働による継続的な子どもの学習支援体制を構築する。	地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行う。また、令和4年度から市内各校に学校運営協議会が設置されたことから、連携した取り組みを行う。 〔本部設置校〕 釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鵜住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校 〔本部設置予定校〕 釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校 〔研修等〕 ○「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 5月18日(水)／オンライン開催／2人 ○地域とともにある学校づくり推進フォーラム 7月5日(火)／大船渡市立三陸公民館／22人 ○学校と地域の連携・協働研修会 8月9日(火)／岩手県立生涯学習推進センター／7人 ○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修地区別講座 10月5日(水)／大船渡市立三陸公民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			館／2人 ○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会 2月 16 日(木)／岩手県立生涯学習推進センター／5人
	【成果と課題】 令和 4 年度より市内全学区に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が設置されたことに併せ、地域学校協働本部を市内小学校9校に設置するに至った。 協働本部設置校の増加により、活動参画者も増加しており、感染対策を徹底しながら、地域コーディネーターの連絡調整等によって、各本部で子どもたちに多様な学習機会を提供することができた。 令和 5 年度から学校運営協議会の活動も本格化してくることから、地域学校協働本部を中学校に拡大するなど、地域学校協働活動のさらなる推進を図りたい。		
	子どもの読書活動推進事業	学校・図書館・ボランティア団体と連携し、子どもの感性・表現力・想像力の豊かさを育む読書活動を推進する。	子どもの読書活動推進計画に基づき、各団体と連携しながら発達段階に応じた読書環境の整備や、子どもの読書活動の意義の周知を行う。 ・学校図書館ボランティアの支援 ・研修会の実施及び参加 ・人材の発掘 ○釜石市子どもの読書活動推進ボランティア研修会 〔対象〕読書ボランティア他 〔時期／会場／参加者数〕 11 月 30 日（水）／釜石市立図書館／12 人 〔内容・講師〕 本の修繕～長く読んでもらうために～ 岩手県立図書館資料管理課 加藤智春氏
	【成果と課題】 昨年度の読書ボランティア研修会のアンケート結果を踏まえ、今年度は本の修繕に焦点を当て、研修会を開催した。 研修会の前半では、本の修繕に必要な基本的な考え方や糊などの道具について説明があり、後半には参加者が本を実際に修繕した。実用的な研修内容は、すぐにもボランティア活動で実践できると参加者に好評であった。また、市内読書ボランティアやボランティアサークル関係者との情報共有の場とすることもできた。 来年度も読書ボランティア等の意見も取り入れながら、研修内容について検討していきたい。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	教育振興運動	各実践区において、5 者がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図る。	地域の教育課題の解決に向けて、子ども・保護者・学校・地域・行政が連携し、子どもを取り巻く社会状況の変化を反映させながら、各実践区（市内全5区）を中心とした活動を行う。 ・協議会総会、集約集会の開催 ・各実践区の活動支援 ・情報メディアに関する取組の推進 ・教育振興運動だよりの発行 [事務局事業] ○釜石市教育振興運動協議会総会 7月19日(火)／釜石 PIT／30人 ○釜石市教育振興運動集約集会 2月4日(土)／釜石 PIT／44人 [研修等] ○「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 5月18日(水)／オンライン開催／2人
	【成果と課題】 全ての実践区で「情報メディアとの上手な付き合い方」について取り組んだ他、あいさつ運動や交通安全、復興教育など地域の実情に応じた活動を実施した。また、3年ぶりの開催となった集約集会は、事例紹介や講話をとおして、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動及び教育振興運動について理解を深めるよい機会となった。今後も子どもを中心とした地域ぐるみの教育活動が継続的に実施できるよう、地域学校協働活動と教育振興運動の連携の在り方について模索していく必要がある。		
	釜石市 P T A 連合会補助金	市内各 P T A 相互の連携を図り、教育の振興に寄与することを目的とした活動に対し補助金を交付し、活動の推進を図る。	市内各 P T A 相互の連携を図り、教育の振興に寄与することを目的とした活動に対し補助金を交付する。 [対象] ・教育の振興に関する事業 ・会員の教養研鑽と親睦を図る事業 ・その他、会の目的達成に必要な事業 ・教育振興運動の活動支援 ※新型コロナウイルス感染症の影響により主な行事を中止としたため補助金交付なし

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、親善レクリエーション交流大会などの事業を実施できなかったため、補助金の交付は行わなかった。しかし、市への教育環境充実に関する要望や研究大会へのオンライン参加など、コロナ禍に対応しつつ、実施した事業もある。子どもの教育環境充実や学校と地域が連携した取り組みを推進するため、PTA 活動は重要であることから、引き続き補助金交付など必要な支援を継続していく。		
	放課後子ども教室推進事業	放課後等における子どもの安心安全な居場所として放課後子ども教室を開設し、地域の中で子どもたちが心豊かに学び育つ環境づくりを進める。	地域の協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動を実施し放課後における安心・安全な活動拠点としての居場所づくりを行う。 ① ばしょまえ交流館/カトリック釜石教会/週2回（釜石小学校区） ② 小佐野放課後ひろば/小佐野公民館/隔週1回（小佐野小学校区） ③ 平田 MOSICA/平田復興住宅集会室/週1回（平田小学校区） ④ かっしっこひろば/甲子公民館/週1回（甲子小学校区） ⑤ 鶴住居子どもひろば/長内集会所、砂子畑集会所等/週3回（鶴住居・栗林小学校区） 〔1回あたりの子どもの参加人数〕 約8人（令和5年2月末現在）
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室1回あたりの子どもの参加人数は減少傾向にあるものの、協働活動支援員の各校への周知等により、放課後子ども教室への理解浸透が図られている。 一方で、子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター（安全管理員）の減少に伴い、実施回数が減少したり実施を見送った教室もある。さまざまな機会を活用し、放課後子ども教室の実施を周知するとともに、安全管理員の募集を行うことにより、活動のさらなる展開を図りたい。		
	こどもエコクラブ	自然の中での様々な体験活動を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質	日常生活・行動の変容も視野に入れながら、釜石の豊かな自然環境への理解を深める学習・体験活動を実施する。 〔対象〕小学生 会員数 43人 〔時期・内容・参加者数〕

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		を育む。	① 7月1日(金)／ホタル観察会／会員 34人 ② 8月5日(土)／釜石湾内クルーズ体験会／会員 30人 ③ 9月3日(土)／昆虫観察会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ④ 11月5日(土)／海の生物観察会／会員 30人 ⑤ 2月18日(土)／冬の星空観察会／会員ほか 26人
【成果と課題】 昨年度に引き続き会員登録制として活動を行った。第5回「冬の星空観察会」は、あいにくの曇天のため、急遽内容を鉄の歴史館見学に切り替えて実施したが、解散間際には星空を観察することができた。活動の内容によっては分かりやすい説明とするため、参加者を低学年と高学年に分けてそれぞれに説明するなど新しい試みを行った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画した事業の一部を開催することはできなかったが、ほぼ全ての回において、会員の7割程度が参加したことから、子どもたちが環境に対して、興味や関心を持っていることが読み取れる。 来年度も子どもたちが自然環境や生物に対し、興味や関心を持つきっかけとなるような内容を継続して企画する。			
助産師による性・いのちに関する出前事業	いのちの大切さを理解し、性に関する正しい知識を早期から身に付ける。また、地域医療機関と学校との連携を推進する。	日々出生に立会い、専門的知見を持つ助産師を講師として、体験学習を中心とした「生命の尊厳」に関する学習機会を出前授業形式で実施する。 〔対象〕小学5、6年生 〔時期〕各校の希望に応じ実施 〔場所〕市内小学校 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度は実施なし	
【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度も実施を見送ったが、「生命の尊厳」に関する体験学習機会は重要であることから、次年度以降は感染症対策等を考慮しながら、学習機会の提供に努めたい。			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
食育の推進	子どもの生活リズム向上 「RHYTHM プラン」の推進 (再掲)	「早寝早起き朝ごはん」の必要性について、様々な機会を通じて保護者の理解を促す。	生涯学習まちづくり出前講座「子どもの生活リズム～『早寝早起き朝ごはん』の必要性について～」を周知する。また、関係課と連携した子育て学習講座を推進する。 ○2 月末日現在 実施回数 4 回 受講者数 30 人
	【成果と課題】(再掲) 未就学児の保護者を対象として講座を開催することができた。今後もこのような機会を設けることができるよう、関係課と連携しながら取り組んでいきたい。また、「RHYTHM プラン」の重要性について、教育振興運動や生涯学習情報誌「まなびい釜石」で周知・啓発をしていく。		

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会参加の促進	釜石市はたちのつどい	若者の門出を祝い、市民及び市に縁のある者としての自覚を促す。	年度内に 20 歳になる人を主体とした実行委員会形式により、特色のあるつどいを実行委員が自ら創り上げ、門出を祝う式典を行う。 【令和 5 年 釜石市はたちのつどい】 【日時】 令和 4 年 1 月 8 日(日) 14 時～16 時 【場所】 釜石市民ホール TETTO 【対象】 平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方 【参加者数】 379 人(対象者 194 人、一般来場者、120 人、主催者 7 人、来賓 27 人、従事者 31 人) ※式典内で実行委員会制作のビデオメッセージや、中学校及び高校恩師からのビデオメッセージ上映、参加者有志による郷土芸能(神楽、虎舞)披露などを実施 ※商工会議所青年部などの協力を得てフォトスポットを 2 カ所に設置 ※釜石コンパスの活動内容(参加対象者が高校時代の活動内容)の展示

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 令和４年４月より成年年齢が引き下げになったことに伴い、令和４年度より「はたちのつどい」に式典名称を変更した。 新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない中での開催ではあったものの、会場内での感染症対策を徹底し、例年どおり参集による開催とした。 また、令和３年度に引き続き式典の対象となる参加者を委員とした実行員会を組織し、式典内で実行委員制作によるビデオメッセージや恩師ビデオメッセージの上映を行ったほか、参加者有志による郷土芸能の披露や市民憲章・防災市民憲章の唱和を行った。 今後も円滑な式典運営を心がけながら、毎年度組織する実行委員会と共に式典内容等の検討を行いたい。		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育の施設等の充実	公民館及び分館維持管理	市民が安心して公民館活動を実施できるように維持管理を行う。	市内の公民館及び分館の維持管理を行う。今後、建て替えを行う場合は市の方針に基づき、地元町内会等の理解を得た上で集会所として整備を進める。
	【成果と課題】 市民の生涯学習活動が安全安心に行われるよう、施設の維持管理を行う。老朽化が著しい公民館分館については、地域と協議をしながら、緊急度を勘案した上で計画に沿って順次整備していく必要がある。		
	大石地域交流センター維持管理	地域住民を含め、市民交流、生涯学習活動の推進を図る拠点とする。	市民交流、各種生涯学習関連事業、地域の集会施設として活用する。 〔時期〕 通年 〔対象〕 市民 〔利用回数〕 １回（延べ２日） 〔利用人数〕 ５人
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、少数の利用にとどまっている。 清掃および鍵の管理について、町内会に委託しており、管理運営は円滑に行われている。		

5. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	生涯学習推進本部・連絡調整会議の運営	生涯学習に関し、関係各課等相互の事務の緊密な連絡調整を図る。	生涯学習に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、必要に応じて連絡調整会議を開催する。 ○令和4年度第1回本部会議 6月20日(月)/14人/ 第3次釜石市生涯学習推進計画策定について ○令和4年度第2回本部会議 12月26日(月)/14人/ 第3次釜石市生涯学習推進計画(案)について
【成果と課題】 第3次釜石市生涯学習推進計画の策定に向けて、本部会議を2回開催した。1回目の会議で生涯学習推進計画の位置付けが上位計画に変更となったことから、調整を進め、本年3月に策定できるよう作業を進めている。 本部会議及び連絡調整会議については、必要に応じて開催していく。			
	岩手大学生涯学習交流講座	岩手大学との相互友好協力協定に基づき、講座を行うことにより、よりよい地域づくりを進めていく。	生涯学習の基礎について改めて確認するとともに、「ひとづくり」「つながりづくり」の活動のヒントを参加者の交流を通じて探る。 [時期] 12月2日(金) [場所] 鶴住居公民館 [参加者数] 11人 [内容] 講義①「誰でも取り組める環境学習・ESD・SDGsの話」/講義②「社会教育の意義と生涯学習による人づくりつながりづくり」/交流ワークショップ
【成果と課題】 岩手大学と連携し、関係職員や各種委員を主な対象として開催した。講義を聞くだけではなく、岩手大学からの講師を交えた意見交換の場を設けることで、当市の社会教育・生涯学習の抱える課題の一端を共有することができ、職員のスキルアップの場にもなった。今後も岩手大学と連携しながら、生涯学習推進のための講座を実施していく。			
	東北農学セミナーコラボ「釜石大観音	岩手大学大学院連合農学研究科の東北農学セミナーに参加する博士	東北農学セミナーに参加する博士課程の学生と高校生がワークショップを通じて、さまざまな国の事例を参考にしながら

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	仲見世通りワークショップ	課程の学生と、地元高校生がワークショップを通じて、地域の活性化に向けた課題を掘り起こす。	ら地域の活性化に向けた課題を掘り起こす。 [時期] 10 月 1 日(土)13 時～2 日(日)14 時 30 分 [場所] co-ba (大平町) [参加者数] 博士課程学生 9 人(うち留学生 6 人)、高校生 5 人 [内容] ・仲見世リノベーションプロジェクトの説明 ・ワークショップ
	【成果と課題】 岩手大学との縁で、「釜石大観音仲見世通りワークショップ」を2日間にわたって開催し、博士課程の学生と高校生が地域の活性化に向けたアイデアを出し合った。参加者の約半数が留学生で、各国の事例が紹介されるなどさまざまな視点から意見が出され、ともに一つのテーマについて話し合う貴重な機会となった。今後もこのような機会が得られれば、積極的に開催していきたい。		
	立正大学デリバリーカレッジ	市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとする。	立正大学の専任教員と名誉教授陣が講師となり、「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の機会を提供する。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催する。 [時期・内容] ① 6 月 4 日(土)／日常のエラーを考える～うっかりミスや勘違いは何故起きるのか～／9 人 ② 6 月 11 日(土)／IT 時代を生きる／7 人 ③ 6 月 18 日(土)／マナーの心理学・投資の心理学／7 人 [場所] 中妻公民館(研修室) [対象] 高校生以上
【成果と課題】 令和 2 年度と昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、今年度は初のオンライン形式で開催した。講座終了後に行ったアンケートでは、内容に満足しているとの声が多かったが、もっと多くの方に参加いただける			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	よう工夫する必要がある。 令和５年度もオンラインでの講座開催を予定しており、内容については、アンケート結果を参考にしながら市民のニーズに合わせて選定を行っていく。引き続き、市民が生涯学習に広く関心を持ち、自ら学び実践する機会の場を設けていきたい。		
	放送大学岩手学習センター釜石校の開設	学位取得やキャリアアップを目指す方の利便を図る。	放送大学の授業を CD や DVD で再視聴し、学習できる教室を設けるとともに、学生募集の周知を図る。 〔時期〕 通年（年末年始を除く） 〔場所〕 青葉ビル１階 〔対象〕 放送大学学生 ※使用予約必須
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったためか、今年度は利用申し込みはなかった。 本校は、沿岸南部広域をカバーする拠点として位置づけられており、市外の利用者についても感染対策を取った上で、利用してもらえるように「まなびい釜石」や市ホームページ等で周知していく。		
	生涯学習まちづくり出前講座	生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題を考える機会とする。	メニューの更新をした上、適宜周知し、実りある市民の学びの機会の一助とする。 〔時期〕 通年 〔対象〕 市民 〔登録メニュー講座数〕 171 講座 〇2 月末現在 実施回数 62 回 受講者人数 1,029 人
【成果と課題】 講座メニューの見直しや新規講座の追加もあったことから、昨年度に比べ講座数が増加しており、充実した内容となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度から３年度にかけて講座申請数の減少がみられたが、今年度の講座申請数は大幅に増加した。特に小中学校から農業体験や総合的な学習の時間を活用した申し込みが増加しており、今後とも事業周知及び利用促進のため広報活動を継続していく。			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習ネットワークの形成	生涯学習情報提供事業	市のホームページや広報紙を通じて、学習意欲の啓発や学習機会の提供等に関する情報発信を行う。	・釜石市ホームページの運用 〔時期〕 通年 〔対象〕 市民ほか ・生涯学習情報誌「まなびい釜石」発行 〔時期〕 5月、8月、11月、1月、2月、3月 〔対象〕 市民（「広報かまいし」に掲載） ・「教育振興運動だより」発行（1月、3月）
	【成果と課題】 市ホームページの運用に関して、市民へ情報を正確に、わかりやすく伝えられるよう、内容に留意して更新に努めている。 「まなびい釜石」は、令和2年度から年2回の広報への折り込みによる配布をやめ、「広報かまいし」内に、年5～6回掲載することとしたため、生涯学習に関して市民へより広い周知を行うことができている。		

文化振興課【芸術文化係・文化財係・郷土資料館】

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

市民一人ひとりが心豊かで潤いのある生活を実現するためには、文化芸術活動の発表の場や質の高い芸術鑑賞及び伝統文化へ触れる機会を提供することが重要であります。

昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の文化芸術団体や伝統文化子ども教室をはじめとする次世代への文化継承活動が縮小傾向となりましたが、感染拡大のリスクを出来るだけ抑えながら、継続して活動が出来るよう支援を行ってまいりました。

令和4年度は市内で活動する文化芸術団体が開催する事業（イベント）に対して、費用の一部を助成する「釜石市文化芸術振興事業補助金」を設け、より一層の活動支援に取り組んでまいります。

また、52回目を迎える釜石市民芸術文化祭は、子どもから高齢者まで多くの市民が参加出来るよう内容の見直しを行うなど、釜石市芸術文化協会との連携を強化して取り組んでまいります。

当市の市民文化の拠点である釜石市民ホールにおいては、昨年度に引き続きイベントの中止や延期が余儀なくされましたが、利用者の声に常に耳を傾けながら効率的な運営を目指し、文化芸術による交流を促進し、地域の活性化につながる施設となるよう努めてまいります。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、感染防止対策を徹底し、コロナ禍においても誰もが安全安心に文化芸術に触れることができるよう「釜石の文化の灯」を消さないための取り組みを進めてまいります。

地域に根を張る歴史や文化財については、子どもたちの郷土愛や自尊心を育む人間形成の素地となるものであり、今を生きる私たちにとって大切な遺産であることから、適切な保存・保護・活用に努めます。特に、屋形遺跡については、令和3年3月26日に国の史跡に指定されたことから、保存・活用に取り組んでまいります。

さらに、郷土の歴史や文化に関する資料の調査に努め、新たな文化財の掘り起こしや有形文化財展の開催により、後世に継承されるよう、引き続き取り組みを進め、釜石市文化財保存活用地域計画の策定を目指します。

郷土芸能については、地域に深く根差す貴重な文化歴史の継承であるとともに、子どもから大人まで参加する地域コミュニティ形成の一助ともなっていることから、伝承活動がさらに活発になるよう取り組んでまいります。

郷土の歴史、風土や文化の学習拠点である郷土資料館は、資料の収集と適正保管への対応を強化するとともに、各種企画展を開催し、郷土を築いた先人の姿や教訓を次世代へ継承いたします。

また、市内の観光・文化施設と連携しながら釜石の歴史的な魅力の発信に努めます。

2. 重点目標

- （1）新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術における各分野の市民活動の幅が狭まっていることから、感染防止対策の徹底を促すとともに、コロナ禍においてもそれぞれの文化芸術団体が主体的に取り組んでいくことができるよう必要な支援や調整を行う。

- (2) 釜石の文化や歴史の調査を進めながら、先人たちが築き上げてきた過去を振り返る事業を通じて、当市の歴史を未来へと継承するため、国史跡屋形遺跡の整備・保存活用、文化財の適切な保護管理・活用、郷土芸能の伝承支援を実施する。
- (3) 郷土資料館で保管している既存資料の台帳やデータベースを整備して適正な管理に努めるとともに、学校教育における授業での活用や生涯学習にも役立つ「文化とのふれあいの場」としての内容充実を図る。

Ⅱ 事業報告

○芸術文化係

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	伝統文化子ども教室事業	子どもたちに、茶道、華道、邦楽などを体験・修得できる機会を提供し、豊かな人間性の涵養を図る。	次代を担う子供たちに、伝統文化を継承し発展させ、豊かな人間性を涵養することを目的として実施される伝統文化こども教室の実施団体に対し、助成を行う。また、文化庁補助事業で実施している団体については申請にあたり取りまとめ等の支援を行う。 実施団体 (市補助事業：1件) 杵家会釜石支所 (文化庁補助事業：2件) 釜石市表千家茶道子ども教室、釜石市裏千家茶道子ども教室
	【成果と課題】 3団体は新型コロナ対策を徹底しながら事業を実施。1団体は初回開講直前に県内の感染者数が急増したため事業を中止した。 子どもたちが日本古来の文化を体験しながら学ぶことにより、各分野の技能及び礼儀作法の習得に繋がっており、普段触れることの少ない伝統文化の魅力を再認識できる貴重な機会となっているほか、他学年・他校の児童生徒との交流の場にもなっている。 各実施団体の円滑な事業実施と継続のため、市の補助金活用や文化庁への補助金申請等について、引き続き支援を行っていく。		
	第9回子どもたちのためのオペラ・コンサート「歌の翼にのせて」	子ども達に質の高い芸術鑑賞の機会を提供し、芸術を愛する心を育て豊かな情操を養う。	東日本大震災を機に始まった、市内小中学生を対象にした国内外一線級のオペラ歌手とピアニストによるコンサート。 対象：市内中学校の全生徒（釜石中は、1年生のみ） 日時：10月21日（金） 会場：釜石市民ホール TETTO
	【成果と課題】 バスでの送迎を行い、中学校4校394人（引率を含む）が参加した。オペラの第一線で活躍するアーティストたちの生音の響きを体験することができた。また、これまでの復興支援に対し市長から感謝状を贈呈した。		

2. 成人期・高齢期・地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	第52回釜石市民芸術文化祭	釜石市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の場を提供し、文化のかおり高いまちづくりに寄与する。	釜石市における芸術文化活動の発展と振興を図るとともに、芸術文化を通して心の豊かさ、安らぎと潤いを市民に提供することを通じて健康で明朗な市民生活の向上を図るため、市、釜石市芸術文化協会の二者主催で開催する。 開催日：11月12日(土)～13日(日) 場所：釜石市民ホール TETTO
	【成果と課題】 昨年度まで金～日曜日の3日間開催であったが、今年度は土日2日間の開催とし、会場使用料等の経費削減を図った。日程短縮による公演数及び参加団体数の減はなし。来場者数は延べ2,089人(昨年度比+516人)。 YouTube 配信を昨年に引き続き実施したほか、児童生徒の作品展示、市内茶道教室の子ども達による呈茶及び他市団体による子ども～若者出演のダンス公演など、若年層の参加を意識した。 市芸文協は会員の減少・高齢化・役員の長期在任の問題を抱えており、高齢者中心の発表になりがちであるため、今後も幅広い年代が参加・観覧できる工夫が求められる。		
	釜石市文化芸術振興事業補助金	地域の実情を踏まえた多様で特色ある文化芸術の振興を図るとともに地域の活性化にも寄与することを目的として、釜石市民ホール TETTO のホールAで開催するイベントに対し助成する。	① 音楽イベント ② 演劇・ダンスイベント ③ その他の文化芸術イベント ※対象事業を公募し、審査委員会において適正に審査する。 予算総額は360万円、採択件数は2～3件程度
	【成果と課題】 申請件数は4件で、すべて採択となった。予算総額を上回る申請があり、審査委員会において適正に審査し予算全額を配分した。審査委員からは入場料等確保の意見もあったことから補助金算定方法について検討する。		

3. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	市民ホール管理運営	施設を効率的に運営するとともに、利用者へのサービス向上を図る。	指定管理者制度により施設を管理する。 〔期間〕令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで 〔指定管理者〕釜石まちづくり株式会社
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症及び原油・物価高騰により厳しい管理運営を余儀なくされたが、市の支援制度も活用しながら効率的な運営に努めた。		
	郷土芸能伝承館維持管理	郷土芸能の伝承活動を行う施設について維持管理を行う。	対象施設：海の芸能伝承館（浜町）、五葉山麓郷土芸能伝承館（甲子町）、中村郷土芸能どんがた館（橋野町）
	【成果と課題】 所管する対象施設の維持管理を行った。 今年度は、海の芸能伝承館の消防用設備等点検において指摘のあった「熱感知器」の交換及び浄化槽保守点検において要交換と判断された「浄化槽ブロワ（送風機）タイマー」の交換を実施した。 各施設ともに経年劣化による設備の修繕や部品交換などが今後も予想されるため、施設を管理していただいている町内会等と引き続き連携を図りながら、整備を行っていく。		

○文化財係

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
職業の知識 を高める学 習	鉄づくり体験 事業	鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。	○鉄づくり体験 時期：8月～9月 場所：大橋（釜石鉱山敷地内） 対象：釜石東中学校 32人 釜石中学校 1 回目 60人 大平中学校 29人 釜石中学校 2 回目 60人 甲子中学校 44人 唐丹中学校 11人 総勢 236 人 ○鉄に関する座学 「鐵都釜石と大島高任」 場所：各学校 時期：5 月 対象：甲子中・唐丹中 ○ものづくり体験（鑄造体験ほか） 時期：6月中旬～ 場所：鉄の歴史館 対象：甲子中学校 ○鉄の検定 時期：12 月 1 日前後 場所：各小中学校 対象：小中学生 109 人 一般 8 人
			【成果と課題】 今年度は市内全中学校 1 年生を対象に鉄づくり体験を実施した。令和 5 年度以降も継続して実施していくことで「市内の子供たちが義務教育で学ぶ間に 1 度は鉄づくりを体験できる」という長期的事業目標のスタートを切ることができた。安全面やバス借用に関する課題も出たが、作業ビブスの手配やバス借り上げ料の国庫補助の申請などで解決する予定である。 鉄の検定は一般の人数が増加した一方で、学校の参加が減少した。学校側にとって取り組みやすい方法を模索する必要がある。鉄の記念日前後は中学生にとって期末考査の次期と重複することから、受験時期の見直し要望がある。 また、出前講座の説明と重複するが鉄づくりを行う事前学習として、唐丹中学校や甲子中学校から座学の申し込みがあった。今後も鉄づくり体験、座学、鉄の検定を一体とした「総合的な鉄の学習」のスタイルを確立できるよう、学校教育現場や世界遺産課、教育委員会との連携を図りながら進めていく必要がある。

2. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用	釜石市文化財保護審議会	市内に所在する文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催し、種々の提言、助言を受ける。	○文化財保護審議会（年3回） 第1回 8月23日（火） 釜石情報交流センター2階 第1・2会議室 第2回 10月31日（月） 釜石情報交流センター2階 第1・2会議室 第3回 3月20日（月）予定 チームスマイル釜石PIT
			○文化財パトロール 時期：10月31日（月） 場所：佐野秋溪墓碑、甲子川の釜石、葛西昌丕墓碑、本郷津波記念碑、唐丹御番所跡、平田御番所跡
			【成果と課題】 文化財保護審議会においては、第1回開催時に委員の改選及び会長・副会長の互選を行った。各回の協議では活発な意見交換がなされた。文化財パトロールでは市内の指定文化財候補物件を確認したほか、震災で被災した文化財の復旧状況を確認した。
	被災文化財調査事業	近年、自然災害の発生が増加していることから、被災後に被災状況の確認及び復旧方法の検討を行う。	○被災文化財調査 ①文化振興課による調査 石塚峠の七里塚崩落状況の確認 国立民族学博物館の復旧した本郷津波記念碑を共同で現状確認 ②釜石市文化財保護審議会委員による調査 東日本大震災の津波で被災した本郷津波記念碑、唐丹御番所跡、平田御番所跡の復旧状況確認 ③各種団体による被害調査への協力 時期：随時 場所：市内各所
			【成果と課題】 今年度の自然災害による文化財被害はなかったが、今後も被災した場合に対応していく。最近の動向として露出する史跡（石塚峠の一里塚、女坂の一里塚、平田塚群など）の崩落等が確認されており、その保存方法や今後の復旧方法等を検討する必要がある。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用	文化財調査推進事業	文化財の適切な保護・保存を図るため、市内に所在する文化財について調査し、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図る。	○文化財調査 時期：12月まで 対象：甲子川の釜石（甲子川の巨岩） 佐野秋溪墓碑 葛西昌丕墓碑 工藤大助俳句帳ほか
	【成果と課題】 指定文化財の候補物件調査によりこれまでの調査資料を改訂した。甲子川の釜石については、地域要望もあり看板を作成する予定となっている。今後も引き続き調査を行っていく。		
	埋蔵文化財保存事業	埋蔵文化財は土地に埋蔵されていることから、容易に破壊され消滅する危険にさらされている現状にある。開発に係る遺跡破壊によって埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、開発行為予定地において埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の調査を実施し、埋蔵文化財の適切な保護・保存に努める。	○埋蔵文化財調査 ①埋蔵文化財照会 73件 ②分布調査（縄文時代前期） ③工事立会 2件 ④試掘調査 2件 ⑤緊急発掘調査 時期：通年 場所：市内各所 ※令和5年2月末日現在
	【成果と課題】 埋蔵文化財の照会・試掘・立会工事件数は例年並みとなった。		
	指定文化財の把握	市内の指定文化財の現状把握に努める。	○指定文化財の把握 ①市内の指定文化財数 ・国指定文化財 3件 ・県指定文化財 6件 ・市指定文化財 64件 ②市内の国登録有形（建造物）数 ・国登録有形文化財（建造物）1件 ※令和5年2月末日現在

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用	【成果と課題】 女坂の一里塚、石塚峠の七里塚以外は問題なく推移している。 国史跡橋野高炉跡の見学を第57回史跡整備市町村協議会全国大会(岩手平泉大会)のエクスカッションコースに組み込み、全国各地の史跡整備担当者32人と文化庁第2課の専門調査官を案内し、史跡整備の状況を確認した。		
	特別天然記念物保護処理事業	「文化財保護法」及び「特別天然記念物の管理に関する法律」の規定により、国指定の鳥獣の保護管理と滅失した時に処理を行う。	○ニホンカモシカの保護と処理 時期：通年 場所：市内各所 対象：ニホンカモシカ 10回出動 6頭滅失 ※令和5年2月末日現在
	【成果と課題】 本年度のニホンカモシカに関する出動回数は10回に留まり、近年で最も少なくなった。		
	釜石市指定文化財管理委託	釜石市指定文化財の適切な保存・維持管理を目的に、所有者（管理者）に対し管理を依頼する。	○管理委託 時期：令和4年4月～令和5年3月 対象：市内指定文化財管理者
	【成果と課題】 所有者・管理者の変更について数件の連絡を受けている。3月末に提出される調査結果をもって変更する。 ※令和5年2月末日現在		
	有形文化財や史跡、郷土芸能等の保存・伝承活動支援事業	有形文化財や史跡、郷土芸能団体の要望等を把握し、状況に応じて支援や各種助成制度を紹介する。	有形文化財や史跡、郷土芸能等の保存・伝承活動支援事業 ○常龍山御神楽保存会 内容：被災団体備品整備
	【成果と課題】 常龍山御神楽保存会は岩手県芸術文化振興財団より被災文化財の備品整備に係る支援を受けた（1件）。また、令和5年度事業として常龍山御神楽保存会と只越虎舞の税理士共生会の支援が決定した。		
	文化財所蔵資料整理公開事業	当課で管理している文化財資料を整理し公開する。	○収蔵庫整理 埋蔵文化財を中心に、収蔵庫の整理を行う。 時期：通年 場所：埋蔵文化財収蔵庫（釜石市民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用			交流センター2階)・埋蔵文化財収蔵施設(旧小川幼稚園) ○展示公開 当課で管理している資料を郷土資料館で展示公開する。 時期：通年 場所：釜石市郷土資料館・その他
	【成果と課題】 令和3年度に釜石市民交流センターに移設した埋蔵文化財の整理を行った。今後別の場所に保管している埋蔵文化財を集約する必要がある。また、郷土資料館から離れたことで、展示公開の方法についても検討する必要がある。		
	出前講座事業	生涯学習まちづくり出前講座を通じて市民に郷土の歴史についての理解を促す。 また、この事業を契機に、文化財愛護思想の高揚を図る。	○内容 ①釜石の先史時代、②釜石市の歴史 ③釜石市の史跡、④石碑拓本教室、⑤史跡・遺跡・資料館めぐり ⑥昭和の道具 時期：随時受付 場所：生活応援センターなど 対象：小中学生、一般市民 ※令和5年2月末日現在
	【成果と課題】 令和4年度は13件実施した。		
	屋形遺跡貝塚保存活用事業	令和3年3月26日に国の指定となった屋形遺跡について、今後の整備・活用の方法を専門家委員会において模索し進めていく。併せて、展示や見学など周知活動を行い、郷土の歴史を学ぶ場としての活用を目指していく。	① 屋形遺跡史跡整備検討委員会 本年度は実施していない。本件を実施するため1月16日から23日保存活用計画策定のための研修に参加 ② 保存のための範囲内容確認調査 時期：11月 場所：屋形遺跡(唐丹町大石) ③ 子どもや市民への周知活動 ・出前講座(鶴住居公民館) 11月22日 ・発掘体験 時期：12月5日 場所：屋形遺跡(唐丹町大石)ほか 対象：唐丹中学校1年生12人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用	【成果と課題】 屋形遺跡の調査においては継続した範囲内用確認調査を進めていく。活用については唐丹中学校にと協力し、郷土学習の場として取り組めるよう体験学習を継続的に進めていく。		
	文化財標柱設置事業	市内に点在する文化財や伝承される文化財を、市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に標柱・説明板を設置する。	○文化財標柱・説明板設置 時期：3月まで 場所：釜石の戦跡・仙台俘虜収容所第5分所跡・甲子川の釜石（予定）ほか ※令和5年2月末日現在
	【成果と課題】 太平洋戦争から77年を迎え、釜石の戦跡リーフレットを作成したことから、釜石の戦跡に関する案内板を設置した。また、仙台俘虜収容所第5分所跡が確認されたことから、当該地に案内看板を設置した。甲子川の釜石については、3月末までに設置する予定となっている。		
	文化財なんでも体感事業	市内各所に所在する文化財を活用し、市民に郷土の歴史への理解を促す。また、この事業を契機に、文化財愛護思想の高揚を図る。	○史跡めぐり 時期：中止（新型コロナウイルスの影響による） 場所：市内史跡
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響によって中止した。次年度以降に実施する必要がある。		
	文化財公開事業	釜石市内の文化財を公開し、市民が郷土にある貴重な資料に触れる機会を創出する。そのなかで郷土の歴史や文化財の重要性、保護の必要性を認識していただくとともに、郷土愛を育む。	○第19回有形文化財公開事業 『かまいしの復興発掘調査展』 時 期：令和5年2月4日（土）・5日（日） 場 所：市民ホール TETTO ホール B 入場者：2月4日 103 人 2月5日 132 人 合計 235 人 ※郷土芸能祭と隔年で実施 ○かまいしの復興発掘調査報告会 時 期：令和5年2月5日（日）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用			場 所：チームスマイル釜石 PIT 内 容：「かまいしの復興発掘調査と文化財の復旧」 文化振興課 手塚新太 「さかなのまちの起源 国史跡 屋形遺跡」 文化振興課 加藤幹樹 入場者：90 人 ○文化財保護審議会第一専門部会 時期：令和5年1月10日（火） 場所：釜石市民交流センター2階 内容：第19回釜石市有形文化財公開事業に関する協議
【成果と課題】 入場者数やアンケートの回答結果から、多くの方々が文化財に興味を持っていることを把握できた。準備期間や開催期間に課題が残るものの、継続していく必要がある。			
歴史はっけん事業	地域に残る歴史・文化財の掘り起こしを行う。最終的に文化財保存活用地域計画の策定を目指す。 また、岩手大学の協力のもと、市内に残る古文書の調査等を実施する。		○戦争の記憶を教えてください事業（情報収集） 概 要：終戦から77年が経った現在、戦争の記憶が薄れてきているため、当時の情報を広く収集するために、市内の公共施設に調査票を設置し実施した。 時 期：令和4年7月14日 ～9月15日 対 象：一般市民 結 果：調査票数 26件（回収） 聞 取 数 5件 要聞取数 9件 ※継続して情報収集する ○戦跡調査 釜石市内に残る戦跡調査を行った。 時 期：令和4年6～8月 調査箇所：市内 40件弱

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用			結 果：新規発見もあり、今後も継続して調査する必要がある。 ○釜石の戦跡リーフレット作成 戦跡調査をもとに戦跡リーフレットの作成を行った。 作成部数：5,000 部 配 布 先：市内中学生全員 各公共施設で配布 結 果：市内外から問い合わせがあり、関心が高いことが分かった ○古文書調査 時期：7 月～3 月 場所：栗林町・鈴子町・鶴住居町 ・三浦家文書 調査者 家井美千子（岩手大学名誉教授） 中村安宏（岩手大学人文社会科学部教授） 岡部裕佳（岩手大学人文社会科学准教授） ・鈴子家文書 調査者 合同会社 AMANE ・花輪家文書 調査者 目時和哉（岩手県立博物館学芸員） 文化振興課
	【成果と課題】 釜石市文化財保存活用地域計画策定のため、同協議会を開催した。また、かまいし歴史学講座や、古文書調査、戦争の記憶を教えてください事業などを実施し、釜石市の歴史や文化財の調査や情報収集、普及活動を行っている。 今後も各種調査や情報収集、普及活動を行い、当市の歴史や文化財の保存活用に努める。		

○釜石市郷土資料館

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	郷土学習支援事業	郷土資料館を来訪または利用する方が、館内展示や資料の理解を深めるために必要なサポートを行う。	① 授業見学への対応 (釜石・大槌地区小中学校、高等学校、特別支援学校等) ② 授業などで使用するための収蔵資料の貸出 ③ 他地域からの修学旅行等への対応 ④ 資料寄贈・寄託への対応
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止の対策を徹底した上で、学校等の施設見学に対応した。市内外の小学校(12校)と、交流事業による青森市の中学生を受け入れた。子どもたちにとって、資料館に来て初めて知る昔の暮らしや艦砲射撃による戦災・津波災害など、郷土の歴史に触れる貴重な機会となっている。 資料の寄贈・寄託は、受け入れを慎重に行う方向としたが、よほど資料として不適格でない限り、寄贈の申し出を断るのは難しく、対応方法が課題である。		

2. 成人期・高齢期・地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	収蔵資料展示公開事業	郷土の歴史と幾多の災禍に立ち向かった先人の姿や教訓を、次世代へ語り継いでいくため実施する。	時期を捉えた企画展の実施。 ① 「釜石の戦跡 ～未来に遺す戦禍の記憶～」 期間：令和4年7月14日(木)～9月4日(日) 内容：釜石の戦跡と関係する施設を紹介・周知しながら平和の尊さを考える機会とする。 入館者数：547人 ② 「鉄の週間事業 新収蔵資料展」 期間：令和4年11月26日(土)～令和5年1月22日(日) 内容：令和以降の新収蔵資料から鉄に関係するものを初公開、文化財の保存・活用への理解を深める。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			入館者数：199 人 ③ 「先人に学ぶ復興 ～昭和三陸地震津波から90年～」 期間：令和5年3月3日(金)～5月7日(日) 内容：昭和8年の三陸地震津波から90年となるにあたり、改めて当時の様子とその後の復興について、先人に学ぶ。 ※開催中
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、企画展を開催した。今年度は感染症の拡大による臨時休館も無く、予定通り開催することができた。 新収蔵資料展では、寄贈者に案内を出し来館を呼びかけることを試みたところ、8人中5人に来館頂いた。初めて来館いただいた方も多く、資料館を知って頂く機会となった。 市民の来館が少ないことを課題であることに変わりはないが、こうした小さなことを積み上げて、課題解決の糸口としたい。		
	自主活動グループ支援事業	・郷土史を研究する自主活動グループに対し、企画展示室を学びの場として提供する。(ただし企画展示室が未使用のときに限る)	自主活動グループ：釜石漁火の会、釜石の歴史を学ぶ会
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染防止のため、各団体の活動自粛が続き、資料館の利用は3月に釜石の歴史を学ぶ会が学習会を開く(予定)のみだった。 今後は感染症への対応が変わることから、各団体の活動が始まり次第、資料館として出来る限りの支援を行っていきたい。		

3. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	郷土資料館管理運営	館内外の環境を整備するとともに、各種企画展の内容充実を図る。	館内の設備、展示環境の工夫・改善を実施する。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 スポットライトの効果を高めるように、照明の使い方を改善。長年の利用によりズレが目立つ床カーペットを並べ直しながら、展示ケースの配置も修正し、気持ち良く見学していただけるように取り組んだ。 なお、開館以来使っている展示壁が経年劣化の様子を見せていることなどを踏まえて、計画的な改善が望まれる。また冬期の乾燥による展示資料の劣化対策が課題。		
	収蔵資料の保存・管理と資料の調査・収集	収蔵資料を適正に保存・管理する。	①収蔵資料の整理 ②収蔵環境の保全整備 ③未所蔵資料の調査及び収集 ④データベースの整理・修正
	【成果と課題】 市民交流センターに新たな収蔵庫を設け、収蔵資料の一部を移転した。これに伴い資料の保存状態を確認した。資料の収集は寄贈申し出に適切に対応をしている。また新規収蔵資料のデータベースへの登録作業を随時進めた。		
	釜石市郷土資料館運営委員会	郷土資料館の運営全般について提言・助言を受ける。	臨時会 4月25日(月) 1回目 8月23日(月) 2回目 3月23日(木)※予定

スポーツ推進課

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

スポーツの推進については、スポーツ施設が一定整備されたことや、世界規模大会のオリンピックやラグビーワールドカップの開催に伴い、市民のスポーツに対する関心や期待は一層高まっています。

これまで同様にスポーツ施設の有効利用なども見据えながら、当市の自然環境や世界遺産登録である「橋野鉄鉱山」をはじめとする歴史・文化などを素材として取り入れることで「スポーツ資源」と「観光資源」の融合を図り、交流人口の拡大や地域経済への波及効果など、新たな地域の価値を創出する「スポーツツーリズム」の推進に引き続き取り組みます。

令和2年から、新型コロナウイルスの感染拡大により、各種スポーツイベントが中止となっておりますが、今後は感染拡大防止策を講じるなど、安心に参加できる環境を整えながら、各種イベントを実施してまいります。

また、コロナ禍により市民のスポーツに対する環境も変化していることから、安心・安全・健康な生活環境を整える必要性があり、釜石市スポーツ推進委員協議会、釜石市体育協会等の協力を得て、誰もが取り組めるニュースポーツや軽運動の普及に努めながら、子どもから高齢者までの運動する機会の提供とともに、運動を通じたコミュニティづくりを推進します。

競技スポーツについては、釜石シーウェイブスラグビーフットボールクラブをはじめ関係団体との連携を強化し、「ラグビーのまち」として更なるラグビーの振興を図るとともに、各種スポーツ団体や釜石市体育協会などと連携し、各競技の選手強化と育成に努めます。

また、将来的な競技スポーツの振興も視野に、人口減少・少子化によって団体が減少しているスポーツ少年団などの活動も支援します。

2. 重点目標

- (1) 市民の運動不足解消や健康増進のため、幅広くスポーツに親しむことができるような動機づけや機会の創出を図る。
- (2) 市全体や県レベルのイベントを開催して交流を促進すると同時に、市民に希望をもたらし復興や地域の光となるような大規模スポーツ大会の開催に取り組む。
- (3) 震災からの復興の過程の中、次代を担う子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しみ、また幼保、小、中、高とスムーズに接続することで、心身の基礎づくりや体力・運動機能の向上を目指す。
- (4) 体育施設の復旧を推進し、いつでも、どこでも、誰もが、健康に暮らせるまちづくりに努める。
- (5) 体育施設の利活用を念頭に、施設・自然・観光を素材とした交流人口の増加を図る。

Ⅱ 事業報告

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	友好都市（東海市・袋井市）ラグビー交流事業	姉妹都市の愛知県東海市や静岡県袋井市の児童とラグビー交流を開催することで、相互の交流と親睦を深める。	1 年おきで開催地を入れ替えながら、2 年 1 種目を原則とした交流試合の開催に対する補助金を交付。 R4 年度は、当市においてラグビー競技を種目として、東海市、袋井市の 3 市の交流を実施。 〔実施主体〕 釜石市 〔時期〕 9月23日（金祝）～25日（日） 〔場所〕 釜石鶴住居復興スタジアム うのすまイトモス 他 〔対象〕 東海市、袋井市、当市の小学生
	【成果と課題】 東海市・袋井市・当市の小学児童合せて約 100 人でラグビーを通じた交流事業ができたもの。東海市、袋井市の児童には東日本大震災に係る防災学習も実施したもの。初の 3 市交流事業となり、今後も継続的实施することとする。		
将来を担う人材の育成	ラグビーによる人材育成事業	ラグビーという地域資源を活用し、将来を担う人材を育成するとともに、競技の普及促進を図る。	児童・生徒を対象としたラグビー教室の開催。 〔時期〕 通年 〔実施場所〕 釜石鶴住居復興スタジアム／市民体育館／各学校
	【成果と課題】 ラグビー教室を通してラグビーの楽しさやラグビーの精神に触れることにより、次代を担う子どもたちの健やかな心身の成長に寄与することができた。 競技の普及促進、競技人口増加のための取り組みが今後も必要である。		

2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第 13 回仙人峠マラソン大会	仙人峠の地理的特徴を活用した、箱根駅伝に匹敵する難関マラソン大会の開催により、甲西地区のにぎわい創出やスポーツによる活性	これまでは、全国から募集をし、前夜祭も含み盛大に実施していたが、コロナ禍により県内在住の方のみを対象として大会規模を若干縮小し開催予定。 〔時期〕 10月30日（日） 〔場所〕 旧釜石鉱山事務所周辺

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		化を図る。	〔コース〕 ①峠コース(17.2Km) ②10km コース 〔部門〕 男女年齢別 11 部門 〔対象〕 大会当日満 16 歳以上の男女
	【成果と課題】 当大会の選手募集期に県内で新型コロナウイルスの感染が拡大していたこと、更にはその影響によりボランティアを確保することが困難であったことから、大会運営に支障が生じ、あえなく中止となった。次回は新型コロナ感染症の状況にもよるが、再開することで進めるもの。		
市民スポーツの振興	富山県朝日町ビーチボール交流事業	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。 【内容】 釜石市からチームを派遣し、交流と親睦を深める。 〔時 期〕 9月10日(土) 11日(日) 〔場 所〕 朝日町文化体育センター 〔大会名〕 第37回全国ビーチボール競技大会
	【成果と課題】 コロナ禍により中止		

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第 48 回釜石健康マラソン大会	スポーツに親しむ機会の創出と、健康増進の意識向上を図る。	市民参加型年齢別のマラソン大会を開催する。 〔時期〕 10 月 8 日(土) 〔場所〕 釜石鶴住居復興スタジアム 〔種目〕 ①マラソン：3.2km、2.3km、1.5km、400m(幼児の部) ②リレー：100m×4 ほか 〔部門〕 男女年齢別 20 部門 〔対象〕 参加希望者(年齢・性別等不問) 〔参加〕 190 人
	【成果と課題】 市内児童を中心に、190 人の参加により開催できたもの。会場を変更して 2 回		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	目の開催となり改善点があるが、走路環境が整っていることから次回以降も改善を図り継続的に実施するもの。		
	ラグビーメモリアルイベント開催事業	ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承と、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行う。	1. ラグビビッグドリーム事業 釜石シーウェイブス RFC の試合を中心としたイベントの実施 (1)時期 10月9日(日) (2)場所 釜石鵜住居復興スタジアム 2. 釜石絆の日開催事業 ラグビーの試合の開催及び子どもたちの交流事業など (1)時期 9月24日(土)25日(日) (2)場所 釜石鵜住居復興スタジアム 3. いわて・かまいしラグビーメモリアルイベント実行委員会事業 ナミビア・カナダ両国との交流を深めるためビデオメッセージを制作。
	【成果と課題】 市内のコロナ感染が拡大したものの、防止策を徹底し事業を開催することができた。ラグビビッグドリーム事業については、ラグビーワールドカップ2019開催のレガシーを感じるイベントとしながら、ナミビア対カナダ戦の再戦を想起させる事業内容とし、釜石絆の日開催事業については、(一社)釜石観光物産協会が主催する「まんぷくフェス2022」と共催することで、更に多くの交流人口を創出させる釜石ラグビーの空間を創出させることができたため、今後も感染対策を徹底しながらの実施を課題として事業推進しようとするもの。		
市民スポーツの振興	健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業	ニュースポーツや軽体操など、高齢者を中心に誰でもできる運動を指導することにより、市民の身体・健康維持増進と、ストレスの軽減や、生きがいづくりへの支援、ひきこもりの防止など、こころの健康維持増進を図る。	市民の健康増進、健康長寿を目的に運動体力維持活動支援策としてニュースポーツ等を取り入れた健康教室を市内各地で実施。 〔時期〕 通年 〔場所〕 復興住宅・各地区公民館ほか 〔対象〕 地域住民 〔参加結果〕 302回 3,729人 2月20日現在
	【成果と課題】 今年度に入り、市内のコロナ感染が拡大したが、防止策を徹底し事業に取り組むことができた。各地区での参加が固定化しつつあることから、魅力ある事業に更に組み立て、幅広く新規参加を伸ばし健康長寿に繋げていきたい。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	第 4 回釜石市 公民館対抗 ニュースポ ーツ交流大会	ニュースポーツを通じ て市民の健康維持増進 への関心を高めてもら うことや、他地域との 交流の場を創出するも の。	市民へのニュースポーツ普及や健康増 進を推進することを目的として、8 地区 公民館対抗でのニュースポーツの大会を 開催。 【内容】 1 地区公民館から 15 人程度でチーム を構成し 3 種目のニュースポーツ対抗戦 を行い、交流と親睦を深める。 〔時期〕 12 月 3 日（土） 〔場所〕 市民体育館
	【成果と課題】 12 月開催前に市内で新型コロナ感染症が拡大している中で、高齢者の参加が中 心であった当大会を開催することに不安が大きかったことから、やむを得ず中止と した。次年度は、新たなメニューを取り入れた内容で大会開催を予定する。		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
関係団体と の連携	釜石市体育協 会補助金助成 事業	市内各競技団体及びス ポーツ少年団本部を通 じての、競技団体の連 携による活動の活性化 を図る。	釜石市体育協会の運営支援として事業費 及び人件費等を補助する。
	【成果と課題】 ここ 3 年程、コロナ禍の影響により、各競技団体及びスポーツ少年団の指針とな る活動が中心となった。 その他、体育協会主催による釜石市民体育賞表彰状授与式を開催し、一般個人の 部 5 人、児童生徒個人の部 29 人、団体の部 5 団体が受賞された。		
	各種スポーツ 団体大会等助 成事業	県大会規模以上のスポ ーツ大会の誘致を促進 して交流人口の拡大を 図る。また、全国で行 われるスポーツ大会に 参加し釜石市の PR と 市民のスポーツ向上に 寄与する。	釜石市体育協会及び釜石市体育協会への 加盟団体、大会実行委員会、各種競技団 体が行うスポーツ大会に要する経費に対 し、補助金を交付する。 【主な助成事業】 ・釜石はまゆりトライアスロン国際大会 開催予定：9 月初旬予定 ・釜石オープンウォータースイミング 大会 開催予定：7 月 31 日（日） 参加者数：230 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 コロナ禍により、各種大会の中止が相次いだが、オープンウォータースイミング大会の他、野球・バウンドテニス・サッカー・柔道・インディアカなどの競技大会が当市で開催され、事業目的である交流人口の増や当市のPRを図ることができた。今後も継続的に各種大会の支援を行う。		
スポーツ情報の提供	スポーツ情報提供事業	スポーツに関する情報発信を行うことで、各種事業の参加拡大や生涯スポーツへのきっかけづくりを図る。	市ホームページへの記事掲載、体育施設等への掲示、各種催事の報道機関への情報提供等を行う。 〔時期〕 通年 〔対象〕 一般市民ほか
	【成果と課題】 各種大会やイベントの告知として市HPを活用して広く情報を発信できた。ラグビーにおいては、YouTubeにより、SWの試合中継や児童をはじめとし幅広くスタジアムの紹介や事業の取り組みをPRできた。		

釜石市立釜石公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

釜石市生涯学習推進計画に基づき、地域に根ざし地域の実情に即した公民館活動を推進して市民の学習ニーズにもきめ細かに応え、生涯学習の成果が地域活動などに反映される持続可能な学びの社会である「学びと実践が循環する生涯学習社会」の形成に努める。

2. 重点目標

- (1) 地域の生涯学習の拠点として、公民館の機能及び事業内容の充実を図る。
- (2) 地域に身近な公民館として、住民のニーズに即した学習機会の提供を図る。
- (3) 地域の保健活動の核として、住民の心身の健康の維持増進を図る。
- (4) 地域課題の解決に向け、地域づくり活動の充実を図る。

II 事業報告

1. 乳幼児期～学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育ての支援	わんぱく広場	様々な学びの場や体験の場を提供し、仲間と一緒に遊ぶ楽しさや、創造と新たな発見の喜びを感じてもらうとともに、地域住民との交流の場なども提供し、世代を超えた交流を図りながら、子どもたちが明るくたくましく成長する機会とする。	○ 農業体験〔ばしょまえ農園〕 《釜石小学校区放課後子ども教室 「ばしょまえ交流館」と共催事業》 【時期、内容及び参加者数】 第1回：9月22日（木） 白カブの種植え及び肥料散布 16人（うち子ども 10人） 第2回：11月10日（木） さつま芋掘り〔1回目〕 9人（うち子ども 6人） 第3回：11月14日（月） さつま芋掘り〔2回目〕 8人（うち子ども 6人） 第4回：1月19日（木） 白カブ収穫 8人（うち子ども 5人） 【場所】釜石公民館（青葉ビル）前の畑 【対象】「ばしょまえ交流館」に参加した児童のうちの希望者

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			○ やさしい陶芸教室 [わくわく広場と同時開催] 【時期、内容及び参加者数】 第1回：7月9日（土） はにわをつくろう 22人（うち子ども 10人） [定員：20人] 第2回：2月11日（土） カラフルな器をつくろう ※ 4色の粘土を使用 26人（うち子ども 12人） [定員：20人] 【場所】釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】小学生など 【講師】陶芸作家 澤 田 麟太郎 氏 ○ ホタル観察会 雨天中止 《 市生活環境課と共催事業 》 【時期】7月15日（金） 【場所】中小川地区（ワッカラ淵） 【対象】小学生など 【講師】釜石ホタル友の会 ○ 釜石港見学会 《 釜石港湾事務所出前講座活用事業 》 [いきいき広場と同時開催／別時間] 【時期】8月4日（木） 【場所】釜石港 【対象】小学生など 【内容】港や防波堤などを実際に乗船しながら見学し、港の利用状況や役割などを学ぶ〔子ども向け〕 【講師】釜石港湾事務所 【参加者数】13人（うち子ども 9人） [定員：10人] ○ 星空観察会 《 市生活環境課と共催事業 》 ① 夏の星空観察会 曇天中止 【時期】8月26日（金）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			【場所】根浜オートキャンプ場 【対象】小学生など 【講師】釜石DMC天文部 ② 冬の星空観察会 【時期】12月23日（金） 【場所】根浜オートキャンプ場 【対象】小学生など 【講師】釜石DMC天文部 【参加者数】18人（うち子ども 8人） ○ 水辺の鳥観察会 《 市生活環境課と共催事業 》 [いきいき広場と同時開催] 【時期】1月14日（土） 【場所】片岸公園とその周辺 【対象】小学生など 【講師】釜石野鳥の会 【参加者数】7人（うち子ども 1人） ○ 音楽鑑賞 〔 ミュージックフェスティバル 〕 【時期】1月27日（金） 【場所】釜石市民ホール TETTO 【対象】釜石・白山・平田・唐丹・栗林・甲子小学校の児童 【内容】うたとピアノによるコンサート 【協力】(公財)音楽の力による復興センター・東北（音楽家：2人） 【参加者数】401人【教職員等を含む】 （うち児童 351人） 【特記事項】 ・ 釜石、白山、栗林小は全児童が参加 ・ 平田、唐丹、甲子小は学年限定で参加 ・ 会場までは、釜石小は徒歩、その他はスクールバス（目的外使用）で移動
	【成果と課題】 本年度は、新型コロナウイルスの流行が始まって3年目であり、未だ終息が見えない状況にあるが、当館を始め、参加者自ら感染対策が定着していたため、天候により、やむを得ず中止した事業があったものの、概ね計画していた事業を実施した。 特に、音楽鑑賞は、当初計画よりも大幅に規模を拡大。昨年度に続き、市民ホー		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			ル TETTO（ホールA）を貸し切り、プロの音楽家による「うたとピアノによるコンサート」を実施した。実施に至るまでには様々な背景があったが、本年度は、釜石小学校のほか、白山、平田、唐丹、栗林及び甲子小学校の児童を招待。参加者数は、同行する教職員を含め会場座席数の約半分（400 人）とし、移動手段となるスクールバスの乗車定員なども念頭におきながら調整。また、演奏曲目は、事前に参加する小学校からアンケートを集い、音楽家から多大な配慮をいただき、最新のアニメソング、本日のために用意されたジブリメドレー、J-POPなどの身近な曲や、学校授業の課題曲、ドイツ語による本格的なクラシック曲など、参加した年齢層（1～6年生）を加味したプログラムで構成され、非常に密度が濃く、凝縮した内容で、一つひとつの曲が終わるたびに、大きな拍手が会場内に鳴り響いていた。参加した児童の多くは、本格的なコンサートホールで、本物のプロが奏でる音楽を、生の歌声を味わったのが初めてのように、終始圧倒されたような表情を浮かべながらも、リズムをとっている姿もみられ、短い時間ではあったが、楽しく有意義な時間を過ごしていただいたものと思う。 また、陶芸教室では、講師の協力もあり、子どもに興味関心を抱くような内容で2回実施した。1回目は「はにわづくり」。2回目は4色の粘土を使用しての「カラフルな器づくり」を行った。いずれも多くの子供達に参加していただき、大人と一緒にものづくりを体験したが、何よりも陶芸を通して、自ら芸術に触れ、世界に一つの宝物（作品）づくりへの創造と喜びを抱いていただけたものと思う。 この他、釜石小学校放課後子ども教室「ばしょまえ交流館」から協力をいただき、『ばしょまえ農園』と称した釜石公民館（青葉ビル）前の畑での農業体験は2年目を向かえ、1年目と同様、さつま芋を収穫した以外に、新たな試みとして白カブも栽培し、普段では味わえない農業体験を行った。 引き続き、子どもに興味関心を抱くような事業を立案しながら、一人でも多くの子どもたちに「明るくたくましく成長する機会のある場」を提供するとともに、より一層、世代を超えた交流を図りながら、笑顔があふれ、有意義だと感じていただき、何かしらの新たな発見に繋がるような事業を実施していきたい。

2. 成人期～高齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
ライフサイクルに沿った健康づくり	健幸サポート事業	誰もが自分の身体に関心を持ち、健康づくりに取り組みたいと思えるような機会を提供するとともに、心身の健康等に不安や問題を抱えている方などに対し、個別に相談に応じ、指導や	○ 健幸サポート相談会 【時期】8月～10月（予定） 【場所】釜石公民館（青葉ビル）など 【対象】地域住民 【内容】健診結果相談会 ○ 健幸相談 【時期】随時

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
		助言、見守りなどを行いながら、生活習慣病予防をはじめとした健康づくりへの一助を担う。	【場所】 釜石公民館（青葉ビル）など 【内容】 健診結果説明、生活習慣指導、心の相談等 【対象】 地域住民 【参加者数】 延べ 36 人
	【成果と課題】 定期的な相談日は設けず、随時、心身の健康に悩みを抱える方の相談に対応した。特定健診後の結果説明の他、食生活や生活習慣について継続した指導を実施した。また、心身の不調のほか複数の問題を抱える方については、定期的に面談を行い細やかに対応した。今後も健康づくりの一助として、相談や指導を継続する。		
	高齢期対象の健康教室	住民主体の活動を支援するとともに、各教室において、地域の実情を踏まえた健康教育等を実施しながら、自分の身体や健康づくりに対し、より一層、興味や関心を抱かせ、さらなる自主的な実践に繋がるよう、住民の自立支援及び心身の重度化防止に努める。	○ 健康教室 ① AOBA 運動教室 【時期】 毎月第 1・第 3 金曜日 10:00～11:30 【場所】 釜石公民館（青葉ビル活動室） 【内容】 軽体操 卓球バレー ベジチェック 【協力】 釜石市体育協会 明治安田生命 【参加者数】 月 14 人程度 ② 大平運動教室 【時期】 第 2 火曜日 10:00～11:30 【場所】 大平集会所 【内容】 体育協会講師による軽体操 健康講話 【協力】 釜石市体育協会 【参加者数】 月 6 人程度 ○ 各地区健康サロン ① お茶っこうれいし 【時期】 第 2 金曜日 13:30～15:00 【場所】 嬉石地区集会所 【内容】 もの忘れ相談会 脳トレ、ニュースポーツ 体育協会講師による軽体操 健康講話 【協力】 釜石市地域包括支援センター

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			釜石市社会福祉協議会 釜石市体育協会 【参加者数】 月 12 人程度 ② 東前健康教室 【時期】 第 3 木曜日 13:30～15:00 【場所】 東前集会所 【内容】 体育協会講師による軽体操 健康講話 【協力】 釜石市体育協会 【参加者数】 月 8 人程度 ③ のぞみサロン 【時期】 第 3 金曜日 13:30～15:00 【場所】 望洋ヶ丘集会所 【内容】 権利擁護について 脳トレ、ニュースポーツ 体育協会講師による軽体操 【協力】 釜石市地域包括支援センター 釜石市社会福祉協議会 釜石市体育協会 【参加者数】 月 5 人程度 ④ はまさろん 令和4年度より休止 【時期】 第 4 金曜日 13:30～15:00 【場所】 浜町集会所 【内容】 軽運動など ⑤ 松原くらぶ 【時期】 毎週土曜日 10:00～11:00 【場所】 松原地区コミュニティ消防センター 【内容】 100 歳体操、軽運動など 【参加者数】 月 13 人程度 ○ 各地区集会施設などでの健康教室 ① 天神復興住宅 【時期】 1 月 26 日 【場所】 天神復興住宅集会所 【内容】 健康講話 【参加者】 8 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			② よったんせ 【時期】5月17日 【場所】釜石公民館（青葉ビル活動室） 【内容】健康講話 【参加者】15人 ③ ひまわり会 【時期】7月11日 【場所】大平集会所 【内容】健康講話 【参加者】20人 ④ フレンド運動教室 【時期】6月3日、2月3日 【場所】保健福祉センター（9階） 【内容】健康講話 【参加者】延べ18人
	【成果と課題】 運動教室や100歳体操などの自主活動グループを対象に、健康講話やレク活動を実施した。多くの団体が自主的な活動をしており、応援センターの役割は後方支援（相談役、年数回の健康教育）となっている。今後も住民主体の活動を細く長く継続できるようサポートしていく必要がある。 課題としては、通い・集いの場がない町内会もあること、団体の多くは参加者が固定しており新規の方が入ることが難しい、町内会で開催している団体に復興住宅の方が入りづらい等がある。		
交流の推進	わくわく広場	様々な体験の場を提供し、ものづくりへの関心を高めながら、一人ひとりの個性や能力を生かし、豊かな心や感性、創造性を育むとともに、参加者間の交流を深めながら、仲間づくりを始めとした生きがいのある充実した生活への一助とする。	○ そば打ち教室 【時期及び参加者数】 第1回：5月28日（土） 8人【定員：8人】 第2回：3月2日（木） 8人【定員：8人】 【場所】釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】地域住民 【講師】市唐丹地区生活応援センター 菊 地 秀 明 氏 ○ やさしい陶芸教室 再掲 [わんぱく広場と同時開催] 【時期、内容及び参加者数】

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			第1回：7月9日（土） はにわをつくろう 22人〔定員：20人〕 第2回：2月11日（土） カラフルな器をつくろう ※ 4色の粘土を使用 26人〔定員：20人〕 【場所】釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】地域住民 【講師】陶芸作家 澤 田 麟太郎 氏 ○ クリスマスリースづくり 《 県立陸中海岸青少年の家マリナランド やまびこキャラバン活用事業 》 ① 松原地区コミュニティ消防センター 【時期】10月29日（土） 【対象】松原地区住民 【講師】県立陸中海岸青少年の家 【参加者数】16人 ② 東前集会所 【時期】11月24日（木） 【対象】東前地区住民など 【講師】県立陸中海岸青少年の家 【参加者数】10人
			【成果と課題】 本年度は、上記「わんぱく広場」と同様、一部内容を変更した事業があったものの、概ね計画していた事業の全てを実施した。 本事業は、① 様々な体験の場を提供、② ものづくりへの関心を高める、③ 豊かな心や感性や創造性を育む、④ 参加者間の交流 により、「生きがいのある充実した生活への一助」とすることを目的としていることもあり、これまでの実績等をもとに、興味関心を抱いている事業を実施したため、基本的には、昨年度と同じ内容の事業を実施した。 そば打ち教室は、昨年度と同様、定員8人の申込制として2回実施。いずれも直ぐに定員に達するなど、非常人気がある事業であり、陶芸教室においても非常に人気が高い事業である。陶芸教室は、2年目を向かえ、全て同じ講師に依頼し実施している。講師からは、何かと固いイメージがある陶芸を、身近に感じていただき、楽しんでいただきながら、交流の輪を広げたいなどの熱い思いを抱いており、毎回、興味関心を抱くような内容で実施した。1回目は「はにわづくり」。2回目は4色の粘土を使用する「カラフルな器づくり」を行い、いずれも定員以上の方に参加していただいた。 本年度実施した事業の全てにおける共通事項は、興味関心はもちろんであるが、参

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	加者同士の交流が目についた。いずれの事業も多くのリピーターが参加しているのが要因と考えられ、最初は、一つも会話がなかった方同士が、今では世間話をするほどの関係性が構築されている方々が散見された。 このことから、人気がある事業は引き続き実施していくとともに、新たに人気が出る事業を開拓・立案し、一人でも多くの方へ「生きがいのある充実した生活への一助」となる事業を実施していきたい。		
高齢者の生きがいづくり	いきいき広場	新たな興味や関心を抱かせるような学びや芸術鑑賞、娯楽要素を含めた催し物など、生きがいづくりに繋がるような様々な場を提供し、健康でいきいきとした生活が送れるように支援する。	○ いきいきウォーキング ① お花見ウォーキング 【時期】 4 月 12 日（火） 【場所】 釜石公民館（青葉ビル） ⇔ 市民交流センター 【対象】 地域住民 【講師】 健康運動実践指導者 蓮 見 純 子 氏 【参加者数】 12 人 ② 晩秋ウォーキング 【時期】 11 月 1 日（火） 【場所】 釜石公民館（青葉ビル） ⇔ 大平公園 【対象】 地域住民 【講師】 健康運動実践指導者 蓮 見 純 子 氏 【参加者数】 15 人 ○ 青葉シアター（映画上映会） 《 第 2 回及び第 3 回は、 みやこ映画生活協同組合と共催事業 》 【時期、上映作品及び参加者数】 第 1 回：5 月 10 日（水） スープ・オペラ 12 人 第 2 回：9 月 2 日（金） 空飛ぶタイヤ 25 人 第 3 回：2 月 3 日（金） 超高速！参勤交代 32 人 【場所】 釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】 地域住民 ○ 青葉スマホ塾（スマホ教室） 【時期】 7 月 7 日（木）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			【場所】釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】地域住民 【内容】LINEを学ぼう 【協力】ソフトバンクCSR本部 【参加者数】9人 ○ 五葉山登山 《 釜石・平田・唐丹公民館三館合同事業 》 【時期】7月30日（土） 【場所】唐丹町（赤坂コース） 【対象】地域住民 【協力】釜石山岳協会（ガイド役） 【参加者数】15人（うち子ども 2人） （釜石 5人・平田 3人・唐丹 7人） ○ 釜石港見学会 《 釜石港湾事務所出前講座活用事業 》 〔 わくわく広場と同時開催／別時間 〕 【時期】8月4日（木） 【場所】釜石港 【対象】地域住民 【内容】港や防波堤などを実際に乗船しながら見学し、港の利用状況や役割などを学ぶ〔大人向け〕 【講師】釜石港湾事務所 【参加者数】10人〔定員：10人〕 ○ 音楽鑑賞〔 青葉コンサート 〕 【時期及び参加者数】 第1回：9月 3日（土） 29人 第2回：2月18日（土） 27人 【場所】釜石公民館 （青葉ビルフリースペース） 【対象】地域住民 【内容】うたとピアノによるコンサート 【協力】（公財）音楽の力による復興センター・東北（音楽家：2人） ○ 知って得する講座 《 生涯学習まちづくり出前講座活用事業 》

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			【時期】 9月13日（火） 【場所】 釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】 地域住民 【内容】 マイナンバー制度 【講師】 市総務課 係長 佐藤 健太 氏 【参加者数】 3人 ○ 水辺の鳥観察会 再掲 《 市生活環境課と共催事業 》 〔 わんぱく広場と同時開催 〕 【時期】 1月14日（土） 【場所】 片岸公園とその周辺 【対象】 地域住民 【講師】 釜石野鳥の会 【参加者数】 7人
	【成果と課題】 本年度は、上記「わくわく広場」と同様に、一部内容を変更した事業があったものの、概ね計画していた事業の全てを実施した。 特にも「五葉山登山」は、釜石・平田・唐丹公民館の三館合同の恒例事業であったが、令和元年度は雨天により、令和2・3年度はいずれも新型コロナウイルス関連により中止を余儀なくされており、4年ぶりに実施したものである。本年度は、少しでも天候による中止を避けたいことから、これまで実施していた時期（梅雨時期／例年「しゃくなげ」が見頃となる6月下旬頃）を見直し、協力先である釜石山岳協会との協議を経て7月30日に実施したところであるが、真夏の時期に実施したせいか、参加者が少ない結果（平成30年度の参加者は、職員などの関係者を除き33人）であった。このことから、来年度は、再度実施時期を見直し、より多くの方に登山の楽しさを感じていただくことはもちろんのこと、健康づくりや、何より参加者同士の交流が図れるように実施していきたい。 その他、既に定着している「いきいきウォーキング」や、非常に人気の高い「音楽鑑賞」、「青葉シアター（映画上映会）」なども継続して実施し、より一層地域住民が求める生涯学習のニーズ把握に努め、一人でも多くの方へ生きがいづくりに繋がるような様々な場を提供できるよう、新たな事業も模索しながら、健康でいきいきとした生活が送れるように支援していきたい。		
社会参加の促進	公民館自主活動グループ支援	施設設備の供用を行い、市民の自主的な生涯学習活動を支援する。	○ 公民館施設設備の供用 【時期】 通年 【場所】 釜石公民館（青葉ビル活動室） 保健福祉センター（研修室）など 【対象】 地区住民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			【登録団体】 67団体（令和5年2月28日現在） 【参考】 令和4年4月1日現在：60団体
	【成果と課題】 趣味や健康づくりなど、地域住民主体の生涯学習活動の場を提供した。 釜石公民館に登録している自主活動グループの活動拠点は、釜石公民館（青葉ビル／活動室）を中心に、保健福祉センター（研修室）や地区集会所など、様々な場所で活動しており、自主活動グループに登録している団体数は、令和元年度末現在で40団体。令和2年度末で59団体。令和3年度末で60団体。本年2月28日現在では67団体と増加傾向にある一方で、参加者の高齢化により、会員数（参加率）が減少傾向にあり、やむを得ず活動自体を中止（解散）した団体〔令和4年度は1団体〕があるほか、活動回数を減らしている団体が見られた。 このような状況は他地区でも散見されているものと思うが、居場所や生きがいを求める方への橋渡しを行いながら、引き続き、自主的に取り組んでいる生涯学習活動の場の提供に努め、自主活動グループの支援を行っていきたい。		
芸術文化活動の推進	みなとかまいし歴史講座	郷土の文化を始めとした、様々な歴史に触れる学習の場を提供し、郷土の誇りや魅力などを再認識していただき、より良いまちづくりへの活力へ繋げるほか、教養を深めていただくことにより、物事に対する理解力や創造力を高め、より一層の生きがいづくりを見出す一助とする。	○ 文化財めぐり 《 生涯学習まちづくり出前講座活用事業 》 【時期】6月1日（水） 【場所】「甲子編」と題し、コースを小川町・桜木町・定内町・甲子町に設定 【対象】地域住民 【内容】文化財の解説など 【講師】市文化振興課 主任 加藤 幹 樹 氏 【参加者数】15人〔定員：15人〕 ○ 郷土民話教室〔おらほの民話〕 【時期及び参加者数】 第1回：9月21日（水） 7人 第2回：3月15日（水） 人 【場所】釜石公民館（青葉ビル研修室） 【対象】地域住民 【内容】ふるさとの昔話 【講師】漁火の会 ○ ジオサイトめぐり 《 釜石観光物産協会と共催事業 》

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			【時期】 10月4日（火） 【場所】 橋野鉄鉱山とその周辺 【対象】 地域住民 【内容】 ジオサイトに指定されている「橋野鉄鉱山」の解説など 【講師】 釜石観光ガイド会 藤 井 静 子 氏 （三陸ジオパーク認定ガイド） 【参加者数】 16人〔定員：15人〕
	【成果と課題】 本年度は、計画していた事業の全てを実施した。 館外で実施した2事業（文化財めぐり・ジオサイトめぐり）は、直ぐに定員に達するなど、非常に人気が高い事業であったが、その一方で、「漁火の会」を講師に招いて実施している『郷土民話教室』は、参加者が少ない現状にある。『郷土民話教室』は、令和2年度から実施しており、本年度で3年目であるため、参加者の多くはリピーターが占めている反面、実施の都度、新たな参加者も見られ、参加者からは「参加者数の大小を問わず、このような事業は継続すべき」との声が多く聞かれていること、少人数ではあるものの、本事業を心待ちにしている参加者がいること、さらには「漁火の会」は、当館の自主活動グループの一つであり、自主活動グループの支援といった観点からも、引き続き、実施していきたい。 また、当市における様々な歴史にも触れていただきながら、郷土の魅力を再認識していただき、生きがいづくりを見出す一助に繋がるような、より一層の教養が深まるような学習の場の提供（事業）についても、継続して実施していきたい。		

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	コミュニティ推進事業	当館所管の地域には、市の中心市街地を始め、震災による復興住宅が数多く林立されており、既存住民と様々な地域からの移住者との関係性が希薄な現状にある中、互いに支え合い、助け合い、誰もが住みやすく、安心して暮らすことが出来るように、双方の融和を図りながら、地域	○ 薬師公園清掃活動 《 みなとかまいし地区会議等、関係機関との共催事業 》 【時期】 4月3日（日） 【場所】 薬師公園 【対象】 みなとかまいし地区住民 【内容】 清掃活動（落ち葉拾いを含む） 【参加者数】 51人（うち子ども 7人） ○ 桜苗植樹活動 《 みなとかまいし地区会議等、関係機関との共催事業 》

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		全体として住民同士の調和に努め、より良いコミュニティの構築に向けた、住民同士の交流を促進する場を提供し、一層の親睦が深まる一助とする。	【時期】 9月10日(土) 【場所】 港町グリーンベルト 【対象】 みなとかまいし地区住民 【内容】 植樹(水やりを含む) 【参加者数】 18人(全体 77人) ○ 年末ごみ拾いウォーキング 《 みなとかまいし地区会議等、 関係機関との共催事業 》 【時期】 12月10日(土) 【場所】 中心市街地及びその周辺 【対象】 みなとかまいし地区住民 【内容】 ウォーキングしながらごみ拾い 【参加者数】 43人(うち子ども 8人)
	【成果と課題】 本年度は、当初計画になかった「桜苗植樹活動」を併せ、3事業を実施した。 いずれの事業も、みなとかまいし地区会議の「まちを元気にするイベント」と共同で実施したものであるが、その背景には、当館(みなとかまいし地区会議)が所管する地域には、他の地域には比べ物にならないほどの災害公営復興住宅が多く林立(18棟)されており、古くから生活している住民(町内会などの組織団体も含む)と、東日本大震災により他の地域からの移住者(各復興住宅内の自治会などの組織団体も含む)との融合が大きな課題となっている。 このため、公民館事業とみなとかまいし地区会議事業は、いずれも事業目的が共通していることから、引き続き、地域のコミュニティの推進に向けて、事業内容を模索し、関係機関との連携を図りながら、より多くの交流が生まれる場の提供に向けて、各事業を実施していきたい。		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)						
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	○ 施設の貸館						
			【時期】 通年						
			【場所】 釜石公民館（活動室 1・2）						
			【対象】 自主活動グループなど						
			[参考：貸館実績]						
			《令和4年度》 令和 5 年2月末日現在						
			<table><tr><td>団体数</td><td>回数</td><td>人数</td></tr><tr><td>47</td><td>795</td><td>4,576人</td></tr></table>	団体数	回数	人数	47	795	4,576人
団体数	回数	人数							
47	795	4,576人							

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)												
			《令和3年度》<table><tr><th>団体数</th><th>回数</th><th>人数</th></tr><tr><td>43</td><td>738</td><td>4,544人</td></tr></table> 《令和2年度》<table><tr><th>団体数</th><th>回数</th><th>人数</th></tr><tr><td>47</td><td>582</td><td>3,969人</td></tr></table>	団体数	回数	人数	43	738	4,544人	団体数	回数	人数	47	582	3,969人
団体数	回数	人数													
43	738	4,544人													
団体数	回数	人数													
47	582	3,969人													
	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染対策の定着や、捉え方の緩和などから、新型コロナウイルスの流行が始まった令和2年度と比較しても、団体数は、ほぼ横ばいでありながら、利用回数や利用人数は増加傾向にあるため、引き続き、地域の学び、考え、行動する拠点となるよう、利用者のニーズに答えられるよう日々努めていくとともに、照明設備などの軽微な不具合等にも注視しながら、快適な施設利用に向けた環境整備を徹底していきたい。 なお、本年度においても、昨年度に続き、暖房能力が懸念されている空調設備（室外機）を修繕（低速圧縮機の交換／昨年度はインバータ圧縮機の交換）したため、暖房能力は、昨年度よりも向上。冬期間の利用者に対しても、より快適な環境を提供している。														

5. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習ネットワークの形成	センターだよりの発行	公民館事業や保健事業の周知、釜石地区管内における町内会や自主活動グループの活動、市の重要事項のお知らせなど、様々な情報を広く発信する。	○ 釜石地区生活応援センターだより「青葉タイムズ」 【時期】 通年（1回／月：15日発行） 【発行部数】 約 2,900部
	【成果と課題】 月1回（毎月15日）発行し、行政連絡員等の協力を得て、広報かまいしと一緒に配布している。生活応援センターだよりは、公民館事業や保健事業、市の重要事項（特に釜石地区）の周知など、様々な情報を発信していることから、要点を明確することはもちろんのこと、文字の大きさ、色合い、イラストを活用するなど、誰もが読みやすい広報誌となるよう心掛けて作成している。 引き続き、地域に身近で親しみやすい広報誌となるよう作成していきたい。		

釜石市立平田公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

釜石市生涯学習推進計画に基づき、地域に根ざし地域の実情に即した公民館活動を推進して市民の学習ニーズにもきめ細かに応え、生涯学習の成果が地域活動などに反映される持続可能な学びの社会である「学びと実践が循環する生涯学習社会」の形成に努める。

2. 重点目標

- (1) 地域の生涯学習の拠点として、公民館の機能及び事業内容の充実を図る。
- (2) 地域に身近な公民館として、住民のニーズに即した学習機会の提供を図る。
- (3) 地域の保健活動の核として、住民の心身の健康の維持増進を図る。
- (4) 地域課題の解決に向け、地域づくり活動の充実を図る。

II 事業報告

1. 乳幼児期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	子育て支援	子育て世代の仲間づくり及び親子のストレス発散等を目的とする。 子育て中の母子のニーズに耳を傾けながら、実施していく。	① 保健師による育児相談及び講話 〔時期〕 奇数月第4月曜日 ・ 5/23 10人(5組) 講話「子供の事故防止について」 ・ 7/25 4人(2組) ・ 9/26 4人(2組) 歯科衛生士による講話 ・ 11/28 4人(2組) ・ 1/24 7人(3組) 講話「発達を促す遊びの話」 〔場所〕 平田子育て支援センター 〔対象〕 未就学児と保護者 ※同センターと連携 ②親子で遊ぼう！！ 〔時期〕 5/10(火) 中止 6/14(火) 4人(2組) 7/12(火) 8人(4組) 8/18(木) 6人(3組) 9/13(火) 中止

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			10/11 (火) 8人 (4組) 11/8 (火) 8人 (4組) 12/13 (火) 8人 (4組) 1/23 (月) 8人 (4組) 2/14 (火) 4人 (2組) 3/14 (火) 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 未就学児と保護者
	【成果と課題】 ・「保健師の育児相談・講話」については、継続して利用している保護者も多く、継続的に相談を受けることができた。また、保健師が子育て支援センターへ出向かない日でも、センター利用の保護者から職員を介して子供に関する相談が保健師あてに来ることもあり、今後も連携を図りながら継続していきたい。 ・「親子で遊ぼう!!」については、サロン事業を委託した釜石市体育協会が主体となって取り組んでいるもの。参加者は親子ともそれぞれ同年代と交流することができ、満足している様子。徐々に定着してきており、来年度は更なる拡充を目指したい。		

2. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	平田キッズクラブ	自然に触れ合うことを通じて、子どもたちが明るくたくましく成長する機会とする。 また利用者が低年齢化しているスマホ、SNSへの接し方、必修科目となったプログラミング授業について、専門家から学ぶもの。	①ホテル観察会 〔時期〕 不参加 〔場所〕 唐丹町山谷地区 ※唐丹との合同事業 ②情報モラル授業 〔時期〕 11/2 (水) 43人 (平田小学校 5年生27人、6年生16人) 〔場所〕 平田小学校 〔講師〕 ソフトバンク株式会社 ③プログラミング学習 〔時期〕 1/26 (木)、2/2 (木) (平田小学校6年生17人) 〔場所〕 平田小学校 〔講師〕 ソフトバンク株式会社
	世代間交流事業	子どもと地域住民が体験活動等を通じて、地域文化の継承を目指すとともに、住民の孤立防止	つながるカフェ 〔時期〕 12/19 (月) 12人 2/27 (月) 20人 〔場所〕 平田集会所、上平田ニュータ

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		を図るなど有効な交流の場を創出する。	ウン集会所 〔対象〕地域住民と園児・児童・生徒 ※「交流の場の創出」にも掲載。
	【成果と課題】 ・情報モラル授業、プログラミング学習は、釜石市がソフトバンク(株)と締結した「地方創生に関する連携協定」に基づく事業で昨年度に続き2年目。今年度は地元の介護施設「あいぜんの里」が地域貢献としてソフトバンク社から借り受けている人型ロボット「ペッパー」を活用した授業を展開。学校から良い評価をいただいた。 ・交流による孤立防止を目的とした「つながるカフェ」では平田小学校と歌や踊り、昔遊びを通じて交流することができ、好評だった。これまでは平田公民館のみの開催だったが、今後は管内の他地区の集会所でも開催し、交流の輪を広げて行きたい。		

3. 成人期・高齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
成人及び高齢者の健康づくり	健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導助言、見守りを行い、生活習慣改善や介護予防など、家庭における健康管理に資する。	保健師による健康相談（健康教含む） ① 6/16（木）9人 内容：熱中症予防 場所：上平田集会所 ② 7/21（木）7人 内容：熱中症予防 場所：上平田ニュータウン集会所 ③ 9/15（木）9人 内容：こころの健康 場所：上平田集会所 ④ 9/15（木）9人 内容：こころの健康 場所：上平田ニュータウン集会所 ⑤ 9/27（火）7人 内容：こころの健康 場所：平田集会所 ⑥ 10/5（水）12人 内容：認知症予防 場所：県営平田アパート集会所 ⑦ 12/2（金）22人 内容：高血圧予防 場所：上平田ニュータウン集会所

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)																																																
			⑧ 12/7(水) 13人 内容：高血圧予防、認知症予防 場所：県営平田アパート集会所 ⑨ 12/15(木) 6人 内容：高血圧予防 場所：上平田集会所 ⑩ 12/15(木) 12人 内容：高血圧予防 場所：上平田ニュータウン集会所 ⑪ 1/11(水) 6人 内容：高血圧予防 場所：尾崎白浜集会所																																																
	【成果と課題】 集まりの機会を利用し、健康教育及び健康相談を実施。 集まりに参加していない方へのアプローチが不足していたため、公民館便り等を活用し健康や介護予防に関する情報発信にも力を入れていきたい。																																																		
	健康教室	健康に関する多様な学習機会を提供するとともに軽運動を一緒に行うことにより、住民の健康づくりへの意識の向上を図る。	① 平田運動教室 時期：毎月第4火曜日 場所：平田集会所 <table border="1"> <tr><td>4/26</td><td>5人</td><td>5/24</td><td>中止</td></tr> <tr><td>6/28</td><td>3人</td><td>7/26</td><td>3人</td></tr> <tr><td>8/23</td><td>3人</td><td>9/27</td><td>7人</td></tr> <tr><td>10/25</td><td>5人</td><td>11/22</td><td>5人</td></tr> <tr><td>1/24</td><td>中止</td><td>2/28</td><td>1人</td></tr> <tr><td>3/16</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ② 上平田わかば会 時期：毎月第3木曜日 場所：上平田集会所 <table border="1"> <tr><td>4/21</td><td>8人</td><td>5/19</td><td>8人</td></tr> <tr><td>6/16</td><td>9人</td><td>7/21</td><td>7人</td></tr> <tr><td>8/18</td><td>中止</td><td>9/15</td><td>9人</td></tr> <tr><td>10/20</td><td>9人</td><td>11/17</td><td>4人</td></tr> <tr><td>12/15</td><td>6人</td><td>1/19</td><td>6人</td></tr> <tr><td>2/16</td><td>5人</td><td>3/16</td><td></td></tr> </table> ③ 上平田ニュータウン運動教室 時期：毎月第1・3木曜日 場所：上平田ニュータウン集会所	4/26	5人	5/24	中止	6/28	3人	7/26	3人	8/23	3人	9/27	7人	10/25	5人	11/22	5人	1/24	中止	2/28	1人	3/16				4/21	8人	5/19	8人	6/16	9人	7/21	7人	8/18	中止	9/15	9人	10/20	9人	11/17	4人	12/15	6人	1/19	6人	2/16	5人	3/16	
4/26	5人	5/24	中止																																																
6/28	3人	7/26	3人																																																
8/23	3人	9/27	7人																																																
10/25	5人	11/22	5人																																																
1/24	中止	2/28	1人																																																
3/16																																																			
4/21	8人	5/19	8人																																																
6/16	9人	7/21	7人																																																
8/18	中止	9/15	9人																																																
10/20	9人	11/17	4人																																																
12/15	6人	1/19	6人																																																
2/16	5人	3/16																																																	

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)	
			4/ 7 8人	4/21 8人
			5/19 8人	
			6/ 2 7人	6/16 9人
			7/ 7 7人	7/21 7人
			8/ 4 7人	8/18 9人
			9/ 1 8人	9/15 9人
			10/6 11人	10/20 8人
			11/17 9人	
			12/ 1 11人	12/15 12人
			1/5 9人	1/19 10人
			2/2 9人	2/16 10人
			3/2	3/16
	【成果と課題】 天候による中止があったものの、おおむね計画通りに教室を実施できた。 会場設営・血圧測定等参加者が行い、参加者同士の交流も生まれている。脳トレを内容としているが、参加者の希望を確認しながらではあるが、転倒予防や腰痛予防などの内容を取り入れることも検討していきたい。			

4. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	国際交流員出前講座	市 CIR（国際交流員）を迎えて、海外文化に関する講話、英語を使った体操等を体験することで異文化に対する理解を深める。	〔時期〕 6/30（木）11 人 3/31（金） 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民
【成果と課題】 ・市 CIR から「海外の文化紹介」として出身地であるアメリカの文化・風習に関する講話を受けた。参加者は普段触れることのない異文化交流に満足感を得ていた。 3月には放課後子供教室の児童に参加してもらい交流する予定。 ・コロナ禍を受けて、平常時と比較しても海外渡航のハードルが高い状況であることから、身近に海外文化に触れられる貴重な機会であり、今後も継続して取り組んでいきたい。			
	かんたん英会話	ラグビーワールドカップ 2019 岩手・釜石開催をきっかけに学んだ	〔時期〕 中止 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		英会話。今後も引き続き国際感覚を養い、外国人へのおもてなしが出来るよう更なる向上を目指す。	
	【成果と課題】 ー昨年度は参加者数が低調であり、昨年度はコロナ禍の関係もあり講師の調整がつかず未開催となった。生涯学習の一環として、望ましい事業と認識しているが、今後、住民から開催を望む声があれば実施について検討することとしたい。		
	あったかサロン	地域住民の交流促進を図り、閉じこもりを予防するためにサロンを開催する。今年度は一部を釜石市体育協会に委託して、事業を行う。	【健康づくり】 軽体操を通じた交流により、健康推進、介護予防を図る。 ①ヨガ教室 〔時期〕 4/6 (水) 5人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ②カーリンコン 〔時期〕 4/12 (火) 9人 5/20 (金) 中止 6/9 (木) 12人 9/16 (金) 5人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ③卓球バレー 〔時期〕 5/18 (水) 9人 6/15 (水) 8人 6/23 (木) 10人 7/28 (木) 9人 8/30 (火) 6人 11/16 (水) 6人 1/10 (火) 6人 〔場所〕 平田集会所等 〔対象〕 地域住民 ④スカットボール 〔時期〕 9/7 (水) 9人 9/21 (水) 7人 11/16 (水) 8人 12/7 (水) 7人 12/21 (水) 5人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			1/25(水) 4人 2/8(水) 10人 2/15(水) 7人 3/15(水) 〔場所〕平田集会所等 〔対象〕地域住民 ⑤スカットボール・輪投げ 〔時期〕5/31(火) 中止 7/27(水) 7人 〔場所〕平田集会所 〔対象〕地域住民 ⑥ボッチャ 〔時期〕5/25(水) 9人 6/8(水) 10人 7/6(水) 8人 8/24(水) 6人 10/5(水) 7人 11/2(水) 9人 1/11(水) 6人 3/1(水) 〔場所〕平田集会所等 〔対象〕地域住民 ⑦軽運動(ストレッチ&バランスボール) 〔時期〕9/20(火) 2人 〔場所〕平田集会所 〔対象〕地域住民 ⑧3B体操 〔時期〕10/4(金) 10人 10/19(水) 7人 〔場所〕平田集会所、尾崎白浜集会所 〔対象〕地域住民 ⑨健康体操楽しい脳トレ交流会 〔時期〕10/21(金) 4人 〔場所〕平田集会所 〔対象〕地域住民 ⑩ニュースポーツ(グラウンドゴルフ、スカットボール、輪投げ) 〔時期〕11/18(金) 13人 〔場所〕釜石市民体育館

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔対象〕 地域住民 ⑪唐丹・平田地区スカットボール大会 〔時期〕 11/19 (土) 58 人 (内、平田地区 14 人) 〔場所〕 唐丹中学校体育館 〔対象〕 唐丹地区・平田地区住民 ※唐丹との合同事業 ⑫公民館対抗ニュースポーツ交流大会 〔時期〕 中止 〔場所〕 釜石市民体育館 〔対象〕 地域住民選抜 15 人 ⑬平田公民館杯スカットボール・輪投げ大会 〔時期〕 1/31 (火) 11 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑭カーリンコン・ボッチャ 〔時期〕 2/9 (木) 9 人 3/17 (金) 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑮ボッチャ・卓球バレー 〔時期〕 2/15 (水) 9 人 3/15 (水) 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 【ふれあいづくり】 地域住民のふれあいの場の創出 ①防災知識講座～防災用品について 〔時期〕 4/19 (火) 11 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ②クリーンアップ in 平田駅 〔時期〕 5/23 (月) 8 人 〔場所〕 三陸鉄道平田駅 〔対象〕 地域住民 ③睡眠と健康の知恵袋講座 〔時期〕 5/30 (月) 10 人 6/23 (木) 13 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ④七夕飾り 〔時期〕 7/4（月）～7/7（木）15 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑤包丁研ぎ直し 〔時期〕 8/4（木）36 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑥リラクゼーション&健康指導 〔時期〕 9/22（木）9 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑦三鉄 見学ツアー 〔時期〕 中止 〔対象〕 地域住民 ⑧雑巾女子会 〔時期〕 中止 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑨平田紅葉めぐり 〔時期〕 中止 〔対象〕 地域住民 ⑩平田クリスマス Party 〔時期〕 12/22（木）23 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑪平田クリーンアップ～年末大掃除～ 〔時期〕 12/23（金）12 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑫交通安全のお話 〔時期〕 1/17（火）13 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑬市バスで行く！鉄の歴史館見学会 〔時期〕 1/20（金）7 人 〔場所〕 鉄の歴史館 〔対象〕 地域住民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			【成果と課題】 ・「健康づくり」は主にニュースポーツに取り組み、健康推進、介護予防に役立った。11月には唐丹地区との合同スカットボール大会を開催し、健康づくりだけでなく隣町の住民と交流を深めることができ、参加者は大変満足していた。 ・「ふれあいづくり」は楽しくふれあい、交流することを趣旨として、多彩な事業に取り組んだ。平田駅や応援センターのクリーンアップでは住民の皆さんにお手伝いいただき、ハロウィンではこども園、平田小学校の園児・児童と交流するなど特色ある活動を行った。 ・今年度、欠員となったコミュニティ支援員の後継として、釜石市体育協会に事業の一部を委託した。主に「健康づくり」事業に取り組み、経験豊富な講師に住民から好評を得た。
	体験学習	地域住民に様々な学習や体験をする機会を提供することで、心豊かで健康な生活を送れるよう支援するとともに、住民同士のコミュニケーションの場を設ける。	①ちりめん手芸講習会 〔時期〕 6/29(水) 10人 7/20(水) 13人 8/24(水) 13人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ②陶芸教室 〔時期〕 9/2(金) 8人 〔場所〕 孤松窯 〔対象〕 地域住民 ③五葉山登山 〔時期〕 7/30(土) 15人 (内、平田地区4人) 〔場所〕 五葉山 〔対象〕 地域住民 (釜石・平田・唐丹の3館合同事業) ④スマホ教室(基本編) 〔時期〕 1/25(水) 4人 (内、平田地区3人) 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 平田・唐丹地区住民 ※唐丹との合同事業 ⑤消防訓練 〔時期〕 10/27(木) 9人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑥Happy ハロウィン 〔時期〕 10/27(木) 63人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑦お正月リース作り 〔時期〕 中止 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民
	【成果と課題】 ・ちりめん手芸教室、スマホ教室、お正月リースづくりなどこれまで継続的に 行い、人気があった事業について、集客が思わしくないものが複数あった。内容に アレンジを加えたり、周知方法を工夫するなど住民の参加意欲を高めるような検 討が必要と思われる。		
	つながるカフ エ	誰もが住み慣れた場所 で安心して生活ができ るまちづくりを目指し て、交流、相談や学び 等により、孤立予防や 心身の健康づくりを図 る。	〔時期〕 4/25 (月) 22 人 7/4 (月) 15 人 8/29 (月) 13 人 10/24 (月) 17 人 12/19 (月) 12 人 2/27 (月) 20 人 〔場所〕 平田集会所、上平田ニュータ ウン集会所 〔対象〕 地域住民と園児・児童・生徒 ※「地域ぐるみの子育ての支援」にも掲 載。【再掲】
	【成果と課題】 ・交流、相談や学び等を通じ、孤立予防や心身の健康づくりを図ることを目的に昨 年度スタートした。行政（応援センター）と社会福祉法人（清風会 あいぜんの 里）が主催。社会福祉協議会、地域住民（サポーター）の協力により、一体とな り行うもの。 ・こども園、小学校、釜石シーウェイブスとの交流、消費者トラブル、薬の知識に 関する出前講座などを行うとともにカフェでのおしゃべりや健康体操を行い好評 だった。参加者アンケートによれば、9 割から満足との回答を得た。 ・より多く参加してもらえるように、来年度は平田公民館だけでなく、ニュータ ウン地区、尾崎白浜地区の集会所につながるの輪を広げていく予定。		
芸術文化活 動の推進	公民館まつり	日頃の活動成果を発表 することにより、一層 の活動意欲の向上を図 るとともに地域・世代 を超えた交流を深め る。	作品展示会 〔時期〕 11/30 (水) ～12/2 (金) 90 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 ・コロナ禍以降、開催していなかったが、作品展示に限って3年ぶりに開催したもの。地域住民の手芸、習字、クラフト作品、また地元の小中学校、支援学校、こども園の作品など多くの作品が出揃った。 ・色々な分野で創作活動を行っている住民は一定数おり、作品作りの刺激となる発表の場を久しぶりに設定できたことはよかった。		
	生涯学習講座	生涯学習の推進による 明るく住み良いまちづくりを図る。	〔時期〕 3/9（木） 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民
	【成果と課題】 文化振興課から「釜石市の歴史」と題して平田地区の歴史を中心に講演してもらう予定。		
	音楽サロン	音楽活動や音楽鑑賞を通じて、心豊かな生活を送れるよう支援するとともに、住民同士のコミュニケーションの場を設ける。	①ピアノ・リサイタル in 平田 〔時期〕 7/19（火）18人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ②すすきだ音楽隊『援奏にここにコンサート』 〔時期〕 7/29（金）17人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ③つながるかなでるコンサート in 平田 〔時期〕 9/6（火）12人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ④釜石の昔話～語り部のお話 漁火の会 〔時期〕 10/13（木）23人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑤TETTO お出かけコンサート・バイオリンミニコンサート 〔時期〕 10/24（月）18人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民 ⑥つながるかなでるコンサート in 平田〈早春編〉 〔時期〕 2/17（金）14人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 ・音楽サロンの事業は一線級の演者による本格的な歌唱、演奏を鑑賞できるため、参加者の満足度が高く、人気の事業である。 ・出演者、関係者が市外、県外から訪れることも多いため、演者の前に透明のビニールシートを設置するなどコロナ対策に万全を尽くした上で実施した。		
	芸術鑑賞	芸術を鑑賞する場を提供し、芸術への関心を高めるとともに、豊かな心や感性、創造性を育むことを目的とする。	HE I T Aシアター 〔時期〕 5/12(木) 14 人 8/25 (木) 4 人 2/16 (木) 7 人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民
	【成果と課題】 今年度は参加者の意見も取り入れ、釜石市の昔の映像や漫談など参加者が親しみやすいテーマの映像を取り入れるなどして実施した。		
社会参加の促進	人生 100 歳時代の知って得る講座	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、支え合い・助け合いのある地域をつくる一助とするための学習機会を提供する。地域包括支援センターと連携しながら開催する。	①認知症サポーター養成講座 〔時期〕 3/7 (火) 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 地域住民
	【成果と課題】 地域包括支援センターから講演してもらう予定。		
	自主活動グループの支援	自主活動グループの活動の場を提供し、要請に応じて運営の支援を行う。	※回数は 1 月末時点現在 ①グッドモーニングの会（ラジオ体操） 〔時期〕 月～金曜日 228 回 746 人 〔場所〕 平田集会所 ②元気クラブ（卓球） 〔時期〕 毎週月曜日 36 回 212 人 〔場所〕 平田集会所 ③G o G o スマイル（体操教室） 〔時期〕 第 2・4 金曜日 20 回 195 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔場所〕 平田集会所 ④和みの書（書道） 〔時期〕 第 3 月曜日 11 回 127 人 〔場所〕 平田集会所 ⑤平田はまなす支え合いサロン （地域交流） 〔時期〕 第 3 木曜日 23 回 234 人 〔場所〕 平田集会所 ⑥チーム A（卓球） 〔時期〕 毎週水曜日 33 回 170 人 〔場所〕 平田集会所 ⑦社交ダンスの会（社交ダンス） 〔時期〕 第 2・4 火曜日 24 回 173 人 〔場所〕 平田集会所 ⑧平田なかよしクラブ（100 歳体操） 〔時期〕 毎週木曜日 28 回 177 人 〔場所〕 平田集会所 ⑨平田どうもの会（健康マージャン） 〔時期〕 毎週火・木曜日、第 3 日曜日 78 回 429 人 〔場所〕 平田球場クラブハウス 平田集会所 ⑩和っかの会（体操、茶話会） 〔時期〕 第 1・3 水曜日 18 回 214 人 〔場所〕 県営 AP 集会所 ⑪四季の会（100 歳体操） 〔時期〕 毎週木曜日 26 回 69 人 〔場所〕 県営 AP 集会所 ⑫すみれ会（卓球） 〔時期〕 毎週水曜日 34 回 216 人 〔場所〕 上平田集会所 ⑬青空クラブ（100 歳体操）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔時期〕 毎週火曜日 44 回 340 人 〔場所〕 上平田集会所 ⑭平田いきいきサークル（100 歳体操等） 〔時期〕 毎週金曜日 41 回 901 人 〔場所〕 上平田ニュータウン集会所 ⑮かもめの会（100 歳体操） 〔時期〕 毎週水曜日 35 回 218 人 〔場所〕 尾崎白浜集会所 ⑯ニュー悠遊会（見守り活動・グラウンドゴルフ） 〔時期〕 見守り活動：毎週月曜日 グラウンドゴルフ：毎週月・金曜日 68 回 369 人 〔場所〕 見守り：平田ニュータウン地区 グラウンドゴルフ：平田球場クラブハウス ⑰釜石ヨガサークル結（ヨガ） 〔時期〕 毎月第3金曜日 1 回 5 人 〔場所〕 平田集会所 ⑱チーム大平（バレーボール） 〔時期〕 毎週木・土曜日 392 人 〔場所〕 平田小学校等
	【成果と課題】 ・昨年度に引き続き、各団体とも新型コロナウイルス感染症対策に気を使いながらの活動となったが、昨年度の夏のように活動自粛することなく、通年で活動できた。どのグループもリーダーを中心にまとまって活動を続けている。 ・「平田だより」では6月号から自主活動グループの紹介コーナーを設けるなどして、グループ活動の活性化を図った。		

5. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の維持管理	地域の生涯学習の拠点を大切に管理し、快適な	清掃業務、消防機器点検等の各種委託事務を実施する。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		利用環境を整える。	職員、利用者による清掃を行う。
	【成果と課題】 ・各種業務委託は適正に実施されており、職員による毎朝の消毒作業も定着している。また利用者による使用後の清掃、消毒及び換気等も定着している。 ・昨年に引き続き、年末に地域住民有志による大掃除を実施した。		
	施設の貸館	地域の生涯学習の拠点として、集会所を有効に活用する。	自主活動グループや地域住民に対して、活動の場として施設の貸出事務を行う。
	【成果と課題】 貸館の基準に従って、適正に管理するとともに利用者が快適に安心して利用できるように心がけた。		

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	委員による公民館運営等の審議 〔時期〕 5/19（水）7人 2/24（金）7人 〔場所〕 平田集会所 〔対象〕 審議会委員
	【成果と課題】 よりよい公民館事業の実施に向けて真摯な審議を行った。		
生涯学習ネットワークの形成	平田だよりの発行	公民館事業や地域の活動などを周知するため平田だよりを発行する。	平田だより 〔時期〕 月 1 回 1 日発行 〔対象〕 地域住民
	【成果と課題】 地域住民を対象に各町内会、行政連絡員等の協力を得て全戸配布している。公民館、自主活動グループ及び行政の様々な事業の周知を行うために最も身近な広報媒体であり、わかりやすく楽しい紙面づくりを心掛けている。 今年度は6月から毎月自主活動グループの紹介コーナーを設けるなどして、グループ活動の活発化を図った。		

7. 公民館利用状況

R4.4.1～R5.1.31

公民館主催（共催）事業					
公民館施設で実施したもの		館外（他施設）で実施したもの		計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
62	740	66	567	128	1,307

団体利用			個人利用	
団体数（実数）	回数	人数	回数	人数
22	165	1,636	0	0

釜石市立中妻公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

釜石市生涯学習行政方針等を踏まえ、地域住民や関係諸団体と連携して地域の主体的な生涯学習を推進するため、自主活動グループ活動の育成支援を積極的に行うほか、復興公営住宅入居者等の被災者と地域のコミュニティ形成の拠点として、各種交流の場の提供と促進を図るよう努めてまいります。

2. 重点目標

- (1) 地域住民のニーズに応え、地域住民に親しまれる公民館運営に努めます。
- (2) 公民館の利用促進を図るため、各種事業の企画立案並びに周知に努めます。
- (3) 住民の自発的な学習を支援するため、自主サークル活動の育成や奨励援助に努めるとともに、復興公営住宅入居者や地域住民のコミュニティ形成の拠点となるよう努めます。
- (4) 地域などで孤立することのないよう見守りを行うとともに、閉じこもり予防等のための各種行事の展開並びに開催への支援に努めます。
- (5) 地域の保健活動の拠点として、各種健康講座や健康相談を実施し、住民の健康増進に努めます。

II 事業報告

1. 乳幼児期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	ハロウィン交流事業	園児と高齢者達のふれあう機会を提供、いきいきする瞬間を創出するとともに、地域全体での子育てへの関心を高めていこうとするもの	【時期】 令和4年 10月28日(金) 【場所】 中妻公民館 【対象】 地区内の保育園、こども園などの子ども達と地域住民 【内容】 地区内の保育園、こども園などの園児達と復興公営住宅、地域住民によるハロウィン交流会を開催するもの 【参加】 約40人
	【成果と課題】 中妻子供の家保育園とのハロウィン交流は、日程の調整がつかず実施することができなかったが、上中島こども園の園児たちが仮装して公民館を訪れ、地域住民との交流を行った。地域住民にとっても園児たちとふれあう貴重な機会となった。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	上中島こども園ふれあいイベント	園児と高齢者達の定期的なふれあう機会を提供するもの	【時期】 通年 【場所】 上中島こども園、中妻公民館 【対象】 園児と地域住民 【内容】 ラジオ体操、こども園行事への参加、交流会の開催 (1) ラジオ体操交流 参加者：約 40 人／回 (2) 音楽劇発表会 実施日：令和 4 年 12 月 19 (金) 参加者：約 30 人
	【成果と課題】 当日の天候や上中島こども園のスケジュールを考慮しながら、5 月から 9 月の間で屋外でのラジオ体操交流を行ったほか、中妻公民館において、音楽劇発表会を行った。 音楽劇発表会は、4 歳児と 3 歳児の 2 回実施することとし、4 歳児の発表会では、園児が歌やダンスを披露し住民を大いに楽しませた。3 歳児の発表会も、別日程で同様に実施する予定であったが、コロナの影響により残念ながら実施することができなかった。		

2. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	中妻地区見守り隊交流事業	登下校の見守りや挨拶活動を通じて、子ども達や地域住民の安心・安全の確保と子育て支援を行うもの	【時期】 通年 【場所】 中妻地区 【対象】 双葉小学校児童並びに地域住民 【内容】 登下校時の見守りや挨拶運動 児童と見守り隊との交流事業 【参加】 中妻地区見守り隊登録者 40 人
	【成果と課題】 見守り隊の皆さんによる、通学路や交差点での見守りが年間を通して行われ、児童生徒の安全安心な登下校を支援した。 コロナの影響もあり、見守り隊と子ども達との交流の機会を設けることができていないため、実施できるよう調整したい。		
	児童館の子ども達との交流事業	軽スポーツや昔遊びを通じて児童館の子ども達との交流を図ること	【時期】 夏季休暇及び冬季休暇期間 【場所】 中妻公民館 【対象】 上中島児童館児童並びに地域住

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		により、遊びの伝承や思いやりの心を養う機会とするもの	民 【内容】 軽スポーツや昔遊びを通じた世代間交流事業
	【成果と課題】 冬期休暇期間に軽スポーツによる交流事業を予定していたものの、コロナの影響により実施できなかった。(春休み期間に代替事業を実施予定) 今後も児童館との連携を図り、継続して交流事業を企画・実施していく。		
	【新規】移動水族館事業	釜石に棲む魚を見て、触って、学ぶ体験の場を提供することで、釜石の海や魚についての関心を深める機会とするもの	【時期】 12/6(火)～12/11(日) 【場所】 中妻公民館 【対象】 市内小学生以下の児童・園児等 【内容】 ①水槽展示 ②おさかな学習会・タッチプールイベント 【参加】 ①100人以上(見学者) ②23人
	【成果と課題】 岩手大学水産システム学コース(釜石キャンパス)の協力をいただき、初めて実施した。12/6～12/9の4日間で水槽展示を行い、地区内の保育園、こども園などの園児達や地域住民等100人を超える見学者があった。12/11にはおさかな学習会とタッチプールイベントを行い、参加した子ども達は魚の生態や海の環境のことを学んだほか、実際に魚に触れることができ、釜石の海や魚に興味をもつ大変良い機会となった。 開催時期の見直しや、触れられる魚種を増やすなどの工夫で、さらなる参加者の拡大を図りたい。		

3. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
成人の健康づくり	健診・各種検診等の推進	健診・各種検診等の会場に、普段から利用している公民館施設を活用することで、受診者の利便性を高め、受診率の向上を図ろうとするもの	【時期】 7月～11月 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 釜石市特定健康診査、各種検診

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)				
	【成果と課題】 検診車を公民館前の駐車場に配置したほか、駐車場案内看板を見やすいように工夫して設置するなどして、受検者が利用しやすくなるよう考慮した。 健診（検診）担当部署においても、肺がん検診と特定健診を一緒に受けられるようにするなどし、受診者の増加につなげた。						
	中妻センターの受診者	令和3年度		令和4年度		対前年度	
		日数	受診者	日数	受診者	日数	受診者
	肺がん	1	197	6	908	1	310
	特定健診	4	401				
	胃がん	1	67	3	150	2	83
	大腸がん	2	247	2	413		166
	乳がん	3	296	2	251	△1	△45
	子宮頸がん	3	346	3	421		75
	計	14	1, 554	16	2, 143	2	589
健康相談	保健師が生活習慣病予防や介護予防など健康全般に関する相談に応じ、住民の健康づくりを支援するもの		【時期】 毎月 1 回 13：30～15：00 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 スマイル健康サロンの実施（健康相談、脳トレ等） 平均参加者数：8 人				
【成果と課題】 参加者は、復興住宅の高齢者が主であるが、血圧・体重などを定期的に測定する機会となっており、外出機会の創出にもつながっている。血圧測定などの健康チェックのほかに、脳トレ、保健師の講話を行ったほか、個別の健康相談にも応じている。また、窓口での健康相談は随時受けており、地域住民の健康増進に貢献している。							
中妻スクラムメイト事業	健康づくりについて学び地域へ広める活動を行う「スクラムメイト」に対し、運営の支援を行うもの		【時期】 通年 【場所】 中妻北地区コミュニティ消防センター 【対象】 地域住民 【内容】 調理実習、運動、勉強会他 平均参加者数：10 人				
【成果と課題】 食生活改善委員を務める会員が中心となって行う調理実習や、講師を招いての軽							

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	運動、レクリエーションを行った。今年度から、運営の一部は職員から会員へ移行し自主性が高まっている。□コミで新たな会員の入会もあるが、高齢化が進んでおり、広く会員募集し地域へ広めていく必要がある。		

4. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	関係団体との共催による交流事業	ボランティア団体等の支援を受けながら各種事業を共同で実施し、地域住民相互の交流促進、コミュニティ形成、健康増進を図ることを目的に実施するもの	
	① 体操教室	体力強化と健康増進、仲間づくりのために行う体操教室の定期開催を支援するもの	【時期】毎月2回（主に第1・3月曜日） ①13:00～14:30 ②15:00～16:00 【場所】中妻公民館 【内容】支援センター望が主催し、軽運動やストレッチ体操を行う。参加者の体力に合わせ、強度が違う2部制で実施する。
	【成果と課題】 コロナ禍のため中止		
	② 上中島Ⅰ期復興公営住宅サロン	入居者同志や地域住民との交流促進、コミュニティ形成を目的に実施する各種活動を支援するもの	【時期】毎月1回程度（水曜日） 10:00～12:00 【場所】中妻公民館 復興公営住宅中庭 【対象】上中島Ⅰ期復興公営住宅住民他 【内容】軽運動、お茶飲み会等 平均参加者数：7人
	【成果と課題】 上中島Ⅰ期復興公営住宅自治会を中心に、輪投げ、スカットボールなどの軽運動と、会話を主とした交流活動を行った。交流の場として定着しているものの、参加者が固定化しており、参加住民の広がりが必要な状況である。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	③ 上中島はま ゆり会	交流促進や食生活の改善を目的に実施する活動と昼食会の開催を支援するもの	【時期】 毎月第 2・4 金曜日 10:00~12:00 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 レクリエーション、食事会等 平均参加者数：15 人
	【成果と課題】 独居高齢者の増加により個食で過ごす高齢者が増加している中で、食生活の改善や会話を楽しむ交流機会として、月 2 回の食事提供（テイクアウト）を実施した。食事提供のメニュー決定や調理、役割分担は地域住民が担っており、公民館では参加者の意欲向上のため、食事提供に合わせて健康講座やレクリエーション等の企画を盛り込み、住民相互の交流を促進している。		
	④ 地域サロン 「よったん せ」	健康維持と閉じこもり防止を目的に青い空の会が行う交流イベントを支援するもの	【時期】 毎月第 1 火曜日 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 趣向を凝らした交流事業 平均参加者数：19 人
	【成果と課題】 主催団体（青い空の会）が運営する、月一回の定着した事業となっている。保健師による健康講座、軽スポーツ、歌など趣向を凝らした様々な交流イベントが開催され、地域住民の健康維持と閉じこもり防止につながったほか、参加者同士の交流が図られる機会となった。		
	⑤ かるっと○ ○楽しも会	住民の健康維持、交流促進とリフレッシュを目的に実施するもの	【時期】 毎月 2~3 回 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 ○かるっと運動（月 2~3 回） ボッチャを中心とした軽運動等 平均参加者数：15 人 ○かるっと音楽（年 2 回程度） コーラスグループや演奏家による合唱や音楽の鑑賞 ・9/4（日）、2/17（金） 声楽家とピアニストによるコンサート：57 人参加

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 かるっと運動楽しも会は、計画的に定例行事として実施することで定着した事業とすることができた。 かるっと音楽楽しも会では、プロの演奏家、声楽家の演奏と歌声を鑑賞することで、地域住民の心身の健康維持とリフレッシュを図ることができた。かるっと音楽については、主催団体からの声掛けにより実施しており、今後も継続して開催できるかが課題である。		
	⑥ いきいき生活応援事業	住民がいきいきした生活を送れるよう、住民のニーズに応じた健康、安心・安全に関する情報、体を動かす機会を提供するもの	【時期】 通年 【場所】 中妻公民館ほか 【対象】 地域住民 【内容】 健康に関する講座や軽運動、栄養講座他 4 月：大正琴演奏会（20 人） 4 月：日本舞踊の鑑賞会（29 人） 5 月：口から始まる健康長寿（15 人） 6 月：海外の文化・ライフスタイル等の紹介（14 人） 7 月：釜石・遠野近隣地方の昔話（16 人） 7 月：パノス・カランピアノソロリサイタル（29 人） 7 月：フレイル講座(予防編)（16 人） 9 月：尚玉泉 舞踊を楽しむ会（26 人） 11 月：お茶っこサロン ～地球のうらがわ～（12 人） 11 月：フレイル講座(実践編)（10 人） 12 月：大正琴演奏会（16 人） 2 月：尚玉泉 舞踊を楽しむ会（26 人）
	【成果と課題】 地域住民を対象に、健康講座、娯楽、レクリエーションなどにより、いきいきした生活を送れるよう、様々な事業を企画・実施した。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	パノス・カラン氏によるピアノソロリサイタルは、釜石市社会福祉協議会から打診があり実現したもの。パノス・カラン氏は、各国のコンサートホールのみならず、各地の紛争地域や被災地を周り、人々に癒しと元気を届けているギリシャ出身の世界的なピアニストで、参加者の多くから感動したとの感想が聞かれ、皆満足している様子が見えた。 実施事業の全般を見ると、参加者の大半が高齢者であるため、今後は若年層の参加を促す方策も検討したい。		
	他公民館との連携事業	他公民館との連携により、交流促進に資する事業を企画・実施しようとするもの	【時期】 通年 【場所】 中妻地区ほか 【対象】 地域住民 【内容】 ウォーキング、日向ダム見学、ニュースポーツ大会他 5月：釜石横断駅伝ウォーキング交流会（8人） 8月：日向ダム見学交流会（12人） 9月：ソフトボール交流会（11人） 10月：スポーツ交流大会（15人） 10月：干し柿づくり体験交流会（9人） ※参加者数は、すべて中妻地区のみの人数
	【成果と課題】 他公民館との連携事業として、甲子公民館、小佐野公民館及び中妻公民館の西地区の三つの公民館合同で、各種事業を実施した。 すべての事業において、参加者からは、健康増進はもちろんのこと、他の地域の方々との交流を深める大変良い機会となったとの声があり、西地区の地域住民の健康増進、交流促進に資することができた。 天候に左右される事業が多いため、計画通りに安定して実施することが困難な面もあるが、予備日を設けるなど、確実に実施できるよう工夫しながら、次年度以降も継続実施を検討したい。		
社会参加の促進	小佐野公民館まつり	活動成果を発表することで、活動意欲の向上と生涯学習の推進を図るもの	【時期】 令和4年11月頃 【場所】 小佐野コミュニティ会館 【対象】 地域住民 【内容】 中妻並びに小佐野公民館で活動

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			している団体が、小佐野公民館まつりに参加し活動の成果を発表する。
	【成果と課題】 コロナ禍により中止		
	自主活動グループ等への支援	自主活動グループの活動支援を行うとともに、新たに活動を始めようとするグループ等の育成を行おうとするもの	【時期】 通年 【場所】 中妻公民館ほか 【対象】 地域住民 【内容】 自主活動グループへの定期的な活動場所の提供、活動場所を探している各種団体への貸館 令和4年度の自主活動グループ数：23 団体
	【成果と課題】 自主活動グループへ学ぶ機会と空間を提供し、活動を継続的に支援することで、生涯学習の喜びを実感していただいた。 活動時間の短縮や手指消毒の実施等、一定の制約はあるものの、心身の健康維持や外出機会の創出にもつながっている。 男性グループの活動が少なく、男性主体団体の掘り起こしが課題となっている。		
	中妻地区センター会議	地域課題について情報を共有し、解決策の検討を行うもの	【時期】 毎月第4 金曜日 【場所】 中妻公民館 【関係団体】 9 団体 【内容】 地域課題について情報を共有し、解決のための方法や役割分担について話し合う。
	【成果と課題】 中妻地区は見守りネットワーク会議と兼ねる形で中妻地区センター会議を開催している。 見守りネットワーク会議では、支援や見守りが必要な住民への対応策につなげるため、情報交換を行っている。また、中妻地区の一部が津波による浸水想定区域に入ったことに伴い、中妻地区独自の津波避難訓練を昨年度から実施しており、会議の中で訓練に関する事項についても情報共有しながら、次年度以降の訓練に向けた検討を行っている。 センター会議では、地域課題の解決に向けて、次年度以降の新たな取組みテーマについて意見交換を行った。テーマの絞り込みについては、引き続き検討していく。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	作品展の開催	自主活動や公民館活動で作成した作品を展示・発表する場を設け、芸術文化分野の活動を支援するもの	【時期】 令和4年 11 月 1 日～10 日 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 絵画、編み物、手芸作品他を展示 出展者 20 人、約 60 作品展示
	【成果と課題】 自主活動や手芸教室で作成した作品を中妻公民館において展示し、地域住民への発表の場を設けることにより、製作者の創作意欲の向上を図り、芸術文化活動を促進した。 展示作品を見に来る方も多数おり、芸術・文化に触れる機会、外出する機会にもなっている。		
	手芸教室の開催	芸術文化分野においてニーズがある手芸教室を開催、創作活動の機会を創出することにより、自発的活動の支援、交流促進を図ろうとするもの	【時期】 通年 【場所】 中妻公民館 【対象】 地域住民 【内容】 講師を依頼し、ちりめんの飾りづくりを行う
	【成果と課題】 手芸教室では、講師の指導を受けながら、ちりめん吊るし飾りの創作活動を行った。講師から指導を受けることで創作の視野が広がり、充実した活動となった。作品は中妻公民館作品展でも展示し、多くの住民に見ていただいた。 手芸に興味を持つ方々により多く参加いただくため、公民館だよりで周知するなどし、参加者の拡大を図りたい。		

5. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習機会の充実を図るため、自主活動グループ、各種団体へ活動の場を提供するもの	【時期】 通年 【場所】 中妻公民館 【対象】 一般市民等 【内容】 各団体の活動支援 ○定期使用団体：23 団体 ○不定期使用：約 100 件 復興支援イベント、学校 P T A 行事、自治会活動他

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 公民館施設は、年間を通じて多様な活動に多くの住民が利用している。定期利用団体は年間計画を立てて定期的に活動している。誰もが学びの場として気持ちよく利用できるよう努め、生涯学習の推進に寄与した。 利用希望が重複し利用できない団体が発生するケースもあるが、極力そういったケースを減らすため、各団体との協議や調整については、今後もしっかりと対応していく。		

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施について調査審査を行うもの	【時期】 年間 2 回 【場所】 中妻公民館 【対象】 運営審議会委員 【内容】 第 1 回 令和 4 年度運営方針及び事業計画 第 2 回 令和 4 年度事業報告
	【成果と課題】 公民館運営審議会を年 2 回開催し、運営方針及び事業計画並びに事業実績について各委員に説明を行い、意見をいただきながら適正な公民館運営に努めた。 運営審議会での意見、地域の方々のニーズ等を反映できるよう留意し、新たな視点を持ちながら事業の改善に取り組みたい。		
生涯学習ネットワークの形成	「応援センター（公民館）だより」の発行	公民館事業の紹介、地域の話題や保健福祉事業に関する情報を提供するもの	【時期】 毎月 1 回 1 日発行 【対象】 中妻管内の全世帯 【内容】 公民館事業の紹介、地域の話題や保健福祉事業に関する情報を提供 2,400 部
	【成果と課題】 応援センター（公民館）だよりは、公民館事業の周知や身近な話題、健康に関する情報等を発信できる重要な役割を担っている。毎月 1 回発行し、定期的な情報提供により、多くの住民が公民館活動に参加いただけるよう努めた。 読みやすい誌面づくりに向け、文字の大きさや、写真・イラストの活用等にさらなる工夫が必要である。		

釜石市立小佐野公民館 事業実施報告

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点であり、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献する施設です。

生涯を通じて学ぶことで、充実した生きがいのある人生を送ることができ、人間性ゆたかな地域社会の構築につながることから、地域住民の主体的な生涯学習活動を推進するために「いつでも、誰でも、どこでも」自由に学習機会を選択でき学ぶことができる学びを推進します。

小佐野公民館は、地域コミュニケーションの核として、また情報発信基地として、各種団体等との連携を図りながら、生涯学習の推進と地域課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

また、誰もが生きがいを持って安心して暮らせる地域包括ケアのまちづくりを進めるため、被災者や子ども、高齢者など様々な立場にある人同士の地域交流を大切に、地域住民が主体的に取り組む活動を支援してまいります。

新型コロナウイルス感染症予防に配慮した事業運営に努め、利用者の安心・安全に繋がります。

2. 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、気軽に立ち寄ることができ、地域住民に役立つ公民館の運営に努めます。
- (2) 一生涯の学びを提供するため、各年代の学習ニーズの把握に努め、学習の機会と場の提供に努めます。
- (3) 土曜日や長期休暇を利用し、子ども達が公民館活動に積極的に参加できる事業を実施するとともに、小・中学校、学童育成クラブやPTA等と連携協力してまいります。
- (4) 地域の自主活動グループ等に活動の場を提供するなど、主体的な学びに対して支援を行います。
- (5) 諸事業を推進するに当たり、関係機関・団体等との相互連携・協力関係を密にし、効果的な運営を心がけます。
- (6) 高齢者が学びを通じ、生きがいを持って地域とのつながりを持ち続けていくことができるよう支援します。
- (7) 利用者の協力を得ながら、新しい生活様式を取り入れ、安心して活動できるよう感染症予防に努めます。

Ⅱ 事業報告

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみ の子育てへ の支援	小佐野寺子屋 事業	長期休暇中の子どもの 居場所の提供、体験・ 学習活動を行い子育て 支援を図る。	① 子ども将棋教室[めざせ！竜王] 〔時期〕長期休暇（冬・春休み） 各3～4日間（午前のみ） ※冬休み分は1/6、10、13に実施済 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕管内小・中学生 ※冬休み10人（延べ28人） ※8人の定員に対し、10人の申込有 〔内容〕小佐野公民館自主活動グループ 「正棋会」の協力を得て、将棋教室を開催 〔実施状況〕 ※春休みは3/24、28で予定 ※周知は公民館日より、小学校へのチラシ配布
	【成果と課題】 ・新型コロナに配慮しながらの開催となった。春休み期間中も開催予定。 ・参加した児童は、昨年度に引き続きの申込者が多く見受けられ、将棋はもちろんのこと、所作、礼儀についても真剣に指導を受けていた。 ・長期休暇中の子どもの居場所の提供等、子育て支援を図るとともに、高齢者との世代間交流の場、高齢者の生きがいつくりにつながる事業である。 ・小山怜央くんの偉業も今後、事業を行う中で話題になると思う。		
	小佐野キッズ クラブ	さまざまなことを体験 し、考え学ぶ機会を創 出することにより、子 どもの好奇心を高め、 思考力、創造力、行動 力を伸ばす。	〔時期〕7月～1月 2回 土曜日、長期休暇期間中 ※10月1日（土）に実施済み ※今年度は1回で終了 〔場所〕小佐野公民館など ※参加者 6人 〔対象〕市内小学生 〔内容・実施状況〕 ※「楽しく学ぶサバイバル」 ※小学校へのチラシ配布
【成果と課題】 ・ボーイスカウト釜石第2団の指導のもと、災害時における知識・技術・心構えや、ゲーム等を通して気持ちをあわせて協力し合うことの大切さも学んでいた。 ・コロナ禍、他の行事等と日程が重なったこともあり、参加した児童は少なかったことから、実施日程など考慮して実施することが必要である。 ・講座内容、地域資源の活用や世代間交流の場を創出するような事業を検討していく			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	こととしたい。		
	釜石中学校総合文化部コラボ事業	学業やクラブ活動などで他事業に参加できない生徒に対し、さまざまなことを体験し考え、学ぶ機会を創出することにより、生徒の思考力、創造力、行動力を伸ばす。	〔時期〕 10月～12月 木曜日（基本）、長期休暇期間中 〔場所〕 釜石中学校 など 〔対象〕 釜石中学校総合文化部部員 〔内容・実施状況〕 ・新型コロナ感染防止のため中止とした。
	【成果と課題】 ・例年、各種講座の開催やボランティア活動を行っているが、新型コロナ感染防止のため中止とした。 ・来年度は釜石中学校と協議し、様々なことを体験し、考え、学ぶ機会の創出を図りたい。		

2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
健康づくり	スポーツ交流会	スポーツを通じて小佐野管内住民が交流しながら、自らの健康意識の向上やリフレッシュを図る。	① 西地区合同ウォーキング交流会 〔時期〕 5/12、17、24、6/14に実施済 〔場所〕 大橋駅前から釜石駅前まで 〔対象〕 地域住民（西地区） ※小佐野地区参加者7人（延べ25人） 〔内容〕 <u>大橋駅前から釜石駅前までを4区間に分けて4日間で完歩した。</u> ② 西地区合同日向ダム見学交流会 〔時期〕 8月26日実施済 〔場所〕 日向ダム 〔対象〕 地域住民（西地区） ※小佐野地区参加者 6人 ※天候により夏休中の実施予定が変更となったため、小学生が参加出来なかった。 〔内容〕 日向ダムは、一部の方には知られているものの、まだまだ知られていないことから普段見ることのないダムの管理棟内やダム堤体内部見ることが出来た。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			③ 西地区合同ソフトボール交流会 〔時期〕 9 月 15 日に実施済み 〔場所〕 大天場運動広場 〔対象〕 地域住民（西地区） ※小佐野地区参加者 17 人 〔内容〕 甲子・小佐野・中妻で活発に活動しているソフトボールで交流会を開催した。 ④ 西地区合同スポーツ交流会 〔時期〕 10 月 14 日実施済 〔場所〕 釜石市球技場 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 17 人 〔内容・実施状況〕 ※グランドゴルフ・スカットボール・ボッチャ 3 種目実施 ※スポーツ推進課（スポーツ推進員）、まちづくり課の協力を得て実施できた。 ⑤ 西地区合同干し柿づくり体験交流会 〔時期〕 10 月 26 日に実施済 〔場所〕 甲子林業センター 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 14 人 〔内容・実施状況〕 ※季節の風物詩である干し柿作りの体験会を実施した。 ※吊るしきれなかった柿を含め持ち帰り分はあっという間になくなる盛況ぶりであった。
	【成果と課題】 ・ 3 地区公民館（甲子・小佐野・中妻）合同で開催。 ・ ニュースポーツ等を通じて地域住民の良好な関係づくり、交流の場となった。 ・ 来年度以降も開催し区域を越えた交流の場、健康づくりの場の創出を図りたい。 ・ 参加者が偏ってしまう傾向がり、幅広い参加者の掘り起こしが必要である。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	健康教室	地域や世代を超えた交流の場を創出し、住民主体の活動へつなげると共に健康意識の向上、増進を図る	はまゆり健康づくり教室 〔時期〕 4 月から毎月 1 ～ 2 回 〔場所〕 小佐野公民館 3 階大ホール 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 ストレッチ体操、ニュースポーツ等 講師/スポーツ推進員 佐藤千依 4/25・22 人、5/23・25 人、 6/13・19 人、6/27・17 人、 7/11・17 人、8/22・13 人、 9/26・17 人、10/24・18 人、 11/14・12 人、11/28・12 人、 12/12・12 人、12/26・13 人、 1/23・14 人、2/13・15 人、 2/27、3/13、3/27
	【成果と課題】 ・新型コロナの影響もあり、参加者は例年より少ないが、検温、換気、マスク着用、消毒、三密回避等、感染予防対策のうえ実施している。 ・5/9、9/12 は、感染状況を鑑み、中止した。 ・地域や世代を超えた交流機会を創出し、健康づくりの継続と主体的活動へのきっかけとすることを目指して取り組んでいるものである。 ・今後、参加者同士が交流を深め自主的に活動するグループへと発展させることが課題。		
	健康講座	健康や疾患等正しい知識を得るとともに行動変容への意識向上を図る。	〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 自主活動グループ等の支援 参照
	【成果と課題】 既存の自主活動グループを対象に各集会所で健康講座(脳卒中対策、糖尿病対策、熱中症対策、心のセミナー等)を実施した。次年度は、対象者・団体を限定せず広く募った教室も開催したい。また、働き世代へアプローチする機会がなかったが、健康推進課として企業訪問する際に、公民館たよりに健康アドバイスを掲載していることも周知したい。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	健康相談事業	心身の状態を知る機会とし、健康意識の向上、増進を図る。	個別健康相談会 〔時期〕 随時（予約制） 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 健康についての相談、生活習慣指導等
	【成果と課題】 子育て世代については乳幼児健診や子育て支援センターを通じて相談先として周知されたり、高齢者は相談先として浸透しているが、成人期には相談先として認知されているかは不明。こころの相談会(健康推進課主催)を公民館たよりで周知したところ、小佐野地区から数件申し込みがあったことから、公民館たよりで健康相談先であることを継続して発信していきたい。		
男女共同参画の推進	男の料理教室	男性も調理実習に参加することで、参加者同士で交流を図り、閉じこもり予防と自らの健康保持・心身のリフレッシュを図る。	小川メンズグルメ会 〔時期〕 年5回活動支援 〔場所〕 小川集会所 〔対象〕 住民 会員8人（2月現在） 〔内容・実施状況〕 調理実習、栄養・健康講話(血圧、減塩) 7/26、9/13、11/15、1/17、3/7
	【成果と課題】 コロナ流行後、活動を一時休止し解散も検討していた。今年度、会員を継続を決めた3人と新規会員5人を迎え、再始動した。既存会員が中心となり、実施している。小川地区に限らず、参加者を募集していくこととする。		
芸術文化活動の推進	教養講座	音楽の世界に触れることにより、生きがいや教養を身につける。	音楽の力による復興コンサート 〔時期〕 9月・2月 各1回 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 地域住民 〔内容〕 (公財)「音楽の力による復興センター・東北」による、ピアノとうたのコンサート ※1回目9/7に実施 21人鑑賞 ※2回目2/16に実施 22人鑑賞
	【成果と課題】 ・新型コロナの影響が心配されたが、予定どおり2回月開催出来た。 ・コロナ感染予防対策の観点から、参加（観覧）者を制限して開催した。 ・参加者からは大変好評で、継続開催を望む声が多い。 ・(公財)「音楽の力による復興センター・東北」が「令和4年度岩手県被災者の参		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	画による心の復興事業」による補助を受けて市内各所で開催しており、来年度以降の開催可否については未定。		
	市民講座	学び、体験、交流の場をつくり、学び得た知識や体験を日々の生活や地域活動に活かす。	童謡・唱歌を楽しむ会 〔時期〕 11月～3月 2回 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 四季のうたを歌う ・新型コロナ感染防止のため中止とした。
	【成果と課題】 ・熱心な参加者が多く、参加者同士の交流の場になっていて、交流を深めながら楽しく歌って有意義な時間を過ごす場となっているが、新型コロナ感染防止のため中止とした。		

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	小佐野ふれあいデー (小佐野小学校PTAとの共催事業)	子ども・親・学校・地域・公民館の連携により、地域の教育力向上に向けた取り組みを行う。	新型コロナウイルスの影響もあるが、今後は中止の予定でいる。
	【成果と課題】 ・昨年度に引き続き中止。 ・開催時には、毎回、公民館の自主活動グループである「正棋会」に参加いただき「将棋体験コーナー」を開設し、好評をいただいている。今後は他の活動団体の協力も含め内容の検討を行ないつつ、引き続き子供達と地域の交流機会の創出に努めたい。		
	小佐野公民館まつり	活動成果の発表により交流を深め、今後一層の活動意欲の向上を図るとともに生涯学習の振興に資する。	新型コロナウイルスの影響により中止
	【成果と課題】 ・昨年度に引き続き中止。 ・開催にあたり新型コロナウイルスの感染拡大防止策として飛沫感染や接触感染のリスクを伴う活動を制限することで参加団体が限定され、公正な開催が困難となる。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			・ 県内感染者が確認されており収束が見通せない状況の中、不特定多数の方が参加（一昨年度参加者約350人）する公民館まつりを開催することで、参加者の感染リスクが高まる。 ・ 来年度については、参加団体の意向も踏まえ安心して多くの方に参加していただけるよう状況に応じた内容での開催を検討したい。
社会参加の促進	自主活動グループ等の支援	地区住民・自主活動グループなどの要請に応じ、センター職員を健康教育等の目的で派遣し運営の支援を行なう。	① ひまわり会 〔時期〕 年 4 回 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 健康講座：認知症予防、熱中症予防、糖尿病予防、レクリエーションなど 4/19（14人）、7/12（11人）、12/20（12人）、3/14（人） ② 向定内ヘルシー教室 〔時期〕 年4回 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 調理実習、健康講座：食中毒予防、脳卒中予防(血圧、減塩)など 5/26（10人）、7/21（9人）、9/1（9人）、11/24（9人） ③ 菜の花会 〔時期〕 年 2 回 〔場所〕 中小川集会所 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 5/10（11人）：お薬について 9/27(10人）：栄養について 11/22(11人）：糖尿病・高血圧予防 ④ 小川ふれあいクラブ 〔時期〕 年 2 回 〔場所〕 小川集会所 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			6/9(11人):骨粗しょう症、特定健診のお知らせ 2/9(10人):脳卒中対策について ⑤ 暖チーズサロン 〔時期〕年1回 〔場所〕野田団地小佐野公民館分館 〔対象〕地域住民 〔内容・実施状況〕 2/17(26人):健康寿命延伸に向けて(健診・検診、血圧、減塩など)
	【成果と課題】 各地区住民が会の運営を行っており、自主的に企画し交流の機会となっている。依頼に応じて、年に数回の健康講座を実施している。同様の団体が対象ではあるが、健康意識を維持・向上していただく機会とし、次年度も継続して支援する。		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	自主活動グループ、一般団体に対して、活動の場として施設ホール等の貸し出しを行う。 〔時期〕通年 〔場所〕小佐野コミュニティ会館 〔対象〕一般団体・市民 〔内容・実施状況〕 利用人数 12,018人(R5.1.31現在) 前年同期比 +1,262人
	【成果と課題】 ・各グループの参加者は高齢化が進んでおり、階段の昇降が大変だと訴える方も多く、施設整備や活動継続のための後継者の確保が課題。 <u>◎新型コロナウイルス感染拡大による会館利用について</u> ・3密回避など感染対策の徹底を各団体に要請し貸館実施		
	施設の維持管理	安全・快適な利用環境を整える。	清掃業務・消防機器点検等の各種委託業務を実施。 時間外・休日等の施設業務は小佐野町内会に委託する。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 ・利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう点検や修繕を行なったほか、小佐野町内会と連携しながら会館の管理運営を行なった。 ・年々施設の老朽化が進んでおり、設備の故障や雨漏りが発生していることから設備の維持管理が課題。 ・利用者が安心して利用できるよう、管内設備の消毒や換気等感染症予防対策に力を入れて取り組んだ。		

5. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	〔時期〕 年2回、5/27・2/28 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 審議会委員 〔内容〕 委員による公民館運営等の審議
	【成果と課題】 公民館の適切な運営を維持するため、運営方針及び事業計画について審議した。		
生涯学習ネットワークの形成	「公民館だより」の発行	学び・健康・地域づくりをテーマとした学習機会と場を提供し、以て住民の生涯学習意欲を引き出す。	公民館事業、その他地域の情報をPRするため、「小佐野公民館だより」を発行する。 〔時期〕 毎月1回1日発行 〔対象〕 地域住民・小佐野小学校生徒等 〔内容・実施状況〕 イベント周知・結果報告、保健事業等の情報、地域の話題など約1,700部（現在は、約4,000部）発行
	【成果と課題】 ・今まで、全戸配布されなかった公民館だよりを、令和4年1月1日号から約9割全戸配布にした。（一部協力できない旨の申し出があり、今まで通り回覧で対応） ・<u>小中学校配布分は、メールで送るなど簡素化にご協力頂いた。</u> ・<u>引き続き、高齢会議福祉課地域包括支援センターのコーナーを設け、権利擁護や終活、成年後見人制度について分かりやすく掲載した。（保健師コーナーは継続中）</u> ・<u>令和5年1月1日号は、A4からA3にして、新年特別号『菊池流帆選手特集』を作成し、釜石市小佐野小学校出身の現役JリーガーをPRした。その後、広報かまいし、多くのテレビ局で紹介するなど先駆けとなる公民館だよりとなった。</u> ・<u>現在も菊池流帆選手の件で問い合わせがあり。</u>		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			• <u>第二弾として、小山怜央棋士の実家が小佐野地区生活応援センター管内にあることから、菊池流帆選手同様に地域で応援する事としている。</u>

釜石市立甲子公民館 事業実施報告

I 運営方針・重点目標

1. 基本方針

釜石市の生涯学習行政の方針等を踏まえ、様々な活動を推進する地域づくりの拠点として、多様な主体と連携しながら、生涯学習の推進と地域課題の解決に向け事業に取り組むほか、自主学習グループをはじめとした地域の主体的な生涯学習活動を推進するため、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に学習機会を選択して学ぶことができる体制の整備に努める。

また、多様なニーズに配慮した様々な機会や交流の場を提供するとともに、地域の文化や人とのふれあいを通して、生きがいのある充実した豊かで快適な地域づくりに努め、甲子地域会議、市及び関係機関との連携・協働を図りながら地域主体による持続可能な地域づくりの実現に向けた取り組みを推進する。

なお、今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策を図り、利用者から罹患者が出ないよう細心の注意を払い、安全・安心な公民館事業の運営に努める。

2. 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、地域住民とともに歩み、地域住民に役立つ公民館活動を推進する。
- (2) 地域住民の学習ニーズに応え、各世代に応じた講座を開催し、より多くの地域住民に学習の機会と場を提供するように努める。
- (3) 児童・生徒等青少年と地域の人々との世代間交流を図るために、豊かな体験の場、学習機会の提供等に努め、相互間のふれあいを深める。
- (4) 地域の自主学習グループ等との連携を図り、活動を推奨援助し、活動の定着に努める。
- (5) 健康相談や個別訪問、各種講座等を開催し、地域住民を対象とした健康づくり事業（健康相談・健康教育等）を推進する。
- (6) 諸事業を推進するに当たり、関係機関・団体等との相互連携・協力関係を密にし、効果的な運営を心がける。

3. 事業運営体制

会 議 名	内 容	対 象	時期
運営審議会	公民館運営等について、館長の諮問に応じ各種事業計画と実施要項について審議する。	審議会委員	年度始 年度末
実行委員会	各種事業の具体的な運営企画を立案し、活動の運営推進を図る。	団体代表者	随 時
連絡会議等	公民館を利用し活動している自主学習グループとの連絡調整を図り、運営を円滑にする。	グループ代表者	随 時

Ⅱ 事業報告

1. 乳幼児期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	母子保健事業	乳幼児の健康保持及び増進、また、育児に関する相談を行い、家庭での不安軽減を目的とする	○乳幼児相談 〔時期〕随時開催（予約制） 〔場所〕甲子公民館、自宅訪問等 〔対象〕乳幼児及びその保護者 〔内容〕乳幼児に対する保健指導等 〔実績〕15人（9回） ○甲子子育て支援センターでの相談会協力 〔時期〕4～3月の偶数月 〔場所〕甲子子育て支援センター 〔対象〕乳幼児及びその保護者 〔内容〕乳幼児に対する保健指導等 〔実績〕17人（5回）
	【成果と課題】 出生数が減少していること、及びコロナ感染症の影響もあり、昨年より対面での相談ニーズが減少している。 また、SNSなどの普及により、ネット上に子育ての不安解決を求めることが増えているように見受けられる。 子育ての心配を把握できる機会を捉え、相談対応できるよう努めていきたい。		

2. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	ふれあい広場（学童）	長期休暇中の学童育成クラブへの、体験・学習・レクリエーション活動などを行い児童の健全育成の一助とする。	○ 体験・学習・レクリエーション 〔時期〕夏・冬・春休み期間中 各1～2回 〔場所〕甲子学童育成クラブ等 〔対象〕甲子学童育成クラブ 〔内容〕体験・学習・レクリエーション活動など 〔実績〕46人（1回）
	【成果と課題】 夏休み期間に計画していた、DVD鑑賞と国際交流出前講座がコロナ感染		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	症の感染拡大の影響により関係者と協議のうえ中止した。 冬休み期間中は DVD 鑑賞会を1回実施。久々のふれあい広場による DVD 鑑賞会を開催することができた。鑑賞した児童から、「楽しかった」「もっと観たい」「冬休みの思い出になった」などの感想が寄せられた。今後も機会を見て実施したいと考えている。 なお、3月の春休みには、国際交流出前講座を実施する予定である。		
	ふれあい広場 (児童・学生)	小・中・高校生を中心とし、地域資源を活かした、各種体験・学習・レクリエーション活動を通じ、自立性や協調性を高め、児童の健全育成の一助とする。	○各種体験・学習・レクリエーション活動 〔時期〕 夏・冬・春休み及び随時 〔場所〕 甲子公民館、その他 〔対象〕 小・中・高校生等 〔内容〕 各種体験・学習・レクリエーション活動など 〔実績〕 なし
	【成果と課題】 昨年度まで当該事業に関わっていた団体及び高校生が、コロナ感染症拡大の影響により活動を自粛したこと、また、公民館事業としてもコロナ感染防止の観点から実施を見合わせたことに伴い、本年度の活動を実施することができなかった。 来年度以降は、コロナ感染が収まらない状況でも、国や当市の感染防止対策に従い実施する方向で検討したい。		

3. 成人期・高齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人・高齢者の健康づくり	かっし健康講座	地域住民の健康維持と生きがいのある充実した豊かで快適な地域づくりに努めることを目的としている。	○健康講話とレクリエーション 〔時期〕 5月、7月、9月、11月、1月、3月(第2木曜日) 10:00～11:30 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 40人(4回) ○ストレッチ教室 〔時期〕 月1回(第4金曜日) 10:00～11:30 〔場所〕 甲子公民館

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 141人（9回） ○いきいき健康運動教室 〔時期〕 月2回（第1・3火曜日） 10：00～11：30 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 229人（14回） ○ゆったりまったり運動 〔時期〕 月1回（第1金曜日） 10：00～11：30 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 77人（9回） ○甲子を知るゆったりウォーキング 〔時期〕 年6回 〔場所〕 甲子地域ほか 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 71人（5回） ○高齢者卓球教室 〔時期〕 毎週金曜日 10：00～12：00 〔場所〕 旧大松小学校体育館 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 544人（26回）
		【成果と課題】 コロナ禍ではあったが、高齢者卓球教室を除き、昨年度と比較して参加人数、回数ともに増加している。要因として、コロナ禍で活動する上での感染防止に関する理解が進んだこと及びコロナ禍でも健康を維持することが大切であるとの意識が高まったことが、参加者との対話から推察される。 なお、高齢者卓球教室は、昨年度と比較して、参加人数、回数ともに減少しており、要因として、参加者に高齢者が多いことから、コロナ感染防止のため実施を控えた日が多かったことが考えられる。 このような状況が来年度以降も続くと想定されるが、当該事業の事業目的を推進するため、引き続きコロナ感染防止対策を図ったうえで実施していきたい。	

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	健康相談事業	保健師・栄養士等が心身の健康・食生活及び介護に関する個別相談を実施し、家庭における健康管理や介護等についてサポートすることを目的とする。	○甲子地区健康相談会 〔時期〕 随時受付 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 甲子地域住民 〔内容〕 健康・栄養・歯科相談 〔実績〕 30人（27回） ○おたっしゃ相談会 〔時期〕 毎月1回 〔場所〕 仙人インフォメーションセンター（大橋）、洞関地区コミュニティ消防センター（洞関） 〔対象〕 大橋・洞関地区住民 〔内容〕 健康相談・血圧測定等 〔実績〕 大橋：79人（10回） 洞関：36人（8回）
	【成果と課題】 これまで実施してきた「大橋おたっしゃ相談会」に加え、6月から「洞関おたっしゃ相談会」も実施を始めた。 コロナ感染予防のため、本来の実施内容の省略や変更を行いながら実施した。 各相談会は、定期的を開催することで、健康チェックや参加者間の交流の機会になっているようである。 今後もコロナ感染予防に配慮し、内容などを工夫しながら住民の健康管理のサポートをしていきたい。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	健康教育事業	保健師、栄養士による健康教育のほか、健康講話等を実施し、生活習慣病についての正しい知識の普及を図り、生活習慣改善の取り組みを支援することを目的とする。	○各地区での健康講話等 〔時期〕 随時開催 〔場所〕 各地区集会所及び甲子公民館等 〔対象〕 甲子地域住民 〔内容〕 ・熱中症について ・コロナワクチン、熱中症予防について ・認知症予防 ・高齢者虐待の概要と対応 ・認知症予防 ・動脈硬化について ・うつ病について 〔実績〕 99人（7回）
【成果と課題】 生活習慣病に関する知識の普及や自分の生活習慣改善を考える機会となるよう講話を行った。参加者には、できるだけ興味を持ってもらえるよう、健康相談に加え、関係機関の協力を得てレクリエーションや脳トレを行った。参加者からは「勉強になる」「楽しい」との声も聞かれ、正しい知識の普及啓発や生活習慣の改善に向けた取り組みができたと思われる。 今後は、新規参加者を含め更に多くの方に参加いただけるよう工夫を行いながら健康教育の機会を設けていきたい。			
	男の料理教室 【共催事業】	元気で明るく楽しい人生を過ごすことを目的に、高齢化社会に対応すべく「男の調理実習」で料理を習得するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。	○釜石いきいきクラブ 〔時期〕 月1回 (8月、1月は休み) 〔場所〕 甲子林業センター 〔内容〕 調理実習、健康講座等 〔対象〕 甲子地域住民 〔実績〕 なし
【成果と課題】 今年度は、公民館としては、人数調整や、実施内容など市管理栄養士とも協議し、実施する方向で協議していたが、4月に「釜石いきいきクラブ」が実施したクラブ内の意向調査において、今年度も実施しない意見が多数を占めたことから、その意見結果を尊重し実施しないこととした。 クラブ登録者はコロナ感染に敏感な高齢者であることから、コロナ感染を恐れることは仕方のないことではあるが、今年度で3年間活動がない状			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	況から、クラブとしてのモチベーションが低下しているように感じる。来年度は、どのようにしたら活動できるかをクラブの方々と探っていきたい。		
	スクラムメイト事業 【共催事業】	「自分の健康は自分でまもる」を合言葉に、仲間同士で支えあいながら、健康づくり活動及び地域への講話等を行うことに加え、会員の親睦と交流を図ることを目的とする。	○大松スクラムメイト 〔時期〕月1回 〔場所〕大松地区コミュニティ消防センター 〔内容〕ウォーキング、栄養講話、体操、健康講話等 〔実績〕132人（10回）
	【成果と課題】 コロナ感染予防に配慮しながら、月1回、各種講話やウォーキング、レクリエーション、交流会などを実施した。 今後も、生活支援コーディネーターや他の活動団体との連携を図るなど、自主的に健康活動が推進できるよう公民館としても協力していきたい。		
	デイサービス事業 【共催事業】	引きこもり予防事業として、高齢者の仲間づくり、健康生活の維持・促進等を図ることを目的とする。	○ふれあい教室 〔時期〕月1回 〔場所〕甲子公民館 ＊洞関、砂子渡、大松、唄貝、鍋倉、大洞、大松地区集会所等でも月1回実施。 〔内容〕釜石市社会福祉協議会が各種レクリエーション、誕生会、クリスマス会等を実施。 〔実績〕112人（9回）
	【成果と課題】 釜石市社会福祉協議会との共催により毎月1回実施しており、甲子公民館以外の洞関・砂子渡・大松・唄貝・大洞地区でも月1回実施している。 コロナ禍における地域の高齢者の健康維持を図るとともに、参加者同士の交流にも寄与していると思われる。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	見守り・孤立防止事業 【新規】	健康、悩み、人間関係、子育てなどについて、来所した方との対話を行うことで、孤立傾向にある方や悩んでいる方を一人にさせないことを目的とする。	○地域のよりどころ 談話ルームかつし (かつしおしゃべり広場) 〔時期〕 随時開催 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 甲子地域住民 〔内容〕 各種相談、傾聴 〔実績〕 3人（3回）
	【成果と課題】 新規事業として、釜石市社会福祉協議会の協力も得て12月から事業を開始した。 事業開始したばかりで、まだ多くの方に事業を認知されておらず来館者は少ないが、孤立傾向にある方には必要な事業であると考えている。 今後は、公民館だより等で周知を行うとともに、個別に案内をするなど認知を広げていき、事業目的を遂行していけるように努めていきたい。		

4. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
コミュニティ形成、交流の場の創出	ふれあい広場 (世代間交流編)	地域内における地域行事や各種事業を通じた世代間交流を図り地域コミュニティ形成や、地域に対する理解を深めることを目的とする。	○みずき団子まつり 〔時期〕 1月 〔場所〕 各町内会 〔対象〕 地域住民 〔実績〕 実施せず ○地域行事 〔時期〕 随時 〔場所〕 甲子地域 〔対象〕 地域住民 〔内容〕 〔実績〕 実施せず ○各種交流事業 〔時期〕 随時 〔場所〕 甲子地域及び市内全域 〔対象〕 地域住民 他 〔内容〕 〔実績〕 実施せず

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	ふれあい広場 （地域間交流 編） 【新規】	地域の特色を活かした事業や地域交流を目的とした事業を通じ、他地域との親睦や理解及び健康増進などを推進することを目的とする。	○各種交流事業 〔時期〕 随時 〔場所〕 市内全域 〔対象〕 釜石市民 〔内容〕 ① 5・6月 ウォーキング交流会 ② 8月 日向ダム見学会 ③ 9月 ソフトボール大会 ④10月 ニュースポーツ交流会 干し柿作り体験会 〔実績〕 ① 32人（4回） ② 5人（1回） ③ 12人（1回） ④ 15人・11人（各1回） 計 63人（7回） ※人数は甲子分のみ
	【成果と課題】 世代間交流は新型コロナ感染拡大の影響により実施できなかった。 地域間交流では、今年度新規事業として、3地区（甲子、小佐野、中妻）の公民館合同による、各地区の資源を生かしながら、健康増進や地域間交流などを目的とした5事業を実施。 3地区公民館合同事業は、初めての試みであったが、多くの参加した方々からは、実施したことへの感謝の言葉や、来年度以降も実施してほしい等の感想をいただいたことから、当該事業の実施について好感を得ていただいたと判断される。 来年度も、当該事業を継続して推進していきたい。		

5. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習の推進と交流の場の創出	ゆう遊講座	健康づくり、趣味、料理等の生活課題に関する学習を通し、地域社会での実生活に役立てるなど、より多くの地域住民が生涯学習に取り組む機会を創出することを目的としている。	○健康、生活、歴史等の各種講座 〔時期〕 毎月 〔場所〕 甲子公民館等 〔対象〕 甲子地域住民等 〔内容〕 脳トレ、ニュースポーツ、健康、介護、防災、文化等の講座、グラウンドゴルフ大会等 〔実績〕 148人（11回）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	【成果と課題】 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により講座を中止することがなかったため参加者数、実施回数ともに前年度を上回った。 ただし、1回あたりの参加者数が減っていることから、可能な範囲で地域住民の要望等を聞きつつ、講座内容のニーズを探りながら、より多くの方々が関心を持てるような講座を実施できるよう努めたい。		
	甲子出前講座	公民館所在地より遠隔地の地域住民を対象に講座等を実施し、「いつでも・どこでも・だれでも」が利用できる地域の公民館としての役割を果たし、生涯学習活動を推進することを目的としている。	○健康、生活、歴史等の各種講座 〔時期〕 随時 〔場所〕 大畑団地集会所、大松地区コミュニティ消防センター 〔対象〕 甲子地域住民 〔内容〕 健康講座、レクリエーションなど 〔実績〕 79人（5回） 内10人（1回）は大松スクラムメイト事業の再掲
	【成果と課題】 昨年度と比較して回数及び参加者がともに増加している。 増加要因として、大畑団地自治会のひまわり会が昨年より2回多く実施したことが要因である。 甲子町内の町内会等に周知を行っているが、実施団体は一昨年から2団体のままであることから、出前講座の認知はまだ不十分であると思われる。 来年度は、事業の周知方法を工夫し、実施実績を増やせるよう努めたい。		
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	自主活動グループ、一般団体に対して、活動の場として施設ホール等の貸し出しを行う。 〔時期〕 通年 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 自主活動グループ、一般市民等 〔実績〕 4,101人（355回）
	【成果と課題】 昨年と比較して僅かではあるが増加している。 コロナ禍で使用を控えていた個人、団体等の利用がコロナ禍以前の状態に戻りつつあることが要因であると考えられる。 今後も住民の方々が利用しやすい環境を整えていくことに努めたい。		

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習ネットワークの形成	「かつまづ」（応援センター・公民館だより）の発行	公民館事業等の予定を周知するとともに、行政情報や地域会議等の情報を提供するため「かつまづ」を発行する。	○甲子公民館だより 広報の発行に併せて地域内全戸に配付。 〔時期〕 月1回発行（発行日：1日） 〔内容〕 甲子応援センター、公民館事業からの情報提供 〔実績〕 毎月発行（12回）
	【成果と課題】 公民館事業及び応援センターからのお知らせなどを掲載した公民館だより「かつまづ」を毎月1回発行。 毎月実施される公民館で実施される講座やイベント等の周知や行政情報や保健師メモの保健情報等を掲載し各種情報発信を実施した。		
	公民館まつり	地域内の様々な世代の交流を図りながら、生涯学習ネットワークの形成に努め、心豊かで生きがいのある快適な地域づくりの実現を目的としている。	○甲子公民館まつり（第26回） 〔時期〕 11月 〔場所〕 甲子公民館 〔内容〕 陶芸、手芸、書道等の作品展示とコーラス、フォークダンス等のステージ発表のほか、御振舞やチャリティーバザーを開催 〔実績〕 実施せず
	【成果と課題】 市内での新型コロナ感染が治まっていない状況であったことから、実行委員会メンバーによる協議を経てやむを得ず中止としたが、自主学習グループの活動成果を披露したいとのことから、甲子公民館作品展示会として、11月21日（月）～11月25日（金）までの期間で実施した。 期間中の来場者は47人と少なかったが、久々の作品披露ができたことから出展者からは喜びの感想が寄せられた。 来年度は、新型コロナ感染症に伴うイベント等の規制も緩やかになると思われることから、ぜひ実施できるよう準備していきたい。		
	自主活動グループ等の支援	地域住民の自主的な生涯学習活動を支援する。	○甲子公民館自主学習グループ 〔時期〕 通年 〔場所〕 甲子公民館 〔グループ〕 17団体

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			・甲子ニコニコグループ 〔時期〕月1回 第2金曜日 ・ひまわり会 〔時期〕月2回 第2・4火曜日 ・陶芸グループ ※R4休止 〔時期〕月1回 第2水曜日（5月～11月） ・フォークダンス白鳥 〔時期〕毎週月曜日 ・ラウンドダンスはまなす 〔時期〕月2回 第1・3金曜日 ・太極拳・学好会 〔時期〕月3回 第1・3・4水曜日 ・甲子歌う会 〔時期〕月3回 火曜日 ・たんぽぽ俳句の会 〔時期〕月1回 第4金曜日 ・習字の会 〔時期〕月2回 第1・3水曜日 ・はつらつ水曜会 〔時期〕月2回 第2・4水曜日 ・元気に歌おう会 〔時期〕月1回 第2金曜日 ・ワンツーパーンチ体操教室 〔時期〕月2回 第1・3木曜日 ・パソコン教室 〔時期〕毎週火・金曜日 ・手づくり倶楽部 〔時期〕毎週月・木曜日 ・折り紙教室 〔時期〕月1回 第4木曜日 ・甲子太極拳同好会 〔時期〕月1回 第3金曜日 ・山椒の会 〔時期〕月3回 火曜日 〔実績〕2,945人（280回）
【成果と課題】 今年度は、新たに活動開始したグループがある一方、休止したグループもあった。全体的にみると若干ではあるが、人数、回数共に減少している。コ			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	ロナ関連や高齢化により参加しなくなった方が数名いたことが要因と思われる。 各活動グループもメンバーが固定化され、高齢化が進んでいることから、現状のままでは今後も減少傾向が続くと想定される。 公民館としては、高齢化が進んでも、いす式昇降機利用促進も含め参加者が活動しやすい環境を保つよう努めていきたい。		
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	〔時期〕 年2回、5月・2月頃 〔場所〕 甲子公民館 〔対象〕 審議会委員 〔内容〕 委員による公民館運営等の審議 〔実績〕 2回
			【成果と課題】 公民館を適正に運営するため、運営方針や事業計画について審議した。また、事業実績について意見を伺い次年度の運営に活かすことが出来た。

釜石市立鵜住居公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

令和4年度は、東日本大震災から10年が経過し地震等の自然災害に備えた防災、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、新しい生活様式の下、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2 重点目標

(1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮

らすことができるような事業展開に努める。

(2) 地域住民の各世代のニーズに応え、事業実施に努める。

(3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業実施に努める。

(4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。

(5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業報告

1 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鵜住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	保健講話、計測(身長・体重)、おもちゃ遊び、制作など 〔時期〕 ① 6/23(木) 30人(親15人、子15人) 同日に2回に分けて実施 ② コロナ第7波の影響により中止 ③ 10/27(木) 1歳未満 8人(親4人、子4人) 11/4(金) 1歳以上 9人(親4人、子5人) 参加者延べ47人 〔場所〕 鵜住居子育て支援センター 〔対象〕 未就学児と保護者

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	【成果と課題】 コロナ感染予防のため、1回目の際は同日に2回に分けて実施し、3回目の際は同じ内容を年齢で分けて2回実施した。初めて子育て支援センターを利用した方は、その後も継続的に利用している。		

2 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	わんぱく子ども教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	〔時期〕 ① 8月9日（火） アロマワックスバー作り 10人 ② 1月10日（火） 卵で実験！フッ素のはたらき 2人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 小学生
	【成果と課題】 小学生の夏休みと冬休みを利用して実施した。冬休みの参加者は少なかったが、全体を通すと学年を超えた交流を促すことは出来ている。今後の課題としては、参加人数の増加だが、魅力的なメニューと小学校や学童育成クラブと連携が重要と考える。		
	釜石東中学校 学習サポート	目標に向かって学び続ける土壌を育むため、受験対策を目的とする学習機会を提供する。	〔時期〕 ①夏休み：7/25（月）、8/2（火）、8/3（水） 参加延人数 22人 ②冬休み：12/26（月）、12/27（火）、1/6（金） 参加延人数 64人 〔場所〕 鶴住居公民館、釜石東中学校 〔対象〕 釜石東中学校生徒
	【成果と課題】 受験を控える中学3年生を対象に、鶴住居公民館で行われた夏季開催においては受験に挑む気持ちを持たせることができた。また、東中学校で行われた冬季開催では間近に控える受験への士気を高めることができた。 （一社）子どものエンパワメントいわてに講師派遣をし、普段と違う環境で勉強をすることで、学力向上の効果が見込まれることから、継続して開催したい。アンケートの結果では、学習サポート事業を通して受験への意気込みが感じられ、今後も継続が望まれる事業である。		

3 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢者の健康づくり	各種健診等の推進	健康教室等の事業や公民館だよりにより啓発記事を掲載し、各種がん検診、特定健診等の受診勧奨や指導を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館等 〔対象〕 鶴住居地区住民
	あつまれ！鶴住居の杜	地域に安定した交流機会をもち、閉じこもり予防、心身の健康と学びの機会を設ける。	〔時期〕 原則毎月1回開催 4/28（木）、5/26（木）、6/23（木）、 7/28（木）、9/29（木）、10/27（木）。 11/24（木）、12/22（木）1/26（木）、 2/22（水） 3/23（木） 参加延人数 114人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	健康教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	①桑の浜健康教室 〔時期〕 3ヶ月に1回開催 7/12（火）、9/13（火）、 12/13（火）、3/7（火） 参加延人数 19人 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区民 ②室浜健康教室 〔時期〕 3ヶ月に1回開催 ※市：7/13（水）、9/14（水）、11/9（水）、2/8（水） 参加延人数 16人 体育協会：10/12、12/14、3/8 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民 ③仮宿健康教室 〔時期〕 年1回開催10/12（水）6人 〔場所〕 鶴住居公民館仮宿分館 〔対象〕 仮宿地区住民 ④女遊部健康教室 〔時期〕 年1回開催 6/28（火）9人 〔場所〕 女遊部集会所 〔対象〕 女遊部地区住民

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			⑤両石健康教室 〔時期〕 年2回開催 6/13（月） 7人 2/13（月） 人 〔場所〕 両石復興住宅集会室 〔対象〕 両石地区住民 ⑥白浜すいすい会 〔時期〕 9/21（水） 6人 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民 ⑦外山健康教室 〔時期〕 10/31（月） 12人、 11/21（月） 6人 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山地区住民 ⑧新川原健康教室 〔時期〕 11/7（月）、12/20（火）、 1/25（水）、2/22（水） 参加延人数 25人 〔場所〕 鶴住居復興住宅戸建て B 地区集会所 〔対象〕 新川原地区住民
	【成果と課題】 各種健診等の推進については、公民館だよりや公民館事業等で声掛けをおこなった。直接声をかけると「あー、忘れてた。」という声もあったため、来年度も引き続き行っていく。 『あつまれ！鶴住居の杜』は、徐々に参加人数が増えてきている。また、新規での参加者も増えてきており健康教育、健康講話や住民同士の交流の場となっている。住民目線で考えた内容や周知方法の効果があった。参加者の高齢化に伴い、無理のない範囲で住民にどれだけ興味を持ってもらえるような内容にするかが今後の課題となる。 健康教室は、公民館に来館することが難しい地区を対象に、保健師や専門職の協力を得て開催している。今年度は、生活習慣病を中心に「血液サラサラ」、「野菜を食べて健康生活」、「高血圧について」、「認知症について」、「骨粗鬆症について」等の講話を行ってきた。今すぐ手軽に実践できるのは、食事の工夫のため、食事について中心に説明をした。来年度は、脂質異常症やメタボリックシンドロームについても触れていきたい。		

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	おさんぽの会	健康づくり・生活習慣病等の知識の啓発と運動機会を通し住民交流の機会を提供する。	〔時期〕 毎週火曜日 参加延人数 95人 （1月末現在） 〔場所〕 長内集会所近辺 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】 公民館職員による事業と自主活動としての活動を組み合わせて開催している。 （実績は公民館職員が支援した計16回の合計人数）尚、自主活動時は参加者が歩道の清掃（ゴミ拾い）を行っており、地域貢献の意味合いも込めた活動内容になっているので、今後も主体性を持った活動促進をサポートとする。		
	各種百歳体操の会	100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。	①鶴住居復興住宅2号棟 イケイケ会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 鶴住居復興住宅2号棟集会室 〔対象〕 鶴住居復興住宅2号棟の周辺住民 ② 箱崎地区 ほっぷすてっぷくらぶ 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 箱崎集会所 〔対象〕 箱崎地区住民 ③ 片岸きらきらクラブ 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 片岸集会所 〔対象〕 片岸地区住民 ④いきいき鶴住居 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民 ⑤桑の実クラブ 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民 ⑥ニコニコ室浜 〔時期〕 毎週月・金曜日 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民 ⑦白浜すいすい会 〔時期〕 隔週水曜日 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			⑧川目笑生会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 川目集会所 〔対象〕 川目地区住民 ⑨スマイル日向 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 日向復興住宅集会所 〔対象〕 日向地区住民 ⑩両石若人の会 〔時期〕 毎週土曜日 〔場所〕 県営両石アパート集会所 〔対象〕 両石地区住民 ⑪外山地区（団体名検討中） 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山地区住民
【成果と課題】 コロナ禍ではあるが、感染対策を行いながら意欲的に活動している。日向地区、両石地区、外山地区で新たに活動団体が発足した。口腔ケアの体操も、今年度から3団体開始した。一方で、持続的な実施が難しくなっている団体もある。口腔ケアや認知症予防等を取り入れながらマンネリ化の予防を図り、活動が継続できるよう、また、健康で充実した生活が送れるよう支援する。社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携を図り、百歳体操の啓発や新たな活動団体の開拓を行っていく。			
	すまいるウォーキング	正しい姿勢でのウォーキングで鶴住居地区内、または釜石地域のウォーキングスポットを歩き、鶴住居地域住民間の交流、健康維持の機会を設ける。	〔時期〕 毎月第1木曜日（雨天翌日） 〔場所〕 鶴住居地区等 〔対象〕 鶴住居地区住民 参加延人数 117人、開催数 9回 （R5年1月末現在）
【成果と課題】 コロナ禍でもできる活動ということで始めた事業である。おさんぽの会とは差別化を図るため、長い距離を歩くことを前提としており、回数を重ねるごとに参加者が増えてきている。下見の段階で参加者から希望者を募り、コースの確認も一緒に行っており、参加者同士が声を掛けながら、少しずつではあるが、主体的に活動できるようになってきていると感じている。			

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化活動の推進	ふるさと探訪	地域の自然、歴史や文化を知り、地域の資源を再認識する機会を提供する。	① 鉄の街釜石再発見 〔時期〕 7/28（木） 〔場所〕 午前：釜石市郷土資料館 午後：釜石市立鉄の歴史館 6人 〔対象〕 鶴住居地区住民
			② 釜石市学校給食センター施設見学及び試食会 〔時期〕 2/7（火） 〔場所〕 釜石市学校給食センター 12人 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】 1 回目は、市内で新型コロナウイルス感染症が急速に感染拡大した影響で、参加者は少なかったが、感染防止対策をしっかりとったうえで開催した。見学先の中には、前公民館長の異動先でもある鉄の歴史館もあり、参加者は鉄の街釜石を学ぶことができたと共に、久しぶりの再会を喜んだ。 2 回目は、令和2年度から鶴住居地区に移転新築した釜石市学校給食センターで、施設設備や衛生管理について、また地産地消についての現状を学ぶことができた。見学と併せて給食の試食会を行うことで、食育への関心を高めてもらい、自分の食生活の振り返りや見直しにつなげることができた。		
	鶴住居交流講座	地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。	手芸や工芸などの幅広い分野の講座を開催する。 〔時期〕 ①草木染め体験 12/16（金）、15（木）に準備作業 参加人数 5人 ②草木染め体験 1/20（金）、19（木）に準備作業 参加人数 5人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
【成果と課題】 昨年度実施し、参加者から好評であったことから、今年度は2回実施した。昨年度から継続しての参加者も見受けられたが、新規での参加者も多く見受けられ、住民に事業への参加意欲を持たせることができた。また、昨年度の経験を活かし、当公民館の職員が講師を務めたことにより、参加者も緊張することなく、相互のコミュニケーションを深めることができた。			

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	出張公民館事業	鵜住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。	箱崎町内会を対象にニュースポーツ体験としてボッチャ体験会を開催した。 〔時期〕 11/20（日） 参加人数 15人 〔場所〕箱崎集会所 〔対象〕箱崎町内会
	【成果と課題】 今年度は、災害、コロナ禍により開催が延び延びとなっていた箱崎町内会を対象に出張公民館を開催。内容はボッチャを体験したことがないとのことで、ニュースポーツ体験としてボッチャ体験会を開催した。参加者は終始笑顔や笑い声が絶えず、それぞれ応援や激励の声も上がり、地域住民の交流を図る場として一定の成果は上げられた。また、管内町内会あてに出張公民館の案内を送付し、開催団体を募ったが、どこからも応募がなかった。来年度は、公民館事業への参加が少ない地域での開催を検討する。		
	鵜住居の歴史を語る会	昔の鵜住居を思い出し語り合うことで、参加者の交流を図るとともに、重要な歴史資源を残し、語り継いで行く。	見学会と座学を1回ずつ開催した。 ◎国史跡 屋形遺跡見学会 〔時期〕 11/22（火） 参加人数7人 〔場所〕唐丹町大石 〔対象〕鵜住居地区住民 ◎鵜住居の郷土芸能について 〔時期〕 2/21（火） 参加人数23人 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居地区住民
	【成果と課題】 今年度3回の開催予定であったが、下期に公民館事業の開催が集中したことから2回の開催とした。屋形遺跡については、昨年度座学で屋形遺跡の価値について学び、今年度は現地見学の開催を予定とのことで、予定どおり開催したが、見学会への参加申し込みが芳しくなく、ほかの公民館事業参加者への声掛けにより何とか7人集めることができ、事業の体裁を整えることができた。今年度2回目の鵜住居の郷土芸能についても、参加申し込みが芳しくない状況である。事業自体が「ふるさと探訪」と似通っており、今後は統合することの検討も必要と考える。		

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
男女共同参画の推進	男の手料理教室	男性の交流機会の一つとしながら、健康づくりや食生活の改善を進めることを目的とする。	交流する機会の提供及び食生活を見直し栄養や健康に関する知識の啓発を図る。 〔時期〕 4/13（水）、5/11（水）、6/1（水）、7/6（水）、8/3（水）、9/7（水）、10/5（水）、11/2（水）、12/7（水）、1/13（水）、2/1（水）、3/1（水） 参加延人数 68人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の男性
	【成果と課題】 コロナ禍により、調理後は調理品を家に持ち帰っていたが、9月からは従来どおり、調理後に参加者全員で食事することとした。また、食中毒防止の観点から、8月は釜石地方森林組合を講師に招き地域産木材を使った、プロが教えるDIY教室（テーブル作成）を実施した。1月には、おーい！むかしっ子教室との共催事業を実施し、料理教室のメンバーには、みずき団子の仕込みやきらず団子作り、みずきへの飾り付けなどによる小学生との交流を行った。メンバーは、普段はできない交流に「疲れたなあ。」という発言はあったものの、達成感にあふれていた。今後も機会があれば、料理教室のメンバーが活躍できる場の提供をしていく。回を重ねるごとに、参加者同士の関係性も深まり、お互い気軽に話し合うなど、交流の機会づくりとしての一定の成果はあがっているものと考え。料理の手際も良くなり、自分たちで考えて行動ができるようになってきていることから、将来的に自主活動サークルへの移行も視野に入れながら事業を継続していきたい。		
高齢者の生きがいづくり	実年ひろば	年間で複数回の学習内容を自ら決定して自主的な生涯学習活動に取り組むものとし、住民同士の交流や、生涯学習意欲の向上に資することを目的とする。	手芸・料理など「趣味による生きがい」づくりにつながる講座を開催する。 〔時期〕 6/3（金） 出前講座「お茶っこサロン～地球のうらがわ～」 27人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の女性
	【成果と課題】 会員内で企画立案、事業運営等を積極的に行うことが出来ている。今後も会員内で自主的に取り組むことができるようサポートする。		

4 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい 公民館まつり	公民館利用団体の発表の場とし、鶴住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	新型コロナウイルス感染状況を鑑み作品展示会のみ開催 〔時期〕 11/25（金）～11/30（水） 参加延人数 100人 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】 コロナウイルス感染症の感染状況がなかなか収束に向かわないことから、最低限での規模で開催することとし、作品展示会のみ開催した。作品展示会の開催のみとはいえ、楽しみにして来館した住民も多かったことから、来年度の感染状況はどうなっているかわからないが、感染予防対策をしっかりとした上で本格的に開催できる方法を検討する。		
交流の場の創出	市内公民館交流事業	手芸・工芸体験教室やニュースポーツ運動会を通じて、隣接する両地区の住民の交流・親睦を深める。	すまいるウォーキングとの共催で、栗橋地区と唐丹地区住民とのウォーキングを実施し、参加した両地区住民との交流・親睦を深めた。 ◎栗橋地区 〔時期〕 8/4（木） 参加人数 12人 （内訳：鶴住居9人、栗橋3人） 〔場所〕 橋野町横内・古里地区 〔対象〕 鶴住居地区住民 栗橋地区住民 ◎唐丹地区 〔時期〕 10/6（木） 参加人数 33人 （内訳：鶴住居20人、唐丹13人） 〔場所〕 唐丹町片岸・小白浜地区 〔対象〕 鶴住居地区住民 唐丹地区住民
	【成果と課題】 年1回の予定であったが、今年度新たな事業として立ち上げた「すまいるウォーキング」との共催として2回開催した。 栗橋地区は本地区と同ブロックであることから、来年度も栗橋公民館との交流を		

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	主として、協議のうえメニューを決定する。また、ほかの公民館との交流事業も積極的に開催したい。		
	鵜住居地域交流会	新たな地域に定着した事業を目指し、幅広い年齢層を対象として交流を図る。	鵜住居小学校を活用し、地域住民との世代間交流会を図る。 〔時期〕 12/9（金） ボッチャ交流会 57人 （鵜住居小学校1・2年生47人、地域住民10人） 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居小学校、鵜住居地区住民
	【成果と課題】 昨年に引き続き、小学生と地域住民の交流促進を目的に実施した。地域交流会としてボッチャを実施したが、地域住民も小学生も積極的に交流し、声を掛け合い、終始笑顔があふれる会となった。今後も継続して交流の機会を持つことが望まれていることから、実施内容や時期などは、学校と関係を密にして、早めに調整する必要がある。来年度以降もコロナ感染予防対策を行った上で交流会を継続したい。		
	陸中国鵜住居村	使われていない農地等を活用し世代間交流を図る。	〔時期〕 — 〔場所〕 鵜住居地区内 〔対象〕 鵜住居地区住民ほか
	【成果と課題】 農地の確保に奔走したが、鵜住居公民館から徒歩圏内での適地が見つからず、今後も事業実施が困難であることから、事業自体を廃止とすることとした。		
	おーい！むかしっ子教室	地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子ども達に継承・伝承するとともに世代間の交流を図る。	小正月の伝統行事として「みすき団子作り」を行う。 〔時期〕 1/13（金） 鵜住居学童育成クラブ1～3年 14人 鵜住居地域住民 10人 鵜住居男の手料理教室メンバー 7人 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居学童育成クラブ 鵜住居地域住民 男の手料理教室

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
	【成果と課題】 地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子供たちに継承・伝承すると共に、世代間の交流を図ることを目的として始めた新規の事業。今年度は、小正月の伝統行事として「みずき団子づくり」を子ども達と地域住民とで行い地域に受け継がれてきた食文化や風習を伝承することができた。鵜住居地区の男の手料理教室との共催としたこと、また地域住民との「かるた大会」も併せて行ったことにより、世代間の交流を図ることもできた。 今後も継続して実施することへの要望もあり、実施する際は、対象、実施内容、時期など、関係者と早い段階で協議する必要がある。来年度以降もコロナ感染予防対策を行った上で開催を継続したい。		
防災や生活環境に関する学習	鵜住居防災学習	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	上期は、すまいるウォーキングとの共催により「防災ウォーキング」を実施した。 下期は、地区内町内会を対象として鵜住居地域会議との共催により防災学習講座を開催予定。 ◎防災ウォーキング 〔時期〕 9/1（木） 参加人数13人 〔場所〕 鵜住居町内 〔対象〕 鵜住居地区住民 ◎防災学習講座 〔時期〕 3月中旬 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区町内会
	【成果と課題】 上期は、すまいるウォーキングとの共催で防災ウォーキングとして実施した。ウォーキングコースを、東日本大震災津波時の釜石東中学校及び鵜住居小学校の生徒の避難ルートと鵜住居町内の津波災害緊急避難場所として、要所要所で説明を加えながらコースを巡ることで、津波避難の大切さを再確認するとともに、津波避難の意識付けが図られた。 下期は、市防災危機管理課を講師に防災学習講座を開催予定。（避難所運営ゲームの予定） 防災学習は同じ内容のものを繰り返し行くと事業自体が先細りしていくので、防災危機管理課の職員と相談しながらメニューを検討する。		

5 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始は水道管凍結防止のため貸館休止） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人等

6 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 5/20（金）、2/20（月） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 6/2（木） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとりの」発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。（11/15号から紙面リニューアル） 〔時期〕 毎月1回 15日発行 〔対象〕 鶴住居地区住民
	自主サークル活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：14団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり
	鶴住居地域会議との連携	鶴住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携しまちづくりを進める。	鶴住居地域会議との連携事業 〔時期〕 ◎釜石東中学校学習サポート 夏休み 7/25（月）、8/2（火）、8/3（水）

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			参加者延22人 冬休み 12/26（月）、 12/27（火）、1/6（金） 参加者延64人 〔場所〕 鶴住居公民館、釜石東中学校 〔対象〕 鶴住居地域会議 ◎鶴住居防災学習 防災学習講座 〔時期〕 3月中旬 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区町内会
	【成果と課題】 「釜石東中学校学習サポート」及び「鶴住居防災学習」事業で鶴住居地域会議と連携して取り組んだ。 釜石東中学校学習サポート事業は、子どもたちの育成という面で、今後も継続が望まれる事業であることから、よりよいものとなるよう、学校、講師の先生と協議し内容のブラッシュアップを図りながら継続したい。 鶴住居防災学習事業は、3月中旬の開催を予定。		
	ボランティア団体等の受入	関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域を支援する。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】 今年度は音楽の力によるコンサートへの共催のほか、早池峰高校と釜石市社会福祉協議会が開催した早池峰神楽等披露への協力、総務省主催事業の簡単!スマホ教室への共催により事業を開催した。今後、コロナ禍が終息に向かうにつれ、ボランティア団体等の受け入れも増えてくるものと思われることから、相談や依頼に応じて随時検討する。		

7 コミュニティ支援員自主開催事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
被災地を取り巻く地域住民の交流機会の創出と地域コミュニティ推	復興住宅ひまわり会	被災者間の交流機会の創出、復興住宅世帯と地域（再建・既存）世帯との交流促進並びに介護予防的	〔時期〕 毎月第2（木）・第4（金） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 復興住宅（集合・戸建）、 再建世帯、既存世帯を含めた 鶴住居地区住民

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
進事業の促進		なサロン開催を行う。	参加延人数 252人
	復興住宅 プランター 菜園野菜作り	復興住宅世帯（集合）に於、野菜作りや花を育て愛でる環境を整えプランターを活用した菜園設営。	〔時期〕 春季～秋季迄不定期開催 月1回程度 計7回 実施 〔場所〕 鶴住居復興住宅1号棟 花壇付近プランター設置個所 〔対象〕 復興住宅世帯 参加延人数 39人
	仮宿ひだまり会	半島部限界集落ではあるが、地域での交流活動が皆無であることから介護予防的な交流サロン（高齢者）展開。	〔時期〕 漁業集落であることから繁忙期は休止とし年間を通し半年間程度の活動。計6回実施 〔場所〕 仮宿分館 〔対象〕 地域住民 参加延人数 26人
	【成果と課題】 現状、被災者と既存世帯との地域交流に特化した事業形態を模索しながら遂行できているが、今後、継続が懸念される半島部での地域交流サロンについて活性化（新規参加者を募る）の為のアプローチを図る。 現行の参加者よりお声がけ頂く事を含め、新規参加を促進すると共に、高齢者の居場所づくりと介護予防、交流機会を提供、推進とする。		

8 事業評価

① 事業評価と今後の課題

② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③	地域課題の解決	登録サークル数	活動参加者数	地域会議共催活動
④	団体の活性化			—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和3年実績	令和4年実績	増減率
講座開催数(主催分)	50回	55回	110%
参加者数(人数/1回)	10.5人	12.9人	123%
子ども世代の講座数	15回	6回	40%
大人世代の講座数	35回	49回	140%
地域会議共催活動	12回	6回	50%
登録サークル数	13団体	14団体	108%
活動参加者数(人数/1回)	7.8人	15人	192%
連携団体数	11団体	8団体	73%
連携事業数	8事業	11事業	138%

《変動の要因》

① 講座開催数について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により休止していた講座の再開、健康教室及び100歳体操実施団体の増加及び新規事業の立ち上げによる開催数の増。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う講座の中止、開催調整による開催数の減。

② 参加者数について

参加者数の取り方は、「子育て広場」、「わんぱく子ども教室」、「釜石東中学校学習サポート」「あつまれ！鵜住居の杜」、「おさんぽの会」、「すまいるウォーキング」、「ふるさと探訪」、「鵜住居交流講座」「出張公民館事業」、「歴史を語る会」、「男の手料理教室」、「実年ひろば」、「市内公民館交流事業」、「鵜住居地域交流事業」、「お～い！むかしっ子教室」、「鵜住居防災学習」の平均値で算出している。

③ 地域会議活動について

例年共催している「釜石東中学校学習サポート」と「鵜住居防災学習」に協力を得て実施。
(回数を日数として算出)

④ 登録サークル数について

4月に新しく「鵜住居囲碁同好会」が登録したことによる増加が要因。

⑤ 連携団体、連携事業数について（主な連携先）

- ・ 「わんぱく子ども教室事業」・・・鵜住居小学校
- ・ 「釜石東中学校学習支援サポート」・・・釜石東中学校、（一社）子どものエンパワメントいわて
- ・ 「各種健康教室」・・・釜石市体育協会
- ・ 「男の手料理教室」・・・釜石地方森林組合、明治安田生命
- ・ 「あつまれ！鵜住居の杜」・・・社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、明治安田生命（2回）、社会福祉法人岩手徳栄会（三峯の杜）、
- ・ 「鵜住居地域交流会」・・・鵜住居小学校
- ・ 「お～い！むかしっ子教室」・・・鵜住居学童育成クラブ

釜石市立栗橋公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

公民館は、地域づくりの拠点施設であり、地域の方々や学校、各諸団体と連携を図り、生涯学習施設及びふれあいの場として学習や活動を行う教育施設です。

そのため、地域での市民ニーズに応じた地域の特性を活かした多様な学習機会や活動機会を提供し、生涯学習と生涯スポーツの拠点として、その機会と場の提供に努めます。

また、学びを通じて、生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりなどが地域に広がるよう取り組みを推進します。

さらに、地域の伝統文化、自然及び人とのふれあい交流活動の展開を大事にしながら、「心豊かな人づくり」・「心ふれあう人づくり」・「心ふれあう古里づくり」を目指して、公民館活動の一層の充実を図ります。

2. 重点目標

- (1)地域の団体などと連携・協力し、地域の資産を活かした特色ある公民館事業や地域の行事を共催で実施することで、地域住民の交流と豊かな地域づくりを目指していく。
- (2)地域の方々の自主的な活動を支援するとともに、楽しんで参加してもらえるような魅力ある事業や地域の特色を活かした事業を企画し、人と人とが交流することで地域の活性化を図る。
- (3)行政機関や社会福祉協議会などと連携・協力し、高齢者の健康寿命を延ばし健康で健やかな生活を過ごせるような事業を企画し、高齢者の社会参加と健康の維持・増進を図る。
- (4)地域における伝統文化、自然及び人とのふれあい活動を一層進め、郷土を理解し郷土を愛する心の醸成に努める。
- (5)学校、PTA 及び児童生徒との連携を踏まえ、豊かな経験の場の機会提供に努める。

II 事業報告

1 乳幼児期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	こども健康相談（子育て広場）	育児中の親子が集まる場を提供し、お互いの交流をはかるとともに子育てに関する相談に応じる。	時期] ①6/23、歯科講話と個別相談 ③10/27、11/4 アロマ芳香剤・子どもの事故予防講話 (②8/25 は中止) [場所] 鶴住居保育園子育て支援センター [対象] 乳幼児及びその保護者 [参加] 乳児 10 組 (20 人) 幼児 12 組 (26 人) ※栗橋地区 0 組

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 感染予防で人数制限もあったため、乳児と幼児とに分けて実施。年齢によって講話の内容に違いがあるため、ちょうど良かった。育児相談や参加者同士の交流の場になった。当地区の出生数は年度によって異なるが、交流の場になるため、継続していく。		

2 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
防災や生活環境に関する学習	【山びこふれあい教室】 どんぐり苗の植樹	自然に親しみ、郷土愛護の心を育む。	[時期] 5月30日(月) [場所] 橋野町和山 [対象] 栗林小児童・教員・PTA等 [参加] 37人
	【成果と課題】 栗林小学校児童が和山地区へどんぐり苗の植樹を行い、森林の保水力など環境に与える影響を学んだ。		
	【山びこふれあい教室】 水生生物調査	身近な河川の水環境を体験し、河川への親しみや水環境保全意識の啓発の機会を提供する。	[時期] 8月23日(火) [場所] 鶴住居川轟橋付近 [対象] 栗林小児童・教員等 [参加] 17人
	【成果と課題】 栗林小学校児童が水生生物調査を行い、水環境保全の大切さを体感した。 大雨による河川増水があり、早朝に河川確認を行い、2度の順延措置をとった。		
食育の推進	【山びこふれあい教室】 そば打ち体験	郷土の食文化に対する理解を深める。	[時期] 11月30日(水) [場所] 栗林小学校家庭科室、廊下 [対象] 栗林小学校児童等 [参加] 15人
	【成果と課題】 そば粉を練るところから切るところまで、講師の指導を受けながら児童が自ら楽しみながら行った。粉の分量が難しく、切るところは難儀する児童もいたが、初めて体験した児童は楽しみながら作業を行った。また、講師役である地元住民及び地域おこし協力隊員と、児童との交流も出来て有意義な事業であった。		

3 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
芸術文化活動の推進	【山びこ女性教室】実用小物製作	女性の感性を生かした小物製作に取り組み、潤いのある生活を目指すとともに、家庭や地域社会での実生活に役立てる。	[時期] 9月下旬(中止) [場所] 栗林小学校 [対象] 栗林小学校 PTA 女性部
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
	【山びこふれあい教室】クリスマス映画鑑賞会	新たな興味や関心を抱かせるような学びや芸術鑑賞により、生きがいつくりに繋がる場を提供し、生き生きとした生活が送れるように支援する。	[時期] 12月23日(金) [場所] 砂子畑さんあいセンター [対象] 地域住民 [参加] 11人
	【成果と課題】 釜石市立図書館が所蔵する外部貸出可能DVDの映画鑑賞会を行った。農閑期における事業の1つとして好評だった。長時間の鑑賞のため、ホールの脇にゴザ及び座布団も準備し、自由にお使い下さるよう案内したが、参加者全員、パイプ椅子に座って鑑賞した。最初から座席最前列に配置しておけば良かったと思われる。		
	心・ふれあいコンサート	(歌声(アルト)とピアノ)のコンサートを通じて、潤いのある生活を体験する。	[時期] 9月3日(土) [場所] 橋野ふれあいセンター(ホール) [対象] 地域住民 [参加] 35人
	【成果と課題】 (公財)音楽の力による復興センターとの共催事業で開催した。栗橋公民館としては、このようなコンサートは初開催であった。反応は好評で、参加者からまた開催して欲しいとの要望があった。栗橋地区でもこのような事業のニーズがあることが分かったので、今後も継続して実施していきたい。		
	春まち・ふれあいコンサート	歌声(アルト)とピアノのコンサートを通じて、潤いのある生活を体験する。	[時期] 2月15日(水) [場所] 橋野ふれあいセンター(和室) [対象] 地域住民 [参加] 19人
	【成果と課題】 (公財)音楽の力による復興センターとの共催事業で、9月に開催した同コンサートが好評で住民からの要望が高かったこともあり、同じ出演者で第2回目となるコンサートを開催した。 2月の開催は、多目的ホール(体育館)では寒過ぎるために、和室に変更した。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	TETTO お出かけコンサート	ヴァイオリンコンサートを通じて、潤いのある生活を体験する。	[時期] 10月24日(月) [場所] 栗橋地区基幹集落センター [対象] 地域住民 [参加] 18人
	【成果と課題】 釜石市民ホールの「TETTO お出かけコンサート」を開催した。9/3開催の心・ふれあいコンサートの会場は橋野ふれあいセンターで実施したことから、今回は栗林町にある栗橋地区基幹集落センターで開催した。観客のほとんどがヴァイオリンの生演奏を聴いたことのない方々で、生演奏を非常に喜んでいて、橋野町住民の数名から参加したいが、栗林町までの移動手段がないので送迎を依頼したいとの要望があった。		
	ソプラノ歌手コンサート	ソプラノ歌唱コンサートを通じて、潤いのある生活を体験する。	[時期] 11月5日(土) [場所] 砂子畑さんあいセンター [対象] 地域住民 [参加] 20人
	【成果と課題】 社会福祉協議会コーディネーターからの紹介により開催した。音楽関係コンサートを連続して開催することになったため、会場を変更して砂子畑さんあいセンターで開催した。本場ソプラノ歌手の歌声に会場は感動に包まれていた。また、東日本大震災で被災された方への鎮魂の曲には涙を流しながら聞き入っており、是非、来年も開催してもらいたいとの要望があった。		
成人の健康づくり	健康相談	心身の健康に関する個別の相談や検診結果の説明や、健康に関する講話を行い、健康管理に役立てる。	[時期] 定例開催：20回(2ヶ所)、 6回(中村友幸クラブ) 随時：0回 [場所] 橋野ふれあいセンター、栗林地区コミュニティ消防センター、中村分館 [対象] 地域住民 [参加] 定例開催：46人(中村は除く)
	【成果と課題】 健康相談や講話の他、社会福祉協議会の協力を得て、レクリエーションも取り入れて行った。参加者は固定、減少傾向にあるため、事業の実施方法について、検討していく必要がある。		
	橋野ぴんしゃん組	なじみの人たちとの集いや語らいを通じて元気な心と健康な体を保ち主体的な健康づくりと地域の健康活動推進をめざす。	[時期] 未定(年間5回程度) [場所] 橋野ふれあいセンター [対象] 橋野地区住民 [内容] 生活習慣予防(減塩、糖尿病他)健康クッキング、認知症講座、軽スポーツ等

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
	リフレッシュ ヨガ体験	心と身体のリフレッシュ を図る。	[時期] 9月下旬 (中止) [場所] 橋野ふれあいセンター [対象] 地域住民 [内容] ヨガ
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
	男の料理教室	調理実習を通して交流の 場を広げるとともに、自 らの健康保持・心身のリ フレッシュを図る。	[時期] 10月下旬 (中止) [場所] 橋野ふれあいセンター、栗橋地区 基幹集落センター [対象] 地域住民
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		

4 高齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
高齢者の生 きがいつく り・健康づ くり	【山びこ生き 生き教室】 みんなの輪交 流会	スポーツを通じて、地域 住民との交流を深め、自 らの健康保持を図る。	[時期] 10月21日(金) [場所] 栗橋地区基幹集落センター [対象] 地域住民 [内容] ボッチャ [参加] 12人
	【成果と課題】 地域住民 12 人が参加し、パラリンピックで人気となったボッチャで交流を図った。 参加者の約 2/3 が初めて体験する人であったが簡単なルールと戦術性の高さから全員で 楽しむことができた。		
	【山びこ生き 生き教室】 干し柿づくり	地域住民が気軽に集うこ とができる場を提供し、 住民同士の交流を深め る。	[時期] 11月 (中止) [場所] 橋野ふれあいセンター、栗橋地区基 幹集落センター [対象] 地域住民
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
文化財の保 護と活用	【山びこ生き 生き教室】 史跡めぐり研 修会	史跡や文化財等に対する 知識と関心を深め、地域 の史跡や文化財保護の重 要性について啓発する。	[時期] 未定(1回程度) (中止) [場所] 県内の歴史遺産、産業施設等 [対象] 地域住民
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		

5 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の 創出・地域 ぐるみの子 育てへの支 援	【山びこふれ あい教室】 餅つき大会	昔ながらの伝統行事を体 験する。	[時期] 4月中旬 (中止) [場所] 栗橋地区基幹集落センター [対象] 栗林小学校児童等
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
	【山びこふれ あい教室】 ふるさと再発 見地域学習会	郷土の良さを再発見し、 郷土愛護の心を育む。	[時期] 10月1日(土) [場所] 砂子畑銭座跡、栗林層 [対象] 栗林小学校児童・PTA等 [参加] 21人
	【成果と課題】 地元住民でも普段はあまり行かないスポットを訪れ、知られざる地元の名跡や名所について講師から解説を受け、郷土愛護の心を育んだ。化石採集体験も行い、一同夢中になって楽しみながら化石を探していた。		
	【山びこふれ あい教室】 防災について 学ぼう	災害に備え、防災知識を 身に付ける。	[時期] 7月28日(木) [場所] ①橋野ふれあいセンター ②栗橋 地区基幹集落センター [対象] 地域住民 [参加] ①6人、②7人
	【成果と課題】 計画段階から参加者があまり多くないことが想定され、会場を1ヶ所で開催することも検討したが、講師を派遣する防災危機管理課と相談したところ、参加人数が少なくても2会場で開催して構わないとの協力を受け、2会場で開催した。 現物の避難道具の展示と解説があり、参加者から非常に参考になったとの意見があった。		
	【山びこふれ あい教室】 ニュースポー ツ交流会	ニュースポーツを通じて 市民の親睦を深めると共 に健康増進と健康寿命の 推進を図る。	[時期] 41月頃 (中止) [場所] 市民体育館 [対象] 地域住民
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して開催を見送った。		
	【山びこふれ あい教室】 ラベンダー小 物づくり	初夏の風物詩であるラベン ダーを使い、小物づく りを通じて、香りによる リラクゼーションと生き がいつくりに繋がる場を 提供する。	[時期] 7月16日(土) [場所] 橋野鉄鉱山インフォメーションセ ンター前 東屋 [対象] 地域住民 [内容] ラベンダーステックづくり [参加] 7人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 あいにくの大雨であったが、東屋の屋根で雨をしのぎながら、ラベンダーの香りに癒されながら、楽しく小物づくりを実施できた。雨天でなければ、参加者自身によるラベンダー摘み取り体験を行う予定であり、今回は残念であった。また、今年度のラベンダーは事業開催日直前まで生育状況が芳しくなく、幸い開催日には盛り返したものの、自然をテーマとした事業における課題の一つと感じた。		
	【山びこふれあい教室】 手話に親しもう	簡単なコミュニケーションを覚え、手話に親しむ。	[時期] 40月中旬 (中止) [場所] 橋野ふれあいセンター 栗橋地区基幹集落センター [対象] 地域住民 [内容] 手話による挨拶や手話ソングの体験
	【成果と課題】 栗林小学校と協議した結果、隔年を目途に実施することとし、今年度は中止した。		
	【山びこふれあい教室】 パソコン操作何でも相談	パソコン操作の相談に応じます。	[時期] 随時 [場所] 栗橋地区生活応援センター [対象] 地域住民 [参加] 5人
	【成果と課題】 パソコンを使った文書作成、表作成、図形挿入などの相談に随時対応した。		
	鶴住居公民館 合同事業「すまいるウォーキング」	身近なウォーキングスポットを歩き、住民間の交流と健康推進を目的とする。	[時期] 8月4日(木) [場所] 橋野町横内地区コース [対象] 地域住民 [参加] 13人(うち栗林住民3人)
	【成果と課題】 鶴住居公民館との合同事業として実施し、住民間の交流も目的として設定した。しかし、普段から定例的にウォーキングしている方にとっては、自分の体力に合ったペースで、一人で落ち着いてウォーキングしたいという意向が強いようであった。鶴住居地区参加者は、コース途中にある古里の御神楽スギを初めて見た方がほとんどで、その大きさに感動していた。		
	橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育樹祭	橋野鉄鉱山に関連する森林整備活動を通じて、世界遺産「橋野鉄鉱山」の啓蒙を図る。	[時期] 10月22日(土) [場所] 橋野鉄鉱山1番高炉跡の北側一帯の杉林 [対象] 地域住民及び森林関係者 [参加] 38人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 国、県振興局、市役所、森林関係事業者、一般住民などが一堂に会して事業開催できた。作業安全を確保するために、チェーンソー等で本格的に伐採するエリアと、手ノコギリで枝打ちするエリアの2エリアに厳密に分けて環境整備作業を行なった。		
	そば打ち体験 学習	住民に様々な体験をする機会を提供することで、心豊かで健康な生活を送れるよう支援する。	[時期] 12月26日(月) [場所] 橋野ふれあいセンター 調理室 [対象] 地域住民 [参加] 5人
	【成果と課題】 講師を確保できたことから、新規事業として開催し、みな楽しみながら実施できた。5人の参加者でそれほど多くないと思っていたが、始まってみると、半数が初体験者であったためか、講師1人で参加者5人の指導は精一杯の様相であった。		

6 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
文化財の保護と活用	【山びこふれあい教室】 世界遺産「みんなの橋野鉄鉱山」清掃活動と学習会	世界遺産に登録された「橋野鉄鉱山」の環境整備を行うとともに、価値を理解し外部に発信する。	[時期] 6月4日 [場所] 山神社周辺及び橋野鉄鉱山インフォメーションセンター [対象] 一般市民等 [参加] 20人
	【成果と課題】 地域住民と関係機関と協同作業により山神社の鳥居付近の水路等の浚渫、石碑付近の歩道の整備、三番高炉跡付近の見学道の土砂埋めを行なった。その後、インフォメーションセンター内で『橋野鉄鉱山の山神社』を題目とした講演会を実施し、広報誌により外部発信を行なった。		

7 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	栗橋公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき審議を行う。	各種事業の企画及び実施に係る調査審議 [時期] 年2回 ① 5月26日(木) ②2月28日(火) [場所] 橋野ふれあいセンター [対象] 公民館運営審議会委員 [参加] ①6人 ②5人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 公民館事業の運営について、継続事業の評価のほか新規事業の提案など活発な審議が行われた。		
生涯学習ネットワークの形成	自主活動グループ等の支援	地域住民団体の自主的な生涯学習活動を支援する。	[時期] 通年 [場所] 管内集会施設 [対象] 一般市民（自主活動グループ） 令和4年4月1日現在9団体 ① 橋野ピンポンクラブ（卓球、橋野ふれあいセンター、毎週日曜日） ② 沢田シニア栗楽部（軽運動、栗橋地区基幹集落センター、毎週火曜日） ③ 上栗林百歳体操苦楽歩（百歳体操、上栗林集会所、毎週月・木曜日） ④ 橋野百笑クラブ（百歳体操、橋野ふれあいセンター、毎週火曜日） ⑤ 中村友幸クラブ（百歳体操、栗橋公民館中村分館、毎週金曜日） ⑥ 橋野札場の会（男の料理、橋野ふれあいセンター、不定期） ⑦ 砂子畑さんあいクラブ（百歳体操、砂子畑さんあいセンター、毎週月曜日） ⑧ 橋野ひまわりクラブ（百歳体操、橋野ふれあいセンター、毎週月・金曜日:夜） ⑨ 沢田百歳栗楽部（百歳体操、栗橋地区基幹集落センター、毎週金曜日）
	【成果と課題】 新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、活動を休止した団体や時期も一部あったが、グループの代表者らが会員を上手く盛り上げ継続して活動することができた。		
	栗橋公民館だより『みどり通信』の発行	公民館事業や地域活動などの周知を図る。	『みどり通信』の発行・配布：栗橋地区の行政連絡員を通じて地域住民に配布するとともに市ホームページに掲載、地域活動の周知を図る。 【時期】 月1回、毎月15日発行
	【成果と課題】 年間を通じて栗橋地区全戸に配布した。公民館事業や地域の活動などについて引き続き情報提供を行なった。		

釜石市立唐丹公民館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1 運営方針

釜石市の生涯学習行政の方針をふまえ、地域の生涯学習を推進する機関として、また地域における諸団体の活動の重要な拠点として、公民館の機能が十分に発揮されるように努める。

あわせて地域住民や関係機関との連携と協調を図り、地域の文化や生活の向上と、いきがいのある充実した豊かな人生を創造できるよう諸事業の充実に努める。

また、地域住民の話し合いや行動の場として設置されている「唐丹地域会議」や「唐丹駐在所連絡協議会」の活動を通じ、地域との協働による「健康で安全に安心して暮らせるまちづくり」に向けた各種施策や、地域コミュニティの維持・継続を図るための様々な活動を展開し、支援する。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策を図り、安全安心な公民館事業の運営に努める。

2 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、地域住民とともに歩み、地域住民に役に立つ公民館活動を推進する。
- (2) 訪問活動や健康相談、各種講座を開催し、一体的な健康づくり事業を推進する。
- (3) 地域の歴史・文化の発掘および資料の収集・保存に努め、積極的に紹介し、財産の共有を図る。
- (4) 世代間および他地域との交流を推進し、相互の豊かなふれあいを深め、活動の活力とする。
- (5) 生きがいや自己表現の場としての自主グループ、サークル活動への援助育成を図る。
- (6) 諸事業を推進するにあたり、関係諸機関との相互協力関係を密にし、効果的な運営を心掛ける。
- (7) 地域住民が孤立することのないよう、見守りを行う。
- (8) 地域で開催される各種行事等への支援を行う。
- (9) コロナ禍で地域行事やイベントの中止・縮小が続く中、地域コミュニティが失われないような地域支援を行う。

Ⅱ 事業報告

1. 乳幼児期～学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域交流と 地域資源の 活用	「唐丹寺子屋 教室」事業	地域の生活・文化・自然などについて体験学習を行い、参加者相互の交流を深めるとともに、地域に対する理解を図り、青少年の健全育成の一助とする。	1 農業体験会 【時期】①5月25日(水) ②9月29日(木) 【内容】①田植え ②稲刈り 【場所】川目地区の田んぼ 【対象】唐丹小5年生・児童館・一般市民 【講師】唐丹町内の農家 【協力】花巻農協釜石支店・農家組合など 【参加者】①49人(うち子ども14人) ②37人(うち子ども14人) 2 ホタル観察会 【時期】6月30日(木) 【場所】小澤ラベンダーファーム(山谷) 【講師】小澤孝行さん 【対象】園児・小中学生・一般市民 【参加者】34人(うち子ども19人) 3 人型ロボット「Pepper」と 夏休みプログラミングを学ぼう 【時期】8月4日(木) 【場所】公民館集会室 【対象】唐丹小5・6年生 【協力】社会福祉法人清風会・ソフトバンク(株)・平田公民館 【参加者】9人(子ども9人) 4 鎮魂と平和の鐘を鳴らそう座禅会 【時期】8月5日(金) 【場所】盛岩寺 【対象】小中学生・一般市民 【講師】三宅俊禅氏(盛岩寺住職) 上野副住職 【共催】釜石ユネスコ協会

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			【参加者】34人(うち子ども14人) ◇流しそうめん大会 ・◇海水浴&シーカヤック体験会(7/31) ※コロナウイルス感染予防のため中止
	【成果と課題】 ・5年目となった農業体験(田植え・稲刈り)は、唐丹小学校5年生と地域の方々と一緒に行った。地元の農家や花巻農協の協力により開催することができた。田植え、稲刈り以外は、協力してくださる地元の方の協力無しには実現しない事業であるが、できる限り継続していきたい。 ・できる限り、学童や児童館と連携して事業に取り組んできたが、来年度は児童館が休止になる予定であり、新たな事業ニーズについても学校や児童館と連携していきたい。		

2. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域交流と生涯学習の推進	「生き生き学級」事業	地域住民が相互の理解と親睦、連帯意識の高揚を図りながら学習し、明るく生き生きと生活ができるようにする。また地域資源の発掘・活用を通して地域住民の交流を図る。	1 畑でお茶っこサロン 【時期】①4月19日(火) ②5月16日(月) ③6月6日(月) ④7月25日(月) ⑤8月22日(月) ⑥10月11日(火) ⑦10月17日(月) ⑧11月14日(月) 【内容】お茶っこ・苗植え・種まき・収穫等 ①じゃがいも植えの会 ②夏野菜の会 ③さつまいもの会 ④じゃがいも収穫の会 ⑤大根白菜種蒔き ⑥にんにく植付 ⑦さつまいも収穫の会 ⑧だいこんなどの収穫 【場所】川目地区の畑 【対象】唐丹児童館・地域住民 【参加者】①24人(うち子ども2人) ②14人 ③6人 ④19人(うち子ども2人) ⑤11人 ⑥15人 ⑦20人(うち子ども2人) ⑧21人(うち子ども2人)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			2 そば打ち体験会 【時期】①6月23日(木) ② 11月17日(木)③11月25日(金) 【場所】公民館 【対象】地域住民・児童館園児 【参加者】①10人(うち子ども2人) ③ 9人(うち子ども2人) ③ 6人 ④ 3 ラベンダー園見学会 【時期】7月13日(水) 【場所】小澤ラベンダーファーム(山谷) 【対象】地域住民・児童館 【講師】小澤孝行さん 【参加者】11人(うち子ども2人) 4 五葉登山会 【時期】7月30日(土) 【場所】五葉山(赤坂コース) 【対象】一般市民 【共催】釜石・平田公民館 【協力】市山岳協会 【参加者】15人(うち子ども2人) 5 来てけらっせん!とうに音楽会 【時期】①9月6日(火) ②2月19日(日) 【内容】ピアノ・歌 アルト 【場所】公民館 【対象】地域住民 【共催】(公財)音楽の力による復興センター・東北 【参加者】①22人 ② 23人 6 「唐丹公民館でクッキング」 【時期】9月20日(火)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			【内容】じゃがいも餅・かぼちゃ餅・スイートポテトなど 【場所】公民館調理室 【対象】地域住民 【講師】互野管理栄養士（健康推進課） 【参加者】9人 7 季節のウォーキング 【時期】10月6日（木） 【内容】親ぼくを深める 秋のとうにウォーキング 【場所】唐丹町内 【対象】唐丹・鶴住居地域住民 【共催】鶴住居公民館 【参加者】36人（うち子ども2人） 8 唐丹交流映画会 【時期】①10月11日（火） ②12月6日（火） 【内容】①いつでも夢を ②母べえ 【場所】公民館 【対象】地域住民 【共催】みやこ映画生活協同組合 【参加者】①13人 ②20人 9 干し柿づくり 【時期】①11月15日（火）・16日（水） ②12月12日 【内容】①柿むき・吊るし ②柿もみ・パック詰め 【場所】公民館 【対象】地域住民 【参加者】①35人 ②22人 10 唐丹産直市 【時期】11月15日（火）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			【内容】唐丹町内で収穫された作物販売 【場所】公民館 【対象】地域住民 【協力】荒川地区の農家 【参加者】 60 人 11 唐丹町民スカットボール大会 兼平田・唐丹交流大会 【時期】11 月 19 日（土） 【場所】唐丹小・中学校体育館 【対象】平田・唐丹地域住民 【共催】唐丹すぽこんクラブ・平田公民館 【参加者】58 人（うち子ども3人） 12 ものづくりサロン 【時期】①5 月 24 日（火）・7 月 26（火）・ 8 月 30 日（火）・9 月 27 日（火） ②12 月 19 日（月） 【内容】①つるし飾り作り（4 回） ②しめ縄づくり 【場所】公民館 【対象】一般市民 【講師】①鈴木玲子さん ②大萬清さん 【参加者】①13 人・12 人・9 人・7 人 ②20 人 13 パソコン・スマホ教室 【時期】1 月 25 日（水） 【内容】スマホの基本／LINE 【場所】平田公民館 【対象】平田・唐丹地域住民 【講師】ソフトバンク株式会社 【共催】平田公民館 【参加者】5 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			14 お食事交流会 【時期】①12月16日(金) ②1月13日(金) ③2月3日(金) 【内容】(季節に合わせ内容) ① クリスマス会 ②みずき団子 ③節分餅つき 【場所】公民館 【対象】地域住民 【参加者】①36人 ②30人(うち子ども10人) ③27人(うち子ども2人) ◇ペーパーナイフを作ろう ◇鵜住居復興スタジアム観戦ツアー ◇パンづくり講座 ◇「唐丹の日」地域安全大会&公民館祭り ※コロナウイルス感染予防のため、 またその他の事情により中止
	【成果と課題】 ・コロナ禍であり、「唐丹の日」&公民館祭りなど、大きな行事を中止にした。その中でも、外で開催する五葉山登山の再開や畑など積極的に開催してきた。今後も地域コミュニティの維持や高齢者には閉じこもり予防やつながる場づくりのためにもできる限り事業実施に努めていきたい。 ・事業は、地域の方々の協力で開催できており、準備が必要な事業は積極的にサポートして下さる方に支えられている。		
	「体験唐丹の歴史」事業	地域の歴史的遺産や文化財を訪ね、歴史や文化、風習などを学び、地域理解を図る	1 奇巖亭の見学と清掃 【時期】6月13日(月) 【場所】白崎 奇巖亭跡 【対象】地域住民 【講師】唐丹の歴史を語る会 文化振興課 【参加者】9人 ◇唐丹歩き(歴史ウォーキング) ◇民話・昔話を聞こう ※コロナウイルス感染予防のため中止

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 今年度は、奇巖亭の見学と清掃以外は中止とした。地域の歴史を学ぶ機会は重要であり、事業の核として考え、今後は市の文化財担当や唐丹の歴史を語る会と連携して実施していきたい。		
安心なまちづくり	保健事業	唐丹町民が住み慣れた地域において健康で安心して暮らせることを目指して、随時保健師等が家庭を訪問する。 また保健師、栄養士、歯科衛生士等が心身の健康及び介護に関する個別相談に応じ、家庭における健康管理や介護を支援する。	1 健康相談(来所・電話)・健康教育 【時期】各地区月に2回程度 その他随時 【場所】各地区集会所等 【対象】全住民 【内容】簡易検査・栄養相談・介護相談・心や体の健康に関する講話・新型コロナウイルス感染予防教育 など ・健康教育各地区開催分 4/21・28、5/16・18、6/13・15・16、7/14・7/21、9/8・15・9/22、10/20・26、11/17・28・30、12/2・7・13・14・21、1/18・19・24、2/8・16 計27回 延べ230人 ・健康相談(来所) 計64人 母子4人 成人0人 高齢者60人 ・健康相談(電話) 計70人 母子10人 成人0人 高齢者60人 2 家庭訪問 【時期】随時 【対象】全住民 【内容】妊産婦及び乳幼児、1人暮らし・高齢世帯・障害者の家庭訪問や電話相談など 計80人 ・母子訪問4人 ・成人訪問1人 ・高齢者訪問75人 3 唐丹地区ケア会議 【時期】月1回

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			【内容】館長、保健師、民生委員、介護事業所ケアマネージャー、社会福祉士等が集まり、町内会ごとに健康管理や介護についての情報交換を行う。(毎月の民生委員協議会終了時に開催) ・6/10、7/8、8/5、9/9、11/11、12/9、 2/10 計7回 【5月、10月は中止】 4 各種検診などの推進 【時期】随時 唐丹地区で実施するガン検診等に従事するとともに、検診をPRし、受診率向上に努める。また、精密検査対象者への受診勧奨を行う。
	【成果と課題】 感染対策を行いながら、健康教育を中心に事業を開催した。感染状況により活動が制限される部分もあるが、できる工夫を行いながら、来年度もケア会議等の見守りや訪問支援等、各地区での活動を継続していきたい。		
健康づくり	唐丹スクラムメイト（地域健康活動推進員）活動支援	自分自身及び唐丹町民の健康づくりについて学び、考え、主体的に活動を進めるスクラムメイトの活動を支援し、健康で生き生きと暮らせる「まちづくり」をめざす。	1 スクラムメイト (R5.2月末現在) 【時期】2カ月に1回程度 【場所】公民館等 【内容・参加人数】 ① 5/10 令和3年度の反省会 メンバー7人 ② 6/14 手芸教室 メンバー6人 一般9人 ③ 7/19 管理栄養士による栄養講話 メンバー5人 一般3人 ④ 9/13 物忘れに関する相談会 メンバー4人 ⑤ 11/22 消費者トラブルに関する講話

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			メンバー3人 一般5人 【10月、2月は中止】
	【成果と課題】 感染対策を行いながら、無理のない範囲で活動を行った。メンバーの高齢化も伴いできる活動は限られつつあるが、希望を聞きながら、今後もメンバーが健康に過ごせるように活動支援を継続して行きたい。		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習の推進と交流の場の創出	唐丹出前公民館	公民館所在地から遠隔地の住民を対象に講座等を実施し、身近な場所で誰でもが利用できる地域の公民館としての役割を果たし、生涯学習を推進し、住み慣れた地域で住み続けることができることを目的とする。	1 出前公民館「あがらせん！」 【時期】 ①10月28日(金) ②11月30日(水) ③12月2日(金) ④12月7日(水) ⑤⑥12月13日(火) ⑦12月21日(水) ⑧1月24日(火) 【内容】 マイナンバーカードの申請・保健師の講話・市税等の受付・お茶っこ など 【場所】 ①⑦大石コミュニティ消防センター ②本郷コミュニティ消防センター ③⑧山谷集会所 ④花露辺集会所 ⑤荒金集会所 ⑥荒川集会所 【対象】 地域住民 【協力】 総務課(マイナンバー担当) 【参加者】 ①15人②18人③10人④12人⑤10人⑥13人⑦12人⑧8人
	【成果と課題】 公民館から離れた地区への事業として、出前公民館を実施した。唐丹公民館の事業や健康チャレンジポイントへの参加者がいない地区へ集まる機会や、学ぶ機会などを設けることで楽しみや交流の場となることも目的とする。地区にはそれぞれ特徴があるが、集まったことや内容へは満足の声も聞かれた。今後も、ニーズを確認しながら続けていきたい。		
社会教育施設の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前8時30分から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館を住民に貸

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
			し出す。 【時期】 通年 【対象】 一般市民 生涯学習活動が目的の団体・個人
	【成果と課題】 コロナ禍ではあるが、年末年始以外は貸館を行った。館内の環境整備と共に季節を感じることができるように努めた。年末には地域の皆さんと一緒に公民館大掃除を行った。利用する方が限られている部分もあり、多くの方が来館できるように周知をしていきたい。		

5. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習ネットワークの形成	広報活動事業	公民館事業の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や地域の情報などを広く紹介する。	公民館だより 【時期】 毎月 1 回 1 日発行 ・ 11 月 15 日号を発行した ※全 13 号発行予定 (3 月 1 日号発行予定) 【対象】 唐丹町全世帯 (634 部印刷)
	自主サークル（自主活動グループ）活動等支援事業	地域住民の自主的な生涯学習活動を支援する。また、新たな自主グループが生まれるように広く住民に周知する。	○自主サークル等活動支援 【登録団体】 15 団体 【時期】 随時 【対象】 登録団体や新たな団体への支援 【新規】 ものづくりの参加者から、新に「ものづくりの会（手芸）」が発足した
	【成果と課題】 今年度は、公民館だよりの発行数を減らした。月 1 度の発行であるため行事掲載などが盛りだくさんとなった。行事だけではない公民館からの発信が必要と考えており取り組んでいきたい。 自主活動グループは、それぞれが主体的に取り組まれている。必要時サポートしていきたい。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進の体制整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	○公民館運営審議会 【時期】①5月31日(火) ②2月21日(火) 【場所】唐丹公民館 【内容】委員による公民館運営等の審議

Ⅲ 事業評価

主 要 な 指 標	単位	目 標 と 実 績					
		2年度		3年度		4年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
唐丹公民館の利用者数 ※1	人	5,500	4,326	4,500	4,079	4,500	3,930 ※2
唐丹公民館の自主グループ数	団体	13	13	13	14	15	15
公民館事業数 ※複数回続くものは1回としてカウント	事業	40	公民館事業 15 保健事業 6	40	公民館事業 25 保健事業 10	30	公民館事業 43 保健事業 34

公民館事業延べ回数 47 回

公民館事業参加人数 1,033 人

※1 窓口のみの利用を除く

※2 令和5年2月20日まで

市立図書館 事業実施状況

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

生涯学習を支え、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の文化、情報の拠点として、多様な利用者や地域社会の要請に応えられるよう、資料や情報の収集、整理、保存及び提供に努める。

2. 重点目標

1 図書館資料

- (1) 利用者の要望、社会の変化及び地域の実情に十分留意し、図書館資料（図書、記録、視聴覚資料その他）の計画的な整備に努める。
- (2) 利用者の利便性の向上を図るため、図書館資料の分類、配架、目録の整備等に努める。
- (3) 貴重な郷土及び震災関連資料の収集、整理等を重点的に実施する。

2 図書館サービス

- (1) 貸出サービスの充実を図るとともに、予約制度や複写サービス等の運用により、利用者の多様な資料要求に的確に応えるよう努める。
- (2) 利用者の情報要求に応えた資料の提供・紹介及び情報の提示等を行うレファレンスサービスや案内サービスなど情報サービスの充実に努める。
- (3) 利用者の生活や仕事に関する課題や地域の課題の解決に向けた活動を支援するため、資料と情報の整備・提供に努める。
- (4) 多様な市民の利用を促進するため、関係機関・団体と連携を図りながら、次に掲げるサービスの充実に努める。
 - ① 児童・青少年に対するサービス
 - ② 高齢者に対するサービス
 - ③ 障がい者に対するサービス
 - ④ 乳幼児とその保護者に対するサービス
 - ⑤ 来館困難者に対するサービス
- (5) 市民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、講座や企画展などを開催し、多様な学習機会の提供に努める。
- (6) 市民の学習の成果を活用する機会の提供と図書館サービスの充実が図られるよう、図書館におけるボランティア活動の促進に努める。
- (7) 図書館に対する市民の理解と関心を高め、利用者の拡大を図るため、広報紙やインターネット等を活用した情報発信等に積極的かつ計画的に取り組むとともに、利用者及び市民の要望を反映した図書館の運営に努める。
- (8) 利用者が安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底に努める。

3 職員、施設・設備、協力・連携等

- (1) 図書館の社会的責任を自覚し、自らの職務を遂行していく図書館員として職員の資質・能力の向上を図り、図書館サービスを充実するため、継続的・計画的な研修の実施に努める。

- (2) 図書館サービスの水準の向上を図り、多様な市民が安全・安心かつ円滑に利用できるよう、必要な施設・設備の確保及び適切な管理に努めるとともに、著作権等の権利の保護や危機管理に適切に対応した運営に努める。
- (3) 高度化・多様化する利用者の要望に対応し、学習を支援する機能の充実を図るため、関係施設・団体・機関等との連携・協力に努める。

Ⅱ 事業報告

1 図書館利用状況（令和5年1月末現在）

(1) 開館日数

令和4年度	令和3年度	対比(増減)
239	241	▲ 2

(2) 延べ人数

	幼児児童	一般	団体等	計
令和4年度	3,519	12,874	508	16,901
令和3年度	3,879	13,088	492	17,459
対比(増減)	▲ 360	▲ 214	16	▲ 558

(3) 1日あたり貸出人数

令和4年度	令和3年度	対比(増減)
68.6	70.4	▲ 1.8

(4) 貸出冊数

令和4年度	令和3年度	対比(増減)
65,308	69,555	▲ 4,247

2 図書館サービス

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
情報提供	企画展・巡回展	情報発信の拠点として様々な情報を市民に提供することを目的として開催	① <図書展>「春、なにかはじめてみませんか？」(資料163点) 新年度、新学期が始まる4月に何か新しいことを始めるきっかけになる入門書、初心者向けの図書などを展示 期間中来館者(887人) 4月 6日(水)～4月20日(水) ② <図書展>「母の日図書展～おかあさんありがとう～」(資料30点) 5月8日の母の日にちなみ感謝を伝える本や「お母さん」が楽しめる図書を展示 期間中来館者(901人) 4月20日(水)～5月 8日(日) ③ <図書展>「いっしょに読もう!親とこどもの読書週間」(資料268点)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			子どもの読書週間にちなみ、親子で一緒に読んで楽しむことのできる絵本などを展示 期間中来館者（1,236人） 4月22日（金）～5月15日（日） ④ <企画展>「しっかり食べよう!－食育・歯と口－」（資料63点） 6月の食育月間と、6月4～10日の歯と口の健康週間に合わせ、市健康推進課と共催で図書やパネルを展示 期間中来館者（799人） 6月 2日（木）～6月15日（日） ⑤ <巡回展>「賢治資料展」（資料60点） 令和元年8月～令和3年7月までの期間に、岩手県立図書館が収集した宮沢賢治関連図書資料60点を借り受け展示 期間中来館者（624人） 6月10日（金）～6月19日（日） ⑥ <企画展>「身近なトコからリサイクル」（資料65点） 環境月間にちなみ、リサイクルと地球環境に関する図書と生活環境課から借用したパネルも展示 期間中来館者（632人） 6月17日（金）～6月28日（火） ⑦ <図書展>「アオハル文学」（資料114点） 中高生が夏休みに入ることから読書感想文の題材選びの一助として、中高生が主人公の小説を展示 期間中来館者（1,509人） 6月23日（水）～7月17日（日） ⑧ <図書展>「七夕図書展」（資料87点） 七夕の日にちなみ七夕に関する絵本や紙芝居、夏の星座に関する本、七夕を楽しむ図書等を展示 期間中来館者（951人） 7月1日（金）～7月16日（土）

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			⑨ <巡回展>「いわての神楽」 (資料60点) 岩手に伝わるさまざまな神楽に関する資料と郷土芸能に関する資料を展示 期間中来館者(632人) 7月8日(金)～7月17日(日) ⑩ <図書展>「夏休み宿題応援図書展」 (資料374点) 夏休みの工作・自由研究等に役立つ本をカテゴリー別に展示し、読書感想文の課題図書等を展示 期間中来館者(1,780人) 7月20日(水)～8月18日(木) ⑪ <図書展>「いわ100図書展」 (資料73点) いわての小・中学生におすすめの本を集めた「いわ100」と「いわ100きっず」で紹介された本の中から、当館で所蔵する図書を展示また冊子「いわ100」と「いわ100きっず」も配布 期間中来館者(1,604人) 7月20日(水)～8月14日(日) ⑫ <図書展>「とびだせ!アウトドアの世界」(資料101点) アウトドアのシーズンであることから、キャンプ、釣り、登山など家の外を楽しむための図書を展示 期間中来館者(1,539人) 7月21日(木)～8月14日(日) ⑬ <巡回展>「手づくり絵本展」 (資料59点) 岩手県読書推進運動協議会が昨年秋の「読書週間」に合わせて岩手県内から募集した「手づくり絵本」を借り受け展示 期間中来館者(330人) 8月4日(木)～8月7日(日) ⑭ <図書展>「同じ空の下、今も戦争が続いているということー過去のあやまちを繰り返さないためにー」 (資料150点)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			戦争は過去も現在もなぜ起きてしまったのか？戦争の残したもの、奪ったものを図書資料で振り返り、釜石の艦砲射撃関連の資料も展示。市郷土資料室のまとめた艦砲射撃の被弾図もパネルにして展示 期間中来館者（1,259人） 8月17日（水）～9月6日（火） ⑮ <企画展>「怖い本」（資料193点） 全分類の中から、ジャンルは問わず「怖い」と感じる本を展示。一冊ずつあらすじなどを書いた帯を作り面見せで展示 期間中来館者（1,094人） 8月19日（金）～9月6日（火） ⑯ <図書展>「だいじょうぶ、1人じゃない」（資料98点） 9月の自殺予防週間に合わせ、ストレス、不安、うつなどの心の不調やメンタルヘルスケア、リフレッシュ方法などの図書を展示。市健康推進課からリーフレットを提供して貰い配布した 期間中来館者（1,175人） 9月8日（木）～9月29日（木） ⑰ <図書展>「一日一笑 ～笑って長生き～」（資料252点） 敬老の日にちなみ読書推進運動協議会が選定した「敬老の日読書のすすめ」リーフレットを参考に、主に高齢者を対象とした図書を展示。また高齢者大学を契機に結成した会による自分史「ふだん記」も展示 期間中来館者（1,175人） 9月8日（木）～9月29日（木） ⑱ <巡回展>「今こそ、縄文」（資料55点） 岩手県残る縄文遺跡と代表的な出土品に関する資料を借り受け展示 期間中来館者（617人） 9月9日（金）～9月18日（日） ⑲ <図書展>「何を読んだらいいの？～あなたにぴったりの本～」

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			(資料126点) 「図鑑や辞典」や「短いお話」などの「あなたにピッタリの本診断」から導き出される11種類の診断結果による図書を展示 期間中来館者(1,611人) 10月26日(水)～11月25日(金) ②⑩ <図書展>「つなみぼうさい図書展」 (資料31点) 11月5日の「津波防災の日」及び「世界津波の日」制定に合わせ、津波対策の理解と関心を深める図書を展示。市防災危機管理課から借り受けた非常食なども展示 期間中来館者(778人) 11月1日(火)～11月15日(火) ②⑪ <企画展>「『調べもの』を知ろう！」 (資料24点) 利用者の調べものを手伝う「レファレンスサービス」を知って貰うことを目的にレファレンス事例や、どのように調べているかを図にして掲示し、またレファレンスで紹介した図書を展示 期間中来館者(960人) 11月17日(木)～12月4日(日) ②⑫ <企画展>「この本さがせるかな？」 (参加人数70人) 図書館に所蔵してある本の情報から問題を作成しくじにして、その本を探して貰う企画。利用者が見つけた本を展示 期間中来館者(960人) 11月17日(木)～12月4日(日) ②⑬ <巡回展>「文学賞受賞図書展」 (資料55点) 令和3年6月から令和4年5月までの間に発表された文学賞のうち岩手県立図書館が所蔵する図書を借り受け展示 期間中来館者(590人) 11月18日(金)～11月27日(日)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			②④<<図書展>>「鉄の記念日図書展」 (資料59点) 12月1日の「鉄の記念日」にちなみ、 釜石の「鉄」に関する図書を展示 期間中来館者(749人) 12月 1日(木)～12月14日(水) ②⑤<<図書展>>「クリスマス図書展」 (資料153点) クリスマスの絵本や、クリスマスを楽し むための図書を展示 期間中来館者(990人) 12月 9日(金)～12月25日(日) ②⑥<<図書展>>「冬休み宿題応援図書展」 (資料377点) 市内小中学校の冬休みに合わせ宿題に 役立つ本や、工作・自由研究の本を展示 期間中来館者(1,350人) 12月23日(金)～ 1月18日(水) ②⑦<<特別企画展>>「わくわく!本の福 袋」(資料50点)*うち33点貸出 お正月にちなみ、楽しみながら本を借 りられる企画として、テーマごとに選書 した本が1冊入った福袋を展示、貸出 期間中来館者(911人) 1月5日(木)～1月17日(火) ②⑧<<巡回展>>「りんごものがたり」 (資料55点) 日本のりんご栽培の歴史や、岩手県の りんご産業に関する資料など岩手県立図 書館が所蔵する図書資料を借り受け展示 期間中来館者(590人) 1月 6日(金)～1月15日(日) ②⑨<<図書展>>「ミライの世界はみんながつ くる みんなのおしごと展」(資料336点) 小・中学生を対象にした仕事、職業に 関する図書を展示 期間中来館者(1,110人) 1月25日(水)～2月12日(日) ③⑩<<企画展>>「ニュートン展」 (資料110点)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			別冊ニュートンを中心に、釜石市立図書館に所蔵があるニュートンプレスの本を展示 期間中来館者（1,161人） 2月1日(水)～2月19日(日) ③①<<企画展>>「あなたのポップを募集します！」（資料12点） 「びっくりした本」をテーマに本を読みたい気持ちにさせる文やイラスト(POP)を募り紹介された本と共に展示 期間中来館者（ 人） 2月3日(金)～3月7日(日) ③②<<図書展>>「ダイエット&トレーニング図書展」 コロナ太りや健康維持のため、ダイエットやトレーニングに役立つ本を展示 2月15日(水)～3月1日(水) ③③<<図書展>>「ひなまつり展」（資料82点） 桃の節句にちなみ、ひなまつり関連の図書を展示 2月22日(水)～3月9日(木) ③④<<企画展>>「未来につなげる3.11」 東日本大震災から12年目。「記憶」と「記録」を風化させないよう未来につなげる図書の展示 3月8日(木)～3月19日(日) ③⑤<<図書展>>「こころの健康図書展」 うつやメンタル関連の図書を展示 3月8日(水)～3月23日(木)
	特別企画	「ビブリオバトル in としょかん」	各界から5人のバトラーが自分のおすすめ本を紹介し観覧者が読みたいと思った本に投票しチャンプ本が決まるイベント 7月2日（土）14：00～15：30 参加者34人
	特別企画	「夜のとしょかんおはなし会」	夕方から開館し「文化琴と読み聞かせの会さくら」による少し怖い絵本の読み聞かせと大正琴の演奏、図書館職員によ

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			る読み聞かせも行った 8月27日(土) 18:30~19:30 参加者 22 人
	特別企画	「戦争講話と朗読の会」	戦後77年目の今年、戦争の記憶と記録を後世に伝え、平和な世界の実現に寄与することを目的に釜石ユネスコ協会と共催し開催した。 ① 戦争講話「二つの時代を生きて」 釜石ユネスコ協会/秋元厚子さん ② 紙芝居「私の昭和 20 年 7 月 14 日」 (石橋巖/作) 颯・2000 ③ 朗読「八月のあの日 乙女たちの仙人越え」 (箱石邦夫/編) 颯・2000、図書館職員 9月3日(土) 14:00~16:00 参加者 44 人
	特別企画	冬のとしょかんおはなし会	「読書サポーター 颯・2000」と図書館職員による、心があたたかくなる絵本の読み聞かせを行った。 2月18日(土) 10:30~11:30 参加者 23 人
	【成果と課題】 当館独自の企画展のほか、関係課や市内団体等と連携した企画展、岩手県立図書館巡回展の展示により図書館や読書に対する市民の関心を深めることが出来た。年中行事や市内イベント、また戦後77年などの時事等に関連した図書資料等の展示も好評であり図書の貸出やリピーターの獲得につながった。 図書館開催2回目となる「ビブリオバトル」や「夜のとしょかん」、新企画「冬のとしょかん」などウィズコロナを踏まえた企画など図書館のPRに努めた。 引き続き郷土資料の収集に力を入れ、ラグビーや震災・復興関連など様々な情報提供に努めたい。		
子育て支援	ブックスタート事業	読み聞かせや絵本のプレゼントをとおして、本に親しむことの大切さを伝えるとともに、親子のふれあい創出の一助とする。	健康推進課との併催 ① 「もぐもぐごっくん教室」 図書館利用の案内やブックスタート事業について説明。読書サポーター「颯・2000」による読み聞かせも実施。 4/13(水)、5/11(水)、6/8(水)、7/6(水)、8/10(水)、9/7

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			(水)、10/12 (水)、1/11 (水)、 2/8 (水)、3/8 (水) 予定 ※11/9 (水)、12/8 (水) は中止 場所：青葉ビル 1 階 参加者：乳児・保護者 56 人 (1 月まで) ②「6 ヶ月児健診」に出向き、赤ちゃん用 絵本を贈呈 4/27 (水)、5/25 (水)、6/22 (水)、7/20 (水)、8/24 (水)、 9/28 (水)、10/26 (水)、11/30 (水)、12/21 (水)、1/25 (水)、 2/22 (水)、3/22 (水) 予定 場所：保健福祉センター 参加者：乳児 90 人 (1 月まで)
	としょかん映画会	優れたアニメ等の映画ビデオの上映をと おして、図書館利用 の促進を図る。	「ふるさと再生 日本の昔ばなし」ほか 4/12 (土)、5/14 (土)、6/12 (土)、7/9 (土)、8/13 (土)、 9/10 (土)、10/8 (土)、11/12 (土)、12/10 (土)、1/14 (土)、 2/11 (土) 予定 観覧者数 延97人 (1月まで)
	おはなし広場	来館した幼児・児 童・保護者に絵本の 読み聞かせを定期的 に行い、本に親しむ 機会を提供する。	「颯・2000」による絵本読み聞かせ 4/17(土)、5/15(土)、6/19(土)、 7/17 (土)、9/18(土)、10/16(土)、 11/20(土)、12/18(土)、 1/14(土)、2/19(土)、3/19(土) ※8/21(土) 中止 参加者数 延58人 (1月まで)
	手づくり絵本教室	一人ひとりの個性が 生かされた「世界に 一冊しかない」絵本 づくりを通じ、本へ の愛着と一つのもの を作り上げる達成感 を感じてもらう機会 とする。	絵本づくり講座 講師：図書館職員 ・夏季：7/23 (土)、7/30 (土) (2 回で完成) 幼児・児童 6 人 (保護者 5 人) 一般 1 人 ・冬季:1/6 (金) (1 回で完成) 幼児・児童 8 人 (保護者 5 人) 一般 2 人

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	図書館こどもまつり	読書啓発運動の一環として実施。	多読賞表彰式 令和３年度中に図書館の本を１００冊以上借りて読んだ幼児・児童を表彰 表彰対象者３９人、最多読３７７冊 絵本と紙芝居の読み聞かせ 「文化琴と読み聞かせの会さくら」 開催日：７月１６日（土） 参加者：２２人
	なつやすみ読書チャレンジ	読書啓発運動の一環として実施。	本を１冊借りるごとにチャレンジカードにスタンプを押し、スタンプ５個で槇１枚、３０個で読書記録用の『読書ノート』１冊を贈呈。 ７月２０日（水）～８月３０日（火） 参加者：２１２人、槇配布数：１８６枚、読書ノート配布数：１４冊
	図書館クリスマス会	読書啓発運動と視聴覚資料活用の一環として実施。	① 絵本の読み聞かせ（颯・２０００） ② ハンドベル演奏（颯・２０００と共演） ③ アニメＤＶＤ上映 「くまのがっこう ジャッキーのパンやさん」「くまの学校 ジャッキーのおせんたく」 開催日：１２月１０日（土） 参加者：２４名
	絵本カー	子どもの読書活動推進の一環として実施	絵本カーを活用し、市内小学校、幼保施設と連携して読書活動を推進した。 (１) 読み聞かせ １２か所２６回 参加者：延べ３９５人（１月まで） (２) 学校図書館ボランティア支援 １か所１回（２月まで）
	【成果と課題】 ブックスタート事業は、本が心の成長に役立つことを認識していただく良い機会となっている。としょかん映画会は毎月第２土曜日、おはなし広場は毎月第３土曜日開催で定着しており、親子を中心に高齢者まで参加があるが、コロナ禍もあり参加者の減少が課題である。手作り絵本教室は、それぞれ参加者の個性豊かな作品が完成した。図書館こどもまつりは、図書館に親しむ動機づけともなっており、多読賞受賞を親子で喜び姿が見られた。クリスマス会ではボランティアと職員によるハ		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	ンドベル演奏、「颯・2000」による読み聞かせも好評であった。 「なつやすみ読書チャレンジ」は、子どもたちに人気の企画で、手作りの栞や読書ノートを目指して本を借りる人も多く、読書活動の推進につながった。 各事業とも内容の充実を図り、周知方法を工夫しながら今後も継続して実施する。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催する。		
学習の場の提供	各種講座等	市民の自主的・自発的な学習活動を支援することを目的に開催	(1)「図書館市民教養講座」全1回講座。 「鉄の町かまいし歴史講座」 『釜石の金山・銅山について』 講師：市世界遺産課 森 一欽氏 開催日：12月4日（日） 参加者：18人
	【成果と課題】 多様な学習の場を提供し、楽しみながら本や郷土への理解を深めていただいた。 郷土資料や身近なテーマへの関心は高いが、コロナ禍のため定員と回数を減らし新型コロナウイルスの感染防止に努めながら開催した。 参加者からは、回数、開催時間とも増やしてほしいとの希望があることから、内容の充実と市民への周知に努め、今後も継続して開催していく。		
学校との連携	団体貸出	市内小学校を対象に図書を貸し出し、読書の推進を図る。	釜石小学校、白山小学校、唐丹小学校、平田小学校、甲子小学校ほか 通年
	図書館報発行	図書館の利用案内や催事情報、新刊案内などの情報提供を行う	学校を通じて市内の全小学生に「ふれあい通信」、全中学生に「ホンホン通信」を配布 ・ふれあい通信（年4回） ・もっと！ふれあい通信（年6回） ・ホンホン通信（年6回）
	【成果と課題】 当館の重点目標の一つである「学校との連携」実現のため、市内小学校をはじめ、各団体への団体貸出を実施して読書推進を図った。 図書館報は、小学生向けの「ふれあい通信」、中学生向けの図書案内として「ホンホン通信」、中学生から一般向けの「もっと！ふれあい通信」と3種類発行している。デザインなど読みやすいよう工夫を行い、図書館情報の発信に努める。		
図書館理解	体験学習・研修・施設見学・受入れ	・図書館の仕事や役割についての理解を深めるとともに、本	市内中学生および大学生の職場体験では、書架整理・選書・窓口体験等幅広く体験していただいた。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		に親しむ動機づけとする - 郷土資料に触れることで、学童期からの郷土愛の醸成を図る - 実習を通して、将来の職業を具体的に考える機会としてもらう	講師は図書館職員がつとめレファレンス対応など専門的な要素も取り入れた。小学生の施設見学では、通常立ち入らない郷土資料室等も案内し、希望があれば読み聞かせ等も行った。 (1) 職場体験 【合計】2校、3人 ①市内中学生による「総合的な学習の時間における職場体験学習」 甲子中学校2年 2人 9月15日(木)～9月16日(金) ②盛岡大学学生による「図書館実習」 盛岡大学司書課程学生 1人 10月12日(水)～10月16日(日) (2) 施設見学 【合計】8校、211人 ①白山小学校1,2年生(校外学習) 絵本読み聞かせ：図書館職員 9月21日(水) 児童10人・引率2人 ②甲子小学校2年生(校外学習) 9月21日(水) 児童40人・引率3人 ③栗林小学校2年生(校外学習) 11月2日(金) 児童 4人・引率1人 ④釜石小学校2年生(校外学習) 11月4日(火) 児童12人・引率2人 ⑤鵜住居小学校2年生(校外学習) 絵本読み聞かせ：颯・2000 11月8日(水) 児童27人・引率2人 ⑥平田小学校2年生(校外学習) 絵本読み聞かせ：颯・2000 11月15日(火) 児童28人・引率2人 ⑦双葉小学校2年生(校外学習) 絵本読み聞かせ：颯・2000 11月18日(金) 児童19人・引率2人 ⑧小佐野小学校2年生(校外学習) 12月9日(木) 児童53人・引率4人
	【成果と課題】 図書館に興味と親しみを感じて、理解を深めていただけるよう、体験学習や施設見学ではわかりやすい説明を心がけた。閉架書庫や郷土資料室などを見て頂き、普段は見ることのない資料等を紹介することで子どもたちに図書館を知ってもらう機		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	会となった。見学後に子どもたちから「また図書館に来たい」との声が聞かれ、利用者増につながっている。学校のみでなく、企業や地域住民など希望があれば積極的に受け入れていきたい。実習においては、はじめて大学生の司書課程の学生を受け入れしたが、コロナ禍での学生生活でもあり、実地研修がなかなか学校ではできなかったとのことで、大学および学生からは「貴重で楽しく実習できた」との感謝の言葉があった。		
来館困難者サービス	出張！図書館サービス	来館が困難で図書館を利用する機会が少ない方々にサービスを提供する。	来館困難者へ職員が出向いて、読み聞かせやDVD上映等のサービスを実施する。 対象：施設通所者、施設入所者、子育て支援センター利用者等 訪問打診しているがコロナ禍のため高齢者施設、病院などの受入体制が整わず、訪問できていない。
	団体貸出	幼保施設、高齢者施設読書ボランティア団体などを対象に図書館資料を貸し出し、読書の推進を図った。	<u>団体貸出</u> ①高齢者施設ほか 三峯の杜 アミーガはまゆり かっし子育て支援センター ②学童クラブ 【毎月利用】 小佐野学童クラブ 平田学童クラブ 甲子学童クラブ 【長期休暇利用】 釜石学童クラブ 双葉学童クラブ 白山学童クラブ 上中島児童館 ③読書ボランティア等 颯・2000 おはなしどころ 文化琴と読み聞かせの会「さくら」ほか
	移動図書館車運行事業	市内遠隔地や福祉施設、学校等を巡回して読書の推進を図る。	巡回先：市内51か所 運行日数：13日/月

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	【成果と課題】 出張！図書館サービスは、訪問打診しているがコロナ禍のため高齢者施設、病院などの受入体制が整わず、訪問できていない。 団体貸出は、絵本等の充実により利用が増えている。 移動図書館車の運行により、来館が困難な方々に図書館サービスを提供できた。コロナ禍のため訪問を見合わせた施設等もあるが、巡回場所見直しの効果で利用は伸びている。更なる利用促進のため、実態に応じた見直しを進めていく。		
障がい者サービス	朗読奉仕	視覚障がい者への図書館サービスの一助とする	朗読奉仕「ハマナスの会」のよる地元新聞等の記事の録音 CD の郵送貸出 1回/月 利用者：11人（2月現在）
	【成果と課題】 朗読奉仕「ハマナスの会」は長きにわたって図書館で奉仕活動が続けていただいている。「ハマナスの会」は今年で発足 30 年を迎え記念誌の作成中である。 地域福祉課と連携し、今後もサービスを必要としている方への周知に努めていきたい。		
職員の資質向上	各研修会等への参加	県内図書館等との情報交換と連携を図る 職員の資質向上を図る	①岩手県立図書館創立100周年記念式典および基調講演 ②子どもの読書活動推進会議 ③図書館等中堅職員研修（オンライン受講） ④読書ボランティア研修会 ⑤釜石市子どもの読書活動推進ボランティア講座
	館内研修会	専門性を磨く。 図書館研修の内容を職員で情報共有する。	①第1回館内職員研修【著作権】 6月30日(木) 参加職員：8人 ②第2回館内職員研修【文書事務処理ほか】 8月31日(水) 参加職員：7人 ③第3回館内職員研修【視察】 9月30日(金) 参加職員：7人
	【成果と課題】 館外研修会への参加は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため必要最小限の		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	参加とし、Web受講や配布資料を参考としながら資質の向上に努めた。 他館との情報交換は、アンケート実施やメールにより行った。 館内整理日（休館日）には、著作権や文書事務などの研修会を実施して利用者サービスの向上につながる技術習得に努めた。図書館業務に精通するための研修も含めて今後も継続する。		
ばく書等・蔵書整理点検	ばく書等・蔵書点検	利用者の利便性を向上させるため、開館時に実施困難な資料の特別整理等を行う。所蔵図書があるべき場所に収まっているかなど確認する	蔵書点検 所蔵図書があるべき場所に収まっているかなど確認するため、システムデータとの照合点検を行った。 10月4日（火）～11月11日（金） ばく書 蔵書点検に合わせ、図書の整理や清掃を行った。
	【成果と課題】 図書館ボランティア延べ46人と図書館職員により点検・整理を行い利用者の利便性の向上を図った。 配架場所の是正や登録データの修正等を行い、情報システムの的確な運用を図った。		
施設環境整備	図書館システムの更新	システムを更新することにより、利便性の向上を図る	当館で使用している図書館システムの更新作業を行ったとともに、スマホでも簡単に図書の検索や休館日、イベント情報などが確認できるよう蔵書検索システム（WebOPAC）の機能拡張を行った。
	いす式階段昇降機設置	歩行困難者や高齢者が2階のイベントや郷土資料室の利用が可能になる	コミュニティ助成事業助成金を活用し、図書館階段部分にいす式階段昇降機を設置し、歩行にハンディがあっても楽に階段の上り下りができるよう施設のバリアフリー化を行った。
	施設外環境整備	図書館の場所の案内 近隣や見通しのよい環境作り	(1) 図書館案内看板設置 特別養護老人ホーム「アミーガはまゆり」敷地内に、図書館の案内看

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			板を設置した。 (2)周辺樹木剪定作業 図書館南側市道沿いの 樹木の剪定作業を行った。
	【成果と課題】 図書館内外の環境を整備したことにより、利用者の利便性が向上した。		